

# 神奈川県県営住宅標準プラン集

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	—	図面名称	表紙	

図面リスト

番 号	図面名称	縮 尺 (A1サイズ時)	番 号	図面名称	縮 尺 (A1サイズ時)	番 号	図面名称	縮 尺 (A1サイズ時)
A-00	図面リスト	-	06-A-01	KK3(ラーメン)平面図	1/30	13-A-01	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)平面図(参考)	1/30
A-01~08	特記仕様書(1)~(8)	-	06-A-02	KK3(ラーメン)展開図	1/50	13-A-02	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)展開図-1	1/50
E-01~03	電気設備工事 特記仕様書(1)~(3)	-	06-E-01	KK3(ラーメン)平面図(電灯)	1/30	13-A-03	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)展開図-2	1/50
P-01~03	機械設備工事 特記仕様書(1)~(3)	-	06-E-02	KK3(ラーメン)平面図(弱電)	1/30	13-E-01	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)平面図(電灯)	1/30
A-09	仕上表	-	06-E-03	KK3(ラーメン)平面図(自火報)	1/30	13-E-02	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)平面図(弱電)	1/30
A-10	建具表	1/50	06-P-01	KK3(ラーメン)平面図(衛生・換気)	1/30	13-E-03	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)平面図(自火報)	1/30
E-04	姿図・凡例	-				13-P-01	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)平面図(衛生)	1/30
P-04	凡例・器機・機器表	図示	07-A-01	KK身1(壁式)平面図	1/30	13-P-02	コミュニティルーム(ラーメン・バルコニー入口)平面図(換気)	1/30
P-05~07	機械設備詳細図(壁式)	図示	07-A-02	KK身1(壁式)展開図	1/50			
P-08~10	機械設備詳細図(ラーメン)		07-E-01	KK身1(壁式)平面図(電灯)	1/30	14-A-01	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)平面図(参考)	1/30
D-01	詳細図(1)		07-E-02	KK身1(壁式)平面図(弱電)	1/30	14-A-02	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)展開図-1	1/50
D-02	詳細図(2)		07-E-03	KK身1(壁式)平面図(自火報)	1/30	14-A-03	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)展開図-2	1/50
			07-P-01	KK身1(壁式)平面図(衛生・換気)	1/30	14-E-01	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)平面図(電灯)	1/30
						14-E-02	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)平面図(弱電)	1/30
01-A-01	KK1(壁式)平面図	1/30	08-A-01	KK身1(ラーメン)平面図	1/30	14-E-03	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)平面図(自火報)	1/30
01-A-02	KK1(壁式)展開図	1/50	08-A-02	KK身1(ラーメン)展開図	1/50	14-P-01	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)平面図(衛生)	1/30
01-E-01	KK1(壁式)平面図(電灯)	1/30	08-E-01	KK身1(ラーメン)平面図(電灯)	1/30	14-P-02	コミュニティルーム(ラーメン・妻入口)平面図(換気)	1/30
01-E-02	KK1(壁式)平面図(弱電)	1/30	08-E-02	KK身1(ラーメン)平面図(弱電)	1/30			
01-E-03	KK1(壁式)平面図(自火報)	1/30	08-E-03	KK身1(ラーメン)平面図(自火報)	1/30			
01-P-01	KK1(壁式)平面図(衛生・換気)	1/30	08-P-01	KK身1(ラーメン)平面図(衛生・換気)	1/30			
02-A-01	KK1(ラーメン)平面図	1/30	09-A-01	KK身2(壁式)平面図	1/30			
02-A-02	KK1(ラーメン)展開図	1/50	09-A-02	KK身2(壁式)展開図	1/50			
02-E-01	KK1(ラーメン)平面図(電灯)	1/30	09-E-01	KK身2(壁式)平面図(電灯)	1/30			
02-E-02	KK1(ラーメン)平面図(弱電)	1/30	09-E-02	KK身2(壁式)平面図(弱電)	1/30			
02-E-03	KK1(ラーメン)平面図(自火報)	1/30	09-E-03	KK身2(壁式)平面図(自火報)	1/30			
02-P-01	KK1(ラーメン)平面図(衛生・換気)	1/30	09-P-01	KK身2(壁式)平面図(衛生・換気)	1/30			
03-A-01	KK2(壁式)平面図	1/30	10-A-01	KK身2(ラーメン)平面図	1/30			
03-A-02	KK2(壁式)展開図	1/50	10-A-02	KK身2(ラーメン)展開図	1/50			
03-E-01	KK2(壁式)平面図(電灯)	1/30	10-E-01	KK身2(ラーメン)平面図(電灯)	1/30			
03-E-02	KK2(壁式)平面図(弱電)	1/30	10-E-02	KK身2(ラーメン)平面図(弱電)	1/30			
03-E-03	KK2(壁式)平面図(自火報)	1/30	10-E-03	KK身2(ラーメン)平面図(自火報)	1/30			
03-P-01	KK2(壁式)平面図(衛生・換気)	1/30	10-P-01	KK身2(ラーメン)平面図(衛生・換気)	1/30			
04-A-01	KK2(ラーメン)平面図	1/30	11-A-01	コミュニティルーム(壁式)平面図	1/30			
04-A-02	KK2(ラーメン)展開図	1/50	11-A-02	コミュニティルーム(壁式)展開図	1/50			
04-E-01	KK2(ラーメン)平面図(電灯)	1/30	11-E-01	コミュニティルーム(壁式)平面図(電灯)	1/30			
04-E-02	KK2(ラーメン)平面図(弱電)	1/30	11-E-02	コミュニティルーム(壁式)平面図(弱電)	1/30			
04-E-03	KK2(ラーメン)平面図(自火報)	1/30	11-E-03	コミュニティルーム(壁式)平面図(自火報)	1/30			
04-P-01	KK2(ラーメン)平面図(衛生・換気)	1/30	11-P-01	コミュニティルーム(壁式)平面図(衛生・換気)	1/30			
05-A-01	KK3(壁式)平面図	1/30	12-A-01	コミュニティルーム(ラーメン)平面図	1/30			
05-A-02	KK3(壁式)展開図	1/50	12-A-02	コミュニティルーム(ラーメン)展開図	1/30			
05-E-01	KK3(壁式)平面図(電灯)	1/30	12-E-01	コミュニティルーム(ラーメン)平面図(電灯)	1/30			
05-E-02	KK3(壁式)平面図(弱電)	1/30	12-E-02	コミュニティルーム(ラーメン)平面図(弱電)	1/30			
05-E-03	KK3(壁式)平面図(自火報)	1/30	12-E-03	コミュニティルーム(ラーメン)平面図(自火報)	1/30			
05-P-01	KK3(壁式)平面図(衛生・換気)	1/30	12-P-01	コミュニティルーム(ラーメン)平面図(衛生・換気)	1/30			

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工 事 名 称	神奈川県営住宅標準プラン集	図 面 番 号	A-00
		SCALE	-				

建築工事特記仕様書		1	⑦ 設備工事との 取合い	1	⑩ 技能士 (1.5.2)	1	⑨ 完成図等 (1.7.2)	⑩ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																									
I 工事概要		一般 共通 事項	施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して 監督職員の承諾を受ける。	一般 共通 事項	※下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一等級技能士を配 置する。 ・下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一等級技能 士を配置する。 ・下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。	一般 共通 事項	測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を( )部提出する。 1. 測定結果 2. 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、 日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事 完成時から測定日までの日数) 3. 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器	⑨ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																									
1. 工事名称			<input checked="" type="checkbox"/> 適用する ・適用しない		⑩ 技能士 (1.5.2)		以下で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一等級技能 士を配置する。 ・下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。			⑨ 完成図等 (1.7.2)	⑩ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																						
2. 工事場所			工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※火災保険 ※建設工事保険 保険期間 ※工事着手から工事目的物の引き渡しまで				住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け <input checked="" type="checkbox"/> あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)						完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。																					
3. 工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			<input type="checkbox"/> 発生材の 処理等 (1.3.11)				発生材の処理 ・引渡しを要するもの( ) ・特別管理産業廃棄物( ) 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セメント ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・セメント ・コンクリート塊				・アスファルト ・コンクリート塊				・建設発生木材				・建設汚泥				住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け <input checked="" type="checkbox"/> あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。
種類	受入施設名		所在地(Km)				備考																											
・セメント ・コンクリート塊																																		
・アスファルト ・コンクリート塊																																		
・建設発生木材																																		
・建設汚泥																																		
4. 用途地域等 都市計画区域(・内・外) 用途地域( ) 防火地域等(・防火・準防火・指定なし・22条) その他の地域・地区( )		<input type="checkbox"/> 発生材の 処理等 (1.3.11)	発生材の処理 ・引渡しを要するもの( ) ・特別管理産業廃棄物( ) 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セメント ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・セメント ・コンクリート塊				・アスファルト ・コンクリート塊				・建設発生木材				・建設汚泥				住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け <input checked="" type="checkbox"/> あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。									
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																															
・セメント ・コンクリート塊																																		
・アスファルト ・コンクリート塊																																		
・建設発生木材																																		
・建設汚泥																																		
5. 構造規模等 ( )造 地上 階 地下 階		<input type="checkbox"/> 発生材の 処理等 (1.3.11)	発生材の処理 ・引渡しを要するもの( ) ・特別管理産業廃棄物( ) 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セメント ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・セメント ・コンクリート塊				・アスファルト ・コンクリート塊				・建設発生木材				・建設汚泥				住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け <input checked="" type="checkbox"/> あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。									
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																															
・セメント ・コンクリート塊																																		
・アスファルト ・コンクリート塊																																		
・建設発生木材																																		
・建設汚泥																																		
6. 別 途 工 事		<input type="checkbox"/> 発生材の 処理等 (1.3.11)	発生材の処理 ・引渡しを要するもの( ) ・特別管理産業廃棄物( ) 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セメント ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・セメント ・コンクリート塊				・アスファルト ・コンクリート塊				・建設発生木材				・建設汚泥				住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け <input checked="" type="checkbox"/> あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。									
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																															
・セメント ・コンクリート塊																																		
・アスファルト ・コンクリート塊																																		
・建設発生木材																																		
・建設汚泥																																		
7. その他		<input type="checkbox"/> 発生材の 処理等 (1.3.11)	発生材の処理 ・引渡しを要するもの( ) ・特別管理産業廃棄物( ) 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セメント ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト ・コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・セメント ・コンクリート塊				・アスファルト ・コンクリート塊				・建設発生木材				・建設汚泥				住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け <input checked="" type="checkbox"/> あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。									
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																															
・セメント ・コンクリート塊																																		
・アスファルト ・コンクリート塊																																		
・建設発生木材																																		
・建設汚泥																																		
II 建築工事仕様		一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 災害等発生時 の安全確保 (1.3.9)	一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 施工の立会い等 (1.5.7)	一般 共通 事項	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。	⑩ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																									
1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて「公共住宅建設工事共通仕様書 建築編 (令和元年度版)」(以下、「公住仕 建築編」という。)による。			<input type="checkbox"/> 建築材料等 (1.4.2)		工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、 別に指示する「事故報告書」を監督職員に提出する。		<input type="checkbox"/> 化学物質の 濃度測定 (1.5.9)			「公住仕 建築編」に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項に については監督職員の確認を受ける。  1. 工事工程表 2. 工事仮設計図書及び施工計画書 本工事の仮設・施工方法等に関する計画は、設計図書に特別定めのない限り 受注者の責任において定めるものとする。 3. 製作工程表 施工図、原寸図、部品製作図等は製作前に作図期間、チェックバック期間、 承認日を記載した製作工程表を作成する。 4. 施工図、原寸図 施工に必要な施工図、原寸図、部品製作図等は停滞なく作成する。 5. 総合図 (1) 工事の着手に先立ち、平面詳細図、総合プロット図(外構プロット図共) 天井伏図を作成する。 (2) 総合図は、建築、設備等本工事及び、別途発注工事の情報をすべて盛り 込みこれらの調整を行う。 (3) 総合図は、必要に応じて展開図、詳細図等で補足する。																								
2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。ただし、○印の付かない場合は、※印の付いたもの を適用する。○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。 3) 項目又は特記事項に記載の( )内の表示番号は、「公住仕 建築編」の該当項目を示す。 4) 特記事項の「機材の品質・性能基準」は、公共住宅建設工事機材の品質・性能基準(公共住宅 事業者等連絡協議会)」を示す。			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの とする。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これら と同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾 を受ける。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、ホルムアルデヒド及び 揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。  ホルムアルデヒド 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の該当する建築材料 1. JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2. 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3. 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない塗料使用																								
3. 概成工期 (1.2.1)			<input type="checkbox"/> 建築基準法に よる風圧力等 の指定 (1.4.5)		上記によらない場合は、監督職員と協議すること。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			工事の施工完了後、引渡しをするまでの間に、下表の揮発性有機化合物の室内濃度 を測定し、指針数値以下である事を確認し、報告する。 測定物質、測定方法																								
4. 設計G.L. (1.2.4)			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
5. 工事実績情報 (CORINS)の 登録 (1.1.4)			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
6. 施工管理体制 に関する書類 の提出			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
7. その他		<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)	「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)	<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)	測定物質、測定方法																													
I 工事概要		一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 災害等発生時 の安全確保 (1.3.9)	一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 施工の立会い等 (1.5.7)	一般 共通 事項	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。	⑩ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																									
1. 工事名称			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、 別に指示する「事故報告書」を監督職員に提出する。		<input type="checkbox"/> 化学物質の 濃度測定 (1.5.9)			「公住仕 建築編」に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項に については監督職員の確認を受ける。  1. 工事工程表 2. 工事仮設計図書及び施工計画書 本工事の仮設・施工方法等に関する計画は、設計図書に特別定めのない限り 受注者の責任において定めるものとする。 3. 製作工程表 施工図、原寸図、部品製作図等は製作前に作図期間、チェックバック期間、 承認日を記載した製作工程表を作成する。 4. 施工図、原寸図 施工に必要な施工図、原寸図、部品製作図等は停滞なく作成する。 5. 総合図 (1) 工事の着手に先立ち、平面詳細図、総合プロット図(外構プロット図共) 天井伏図を作成する。 (2) 総合図は、建築、設備等本工事及び、別途発注工事の情報をすべて盛り 込みこれらの調整を行う。 (3) 総合図は、必要に応じて展開図、詳細図等で補足する。																								
2. 工事場所			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの とする。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これら と同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾 を受ける。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、ホルムアルデヒド及び 揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。  ホルムアルデヒド 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の該当する建築材料 1. JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2. 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3. 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない塗料使用																								
3. 工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		上記によらない場合は、監督職員と協議すること。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			工事の施工完了後、引渡しをするまでの間に、下表の揮発性有機化合物の室内濃度 を測定し、指針数値以下である事を確認し、報告する。 測定物質、測定方法																								
4. 用途地域等 都市計画区域(・内・外) 用途地域( ) 防火地域等(・防火・準防火・指定なし・22条) その他の地域・地区( )			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
5. 構造規模等 ( )造 地上 階 地下 階			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
6. 別 途 工 事			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
7. その他		<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)	「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)	<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)	測定物質、測定方法																													
II 建築工事仕様		一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)	一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 施工の立会い等 (1.5.7)	一般 共通 事項	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。	⑩ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																									
1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて「公共住宅建設工事共通仕様書 建築編 (令和元年度版)」(以下、「公住仕 建築編」という。)による。			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、 別に指示する「事故報告書」を監督職員に提出する。		<input type="checkbox"/> 化学物質の 濃度測定 (1.5.9)			「公住仕 建築編」に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項に については監督職員の確認を受ける。  1. 工事工程表 2. 工事仮設計図書及び施工計画書 本工事の仮設・施工方法等に関する計画は、設計図書に特別定めのない限り 受注者の責任において定めるものとする。 3. 製作工程表 施工図、原寸図、部品製作図等は製作前に作図期間、チェックバック期間、 承認日を記載した製作工程表を作成する。 4. 施工図、原寸図 施工に必要な施工図、原寸図、部品製作図等は停滞なく作成する。 5. 総合図 (1) 工事の着手に先立ち、平面詳細図、総合プロット図(外構プロット図共) 天井伏図を作成する。 (2) 総合図は、建築、設備等本工事及び、別途発注工事の情報をすべて盛り 込みこれらの調整を行う。 (3) 総合図は、必要に応じて展開図、詳細図等で補足する。																								
2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。ただし、○印の付かない場合は、※印の付いたもの を適用する。○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。 3) 項目又は特記事項に記載の( )内の表示番号は、「公住仕 建築編」の該当項目を示す。 4) 特記事項の「機材の品質・性能基準」は、公共住宅建設工事機材の品質・性能基準(公共住宅 事業者等連絡協議会)」を示す。			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの とする。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これら と同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾 を受ける。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、ホルムアルデヒド及び 揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。  ホルムアルデヒド 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の該当する建築材料 1. JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2. 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3. 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない塗料使用																								
3. 概成工期 (1.2.1)			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		上記によらない場合は、監督職員と協議すること。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			工事の施工完了後、引渡しをするまでの間に、下表の揮発性有機化合物の室内濃度 を測定し、指針数値以下である事を確認し、報告する。 測定物質、測定方法																								
4. 設計G.L. (1.2.4)			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
5. 工事実績情報 (CORINS)の 登録 (1.1.4)			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
6. 施工管理体制 に関する書類 の提出			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			測定物質、測定方法																								
7. その他		<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)	「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、 その工法は、当該製品の指定工法とする。  (8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2) (16.12.2)(16.13.2)(16.14.5)(23.5.4)	<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)	測定物質、測定方法																													
I 工事概要		一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)	一般 共通 事項	<input type="checkbox"/> 施工の立会い等 (1.5.7)	一般 共通 事項	完成図書(A4版ファイル 2部(正1部、副1部)とする。	⑩ 完成写真	⑪ 安全に関する 資料 (1.7.3)																									
1. 工事名称			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、 別に指示する「事故報告書」を監督職員に提出する。		<input type="checkbox"/> 化学物質の 濃度測定 (1.5.9)			「公住仕 建築編」に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項に については監督職員の確認を受ける。  1. 工事工程表 2. 工事仮設計図書及び施工計画書 本工事の仮設・施工方法等に関する計画は、設計図書に特別定めのない限り 受注者の責任において定めるものとする。 3. 製作工程表 施工図、原寸図、部品製作図等は製作前に作図期間、チェックバック期間、 承認日を記載した製作工程表を作成する。 4. 施工図、原寸図 施工に必要な施工図、原寸図、部品製作図等は停滞なく作成する。 5. 総合図 (1) 工事の着手に先立ち、平面詳細図、総合プロット図(外構プロット図共) 天井伏図を作成する。 (2) 総合図は、建築、設備等本工事及び、別途発注工事の情報をすべて盛り 込みこれらの調整を行う。 (3) 総合図は、必要に応じて展開図、詳細図等で補足する。																								
2. 工事場所			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの とする。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これら と同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾 を受ける。		<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド 及び揮発性有機化合物の 測定 (1.5.9)			環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、ホルムアルデヒド及び 揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。  ホルムアルデヒド 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の該当する建築材料 1. JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2. 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3. 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させ ない塗料使用																								
3. 工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			<input type="checkbox"/> 特別な材料の 工法 (1.4.1)		上記によらない場合は、監督職員と協議すること。																													

2 仮設工事	1. 仮囲い	・設ける ・成形鋼板 (・H=3.0m ・H= )	4	5. 砂利及び砂地業 (4.6.2~3)	・再生クラッシュラン 厚さ ※60mm mm	6	7. 混和材料 (6.3.1)	混和剤 ・A E減水剤 ・高性能A E減水剤 混和材 ・フライアッシュ (・I種 ・II種 ・IV種) ・高炉スラグ微粉末 ・シリカフェウム ・膨張材	7	1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	指定性能評価機関の性能評価を受け、国土交通大臣の認定を受けた工場 指定工場 ・S ・H ・M ・R ・J
	2. ゲート	・パネルゲート (・H= m、W= m) ・シートゲート (・H= m、W= m)	地業工事	6. 捨てコンクリート (4.6.4)	コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> N/mm <sup>2</sup> ) 厚さ ※50mm mm	コンクリート工事	8. 打継ぎ位置 (6.6.3)	目地寸法 幅 mm × 深さ mm 打継ぎ位置 梁 スラブ 柱 壁	鉄骨工事	2. 施工管理技術者 (7.1.4)	・配置する ・配置しない
	3. 交通誘導員	・配置する ( 日 × 人 = 人日) ・配置しない	7. 床下防湿層 (4.6.5)	・設ける 地中梁がある場合は、250mmのみ込み 厚さ mm ・設けない	8. 土間スラブ (土間コン) 下断熱材 (4.6.5)	・設ける A種ポリスチレンフォーム3種b 厚さ (・25mm ・mm) ・設けない	9. 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)(表6.2.4)	種別 ・A種 ・B種 ・C種	3. 鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)	規格番号 種類の記号	JIS G 3101 ・SS400 ・SS490 ・SS540 JIS G 3106 ・SM400A B C ・SM490A B C JIS G 3114 ・SMA400AW AP BW BP CW CP ・SMA490AW AP BW BP CW CP JIS G 3136 ・SN400A B C ・SN490B C JIS G 3138 ・SNR400A B ・SNR490B JIS G 3350 ・SSC400 JIS G 3353 ・SWH400 JIS G 3444 ・STK400 ・STK490 JIS G 3466 ・STR400 ・STR490 JIS G 3475 ・STKN400W ・STKN400B ・STKN490B 建築基準法に基づき指定又は認定
	4. 監督職員事務所 (2.3.1)	・設ける ・規模 (・20㎡程度 ・40㎡程度 ・60㎡程度 ・㎡程度) ・備品 ( )	8. 土間スラブ (土間コン) 下断熱材 (4.6.5)	・設ける A種ポリスチレンフォーム3種b 厚さ (・25mm ・mm) ・設けない	9. 地盤改良 ( )	工法 ( )	⑩ 型枠 (6.8.3)	せき板の種類 板厚(mm) 施工箇所 ○合板(表面加工) ※12 ○合板(B-C) ※12 ・床型枠用鋼製 デッキプレート ・金属製パネル	4. 高力ボルト (7.2.2)	・トルシア形高力ボルト セットの種類 ・2種(S10T) ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種(S10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 ・1種(F8T相当)	
5. 工事表示板	・設置する ・設置しない	5	① 鉄筋の種別 (5.2.1)(表5.2.1)	規格名称 種類の記号 径(mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼 ○SD295A ○D10~D16 ・SD345 ・D19~D25 ・SD390 ・D29以上 建築基準法37条認定 ・高強度せん断補強筋	② 溶接金網 (5.2.2)	JIS G 3551のJIS表示認証製品 形状 施工箇所 線径 mm × 網目 mm	⑪ スリーブの材質 (6.8.1)	ひび割れ誘発目地寸法 幅 mm × 深さ mm 位置 ・図示による	5. 普通ボルト (7.2.3)	※並形六角ボルト ※並形六角ナット ねじの呼び ・JIS B 0205-1~0205-4 による	
6. 工用水	工事現場内既存の施設 ・利用できる (・有償 ・無償) ・利用できない	③ 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (表5.3.1)	90℃未満の折曲げの内法直径 ・図示による	④ 鉄筋の継手 (5.3.4)	接合方法 径(mm) 施工箇所 ○重ね継手 D16以下 ・ガス圧接 D19以上 はり 柱の主筋 ・機械式継手 ・溶接継手 先組工法等の継手位置 ・同一箇所 ・400mm以上離す ・継手管理技士 (公社)日本鉄筋継手協会が認証された鉄筋継手管理技士又は圧接継手管理技士とする。	⑫ 軽量コンクリート (6.10.1)	種類 施工箇所 所要気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) ○1種 身障者住戸浴室床 ・2種 スラブ ※21cm	6. 溶接部の試験 (7.6.12)	完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 溶接の区分 AOQL(%) 検査水準 工場溶接 ・2.5 ※4.0 ※6 現場溶接 ・2.5 ※4.0		
7. 工用電力	工事現場内既存の施設 ・利用できる (・有償 ・無償) ・利用できない	⑤ 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ (5.3.6)	施工箇所 最小かぶり厚さ(mm) 身障者住戸浴室非耐力壁 30	⑥ 各部配筋 (5.4.9)	・図示による	13. 寒中コンクリート (6.11.1)	適用期間 ~	7. 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	種類 溶接方法 ・デッキプレート ・アークスポット溶接 ・隅肉溶接 ・合成スラブ用デッキプレート ・焼き抜き溶接 ・アークスポット溶接		
8. 工用通路	・指定しない ・指定する (図示)	⑦ 不合格継手の措置 (5.5.2)(5.6.3)	・機械式継手 ・溶接継手	7. 圧接完了後の抜き試験 (5.4.10)	試験方法 ・超音波探傷試験 ・引張試験	14. 暑中コンクリート (6.12.2)	構造体強度補正值 (S) ※6N/mm <sup>2</sup>	8. 錆止め塗料の種別 (7.8.4)	※ 公住仕18.3.1表のA種		
9. 足場等 (2.2.4)	足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	⑧ 各配筋 (5.4.9)	・図示による	8. 不合格継手の措置 (5.5.2)(5.6.3)	・機械式継手 ・溶接継手	15. マスコンクリート (6.13.2)	セメントの種類 混和剤 スラブ(cm) 適用箇所 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ※A E減水剤 ※15 ・低熱ポルトランドセメント ※高性能A E減水剤 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	9. 耐火被覆 (7.9.2)(7.9.4~7)	種別 材料及び工法製造所 備考 ・耐火材吹付け 建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたもの ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラス張モルタル 公住仕15章2節		
10. その他の仮設		⑨ レディーミクスコンクリート (6.2.1)(表6.2.1)	種別 ※I類 ・II類 ・建築基準法第37条第二号に規定する大臣認定コンクリート	⑩ 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.4)(表4.5.1)	コンクリートの種別 ・A種 ・B種 コンクリートの設計基準強度 ( N/mm <sup>2</sup> ) コンクリートの構造体強度補正值 ※3N/mm <sup>2</sup> セメントの種類 ※高炉セメントB種 試験杭の位置 ・図示による 杭の工法 ・アースドリル工法 ・安定液 使用する ・使用しない ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り 行う 行わない 孔壁の超音波測定 行う 行わない 水平方向の位置ずれ精度 ※100mm以内	16. 無筋コンクリート (6.14.1)	種別 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ(cm) 適用箇所 ※普通コンクリート ※18N/mm <sup>2</sup> ※15 ※18	10. アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)	構造用アンカーボルト セットの種類 ・ABR400 ・ABR490 形状及び寸法 ・図示による 建方用アンカーボルト 種類 施工箇所 ・A種 ・B種		
1. 埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)(表3.2.1)	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	⑪ コンクリートの強度 (6.2.2)	普通コンクリート: 36N/㎡以下 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) 施工箇所 ・ ・ ・2.4 ○2.1 身障者住戸浴室非耐力壁 軽量コンクリート: 27N/㎡以下 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) 施工箇所 ・ ・2.4 ・2.1	11. 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.2)	種別 施工箇所 ※A種 ・B種 厚さ cm	17. 流動化コンクリート (6.15.1)	種別 ベースコンクリートのスラブ(cm) 流動化コンクリートのスラブ(cm) 適用箇所 普通コンクリート ・10 ・12 ・15	11. 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.2)	種別 施工箇所 ※A種 ・B種 厚さ cm		
2. 建設発生土の処理 (3.2.5)	※工事現場外に搬出 ・工事現場外指示の場所に搬出 工事現場外指示の受入れ 施設名 (所在地 ( km)) ・工事現場内指示の場所に敷き均し ・工事現場内指示の場所にたい積	⑫ スラブ (6.2.4)(表6.2.2)	基礎、基礎梁、土間スラブ ※15cm ※18cm 柱、梁、スラブ、壁 ※18cm	12. 軽量形鋼のボルト接合 (7.11.2)	※ 図示による	18. 高強度コンクリート (6.16.2)(6.16.3)	混和剤 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) スラブフロー(cm) 適用箇所 ※高性能A E減水材 ・3.6以上4.5未満 ・4.5以上6.0以下 ・	12. 軽量形鋼のボルト接合 (7.11.2)	※ 図示による		
3. 山留め (3.3.1)(3.3.3)	・設置する ・設置しない ・存置する ・存置しない	⑬ セメントの種類 (6.3.1)	※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントA種 ・シリカセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種、フライアッシュセメントB種 (適用箇所:図示)	13. 摩擦面の処理 (7.12.5)	・プラスト処理 ・りん酸処理	⑭ 圧送業者及び技能者	○圧送技能者 圧送業者は、職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)に基づくコンクリート圧送施工技能士を1名以上(うち1名は同法に基づく1級コンクリート圧送施工技能士)現場に配置できるものとする。 ○技能者 コンクリート圧送施工技能士及びその他の技能者は、労働安全衛生法第59条3項に基づく、車両系建設機械(コンクリート打設用)の作業措置の操作の業務に係る特別教育を修了し、(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会が行う当該年度の全圧送統一安全・技術講習を原則として受講した者とする。 ○合格証及び終了証明書等 コンクリート圧送施工技能検定合格証及び特別教育の修了証明書及び全圧送統一安全・技術講習会(有効期間内のもの)の写しを監督職員に提出する。				
4. 地中障害物	工地上支障となる埋設物が発生した場合は、埋設物名、場所、寸法等を記入した資料に写真を添えて提出すること。	⑮ 骨材の種類 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性区分 ※A ・B								

8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板工事	1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)	ブロックの種類 ※ 空洞ブロック C (16)	9	防水工事	2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3) (表9.3.1~3)	屋根露出防水工法 種別 施工箇所 ・AS-T1 (トーチ工法) ・AS-T2 (トーチ工法) ・AS-T3 (トーチ工法) ・AS-T4 (トーチ工法) ・AS-J1 (常温粘着工法) ・AS-I-T1 (トーチ工法) ・AS-I-J1 (常温粘着工法) 押さえ金物 ※アルミ製L-30×15×2.0 脱気装置の種類及び設置数量 (絶縁工法の場合) ※改質アスファルトシートの製造所の仕様 断熱材 (断熱工法の場合) ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に準ずるもの。	10	石工事	乾式工法 石材の種類 厚さ 品質 施工箇所 仕上の種類 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 石裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 床及び階段 石材の種類 厚さ 品質 施工箇所 仕上の種類 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 特殊部位 石材の種類 厚さ 品質 施工箇所 仕上の種類 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 石裏打ち処理 ・適用する ・適用しない	12	木工事	③ 造作用集成材 (12.2.1)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 含水率 施工箇所 タモ 50×150 ※1等 ・2等 上り框 県産ヒノキ 厚30 ※1等 ・2等 カウンター天板 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 施工箇所 ※1等 ・2等 「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 施工箇所 ・1等 ・2等 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 含水率 施工箇所 ※A種 ・B種 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 含水率 施工箇所 ※A種 ・B種 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 含水率 施工箇所 ※A種 ・B種 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 樹種 寸法 見付け材面の等級 含水率 施工箇所 ※A種 ・B種	
		2. 鉄筋の加工及び組立 (8.2.5)(8.3.4)	各部の配筋 ・図示による 壁鉄筋の継手, 定着及び末端部の折り曲げ形状 ・図示による			3. 合成分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)(9.4.3) (表9.4.1~9.4.3)	接着工法 機械的固定工法 種別 施工箇所 種別 施工箇所 ・S-F1 ・S-M1 ・S-F2 ・S-M2 ・S-M3 ・S-I-F1 ・S-I-M1 ・S-I-F2 ・S-I-M2 断熱材 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に準ずるもの。			11			タイル工事	1. 陶磁器質タイル (11.2.2)(11.3.2)	施工箇所 形状寸法 (mm) うね 役物 色 無地 施地 あり なし 標準 注文 耐凍害性 ・適用する ・適用しない 耐滑り性 ・適用する ・適用しない 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない
9	防水工事	3. モルタル及びコンクリートの充填 (8.2.8)	充填するブロックの範囲 ・図示による	10	石工事	4. ウレタンゴム系塗膜防水及びゴムアスファルト系塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1)(表9.5.2)	ウレタンゴム系 種別 施工箇所 ・X-1 (絶縁工法) ・バルコニー ・X-2 (密着工法) ・ひさし 脱気装置の種類及び設置数量 (種別X-1の場合)	11	木工事	3. セメントモルタルによるタイル張り (11.2.7) (表11.2.3)	タイルの種類 工法 施工箇所 内装タイル ・改良積上げ張り ・密着張り 外装タイル ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ユニットタイル (内装タイル以外) ・マスク張り ・モザイクタイル張り	12	木工事	④ 防腐・防蟻・防虫処理 (12.3.1)	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 施工箇所 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 施工箇所 処理方法 敷居受材 ※公仕仕12.3.1(3)による。
		4. 押出成型セメント板 (8.5.2~4) (表8.5.1)(表8.5.2)	工法 表面形状 厚さ 取付工法 施工箇所 耐火性能 ・外壁 ・フラットパネル ・50 ・A種 建築基準法 パネル工法 ・デザインパネル ・60 ・B種 施行令第10 ・間仕切壁 ・フラットパネル ・50 ・B種 条の規定に パネル工法 ・デザインパネル ・60 ・C種 基づく ・タイルベースパネル 技術基準 パネル相互の目地幅 長辺 ※ 8mm以上 短辺 ※ 15mm以上 出隅及び入隅のパネル接合目地幅 ※ 15mm			5. 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2) (表11.3.2)	タイルの種類 工法 施工箇所 内装タイル ・内装壁タイル接着張り 外装タイル ・外装壁タイル接着張り ユニットタイル (内装タイル以外) ・外装壁タイル接着張り			5. 床張り用合板等 (12.2.1)	普通合板 厚さ 樹種 接着の程度 板面の品質 防虫処理 施工箇所 ※5.5mm以上 シナ ※1類 ※広葉樹2等以上 ※適用しない ※針葉樹C-D以上 構造用合板 等級 樹種 接着の程度 板面の品質 厚さ 防虫処理 施工箇所 ※1級 ※特等 ※C-D以上 ※1.2mm ・適用する ※2級 ※1類 ・適用しない 屋内の常時湿潤状態となる場所の接着の程度は特等とする。				
9	防水工事	4. コンクリートブロック壁及び塀 (8.2.8)	ブロックの種類 ○ 空洞ブロックC (16) (間仕切り壁、地下二重壁、外壁、塀)	10	石工事	5. ケイ酸質系塗布防水 (9.6.2)(9.6.3) (表9.6.2)	種別 施工箇所 ・Y-1 ・地下外壁 ・Y-2 ・屋内 (・便所 ・浴室)	11	木工事	4. 2. タイル下地コンクリート (11.2.7)(11.3.7)	あと張り工法の下地コンクリート素地面の処理 ・行う (下記のいずれかとする) ・行わない 素地表面処理の工法 施工箇所 ・目荒らし工法 (高圧水洗処理) ・MCR工法 目荒し工法の高圧水洗は (15.3.4(3)) による。 MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし (6.8.2(5)) による。 ポリマーセメントモルタルの調合は (9.3.3(4)) による。	12	木工事	⑤ 窓、出入口その他の木材 (12.5.1)	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 樹種 寸法 等級 形状 含水率 施工箇所 ・1級 ※2級 ※A種 ・B種 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 樹種 寸法 等級 形状 含水率 施工箇所 県産スギ80×30 ○上小節 板目板目込 ※A種 ・小節 ・B種 幅広付鴨居 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 樹種 寸法 等級 形状 含水率 施工箇所 ・特等 ※1等 ・2等 ※A種 ・B種 ※1.0%以下 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 施工箇所 造作用の場合 ※A種 ・適用する ・適用する ※A種 ・B種 ・適用しない ・適用しない ・B種
		5. ALCパネル (8.4.2)(8.4.3~5)	工法 単位荷重 (N/m <sup>2</sup> ) 厚さ 取付工法 施工箇所 耐火性能 (時間) ・外壁 ・1180 ・100 ・A種 パネル工法 ・1960 ・B種 ・間仕切壁 ・100 ・C種 パネル工法 ・D種 ・E種 ・屋根 ・980 ・100 ・F種 パネル工法 ・150 ・床 ・2350 ・100 パネル工法 ・3530 ・150 ・F種			6. FRP塗膜防水 (9.7.2) (表9.7.1)	種別 施工箇所 ・C-U1 ・C-UP			12. ① 表面仕上げ (12.1.4)	種別 施工箇所 ・A種 ○B種 見え掛り材 ・C種			7. 内部間仕切軸組及び床組 (12.4.1)	間仕切軸組 樹種 床組 ※杉 ※松
9	防水工事	5. ALCパネル (8.4.2)(8.4.3~5)	工法 単位荷重 (N/m <sup>2</sup> ) 厚さ 取付工法 施工箇所 耐火性能 (時間) ・外壁 ・1180 ・100 ・A種 パネル工法 ・1960 ・B種 ・間仕切壁 ・100 ・C種 パネル工法 ・D種 ・E種 ・屋根 ・980 ・100 ・F種 パネル工法 ・150 ・床 ・2350 ・100 パネル工法 ・3530 ・150 ・F種	10	石工事	7. 防水保証	種別 期間 アスファルト防水 ○10年 改質アスファルトシート防水 ・10年 合成分子系ルーフィングシート防水 ・10年 ウレタン系塗膜防水 ケイ酸質系塗布防水 FRP塗膜防水	11	木工事	6. セメントモルタルによるタイル張り (11.2.7) (表11.2.3)	タイルの種類 工法 施工箇所 内装タイル ・改良積上げ張り ・密着張り 外装タイル ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ユニットタイル (内装タイル以外) ・マスク張り ・モザイクタイル張り	12	木工事	⑥ 床板 (12.6.1)	施工箇所 樹種 縁甲板、上がりがまち ※ひのき ・
		6. 押出成型セメント板 (8.5.2~4) (表8.5.1)(表8.5.2)	工法 表面形状 厚さ 取付工法 施工箇所 耐火性能 ・外壁 ・フラットパネル ・50 ・A種 建築基準法 パネル工法 ・デザインパネル ・60 ・B種 施行令第10 ・間仕切壁 ・フラットパネル ・50 ・B種 条の規定に パネル工法 ・デザインパネル ・60 ・C種 基づく ・タイルベースパネル 技術基準 パネル相互の目地幅 長辺 ※ 8mm以上 短辺 ※ 15mm以上 出隅及び入隅のパネル接合目地幅 ※ 15mm			7. 接着剤によるタイル張り (11.3.2) (表11.3.2)	タイルの種類 工法 施工箇所 内装タイル ・内装壁タイル接着張り 外装タイル ・外装壁タイル接着張り ユニットタイル (内装タイル以外) ・外装壁タイル接着張り			9. 壁及び天井下地 (12.7.1)	施工箇所 樹種 壁下地、天井下地 ※杉 ※松				

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号	A-03
SCALE	—	図面名称	特記仕様書(3)				







19 内 装 工 事	① 水掛りの範囲 (19.1.3)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">室名</th> <th colspan="2">部位</th> </tr> <tr> <td>※便所</td> <td>※床</td> <td>※壁</td> <td>※天井</td> </tr> <tr> <td>※洗面脱衣室</td> <td>※床</td> <td>※壁</td> <td>※天井</td> </tr> <tr> <td>※洗濯機置き場</td> <td>※床</td> <td>※壁</td> <td>※天井</td> </tr> <tr> <td>※図19.1.1に示す範囲</td> <td>※床</td> <td>※壁</td> <td>※天井</td> </tr> <tr> <td>※玄関</td> <td>※床</td> <td>※壁</td> <td>※天井</td> </tr> </table>	室名		部位		※便所	※床	※壁	※天井	※洗面脱衣室	※床	※壁	※天井	※洗濯機置き場	※床	※壁	※天井	※図19.1.1に示す範囲	※床	※壁	※天井	※玄関	※床	※壁	※天井	19 内 装 工 事	⑥ 畳敷き (19.6.2)	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○D種 (D種の場合の畳床(・KT-I・KT-II○KT-III・KT-K・KT-N))</p> <p>※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。</p>	19 内 装 工 事	⑫ 内装プレハブ工法 (19.12.2)	<p>内装プレハブ工法を採用する場合は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>製材</td> <td>○「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」以外の製材</td> </tr> <tr> <td>造作用集材</td> <td>○「集材の日本農林規格」による造作用集材 ○「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材</td> </tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>○「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 ○「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</td> </tr> <tr> <td>化粧合板</td> <td>○天然木化粧合板 ○特殊加工化粧合板</td> </tr> </table>	種類	樹種	製材	○「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」以外の製材	造作用集材	○「集材の日本農林規格」による造作用集材 ○「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材	造作用単板積層材	○「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 ○「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	化粧合板	○天然木化粧合板 ○特殊加工化粧合板	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	⑫ カーテン及びカーテンレール (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">カーテン</th> <th colspan="2">カーテンレール</th> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>形式</td> <td>・シングル ○ダブル</td> </tr> <tr> <td>開閉操作</td> <td>・片引き ・引分け ・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>材質</td> <td>○アルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・角型 ・C型</td> <td>形状</td> <td>・角型 ・C型</td> </tr> </table>	カーテン		カーテンレール		形式	・シングル ・ダブル	形式	・シングル ○ダブル	開閉操作	・片引き ・引分け ・手引き ・ひも引き ・電動	材質	○アルミニウム製	形状	・角型 ・C型	形状	・角型 ・C型	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	⑬ 浴室ユニット (20.2.15)	<p>浴室ユニットの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L部品) ・その他 ( ) ・機材の品質・性能基準</p> <p>種類、形状、寸法、材質等は図示による。</p>	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	⑭ キッチンキャビネット (20.2.16)	<p>キッチンキャビネットの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L部品) ・その他 ( ) ・機材の品質・性能基準</p> <p>種類、材質、付属部品等は図示による。</p>	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	15. 郵便受箱 (20.2.17)	<p>郵便受箱の品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L部品) ・その他 ( ) ・機材の品質・性能基準</p> <p>形状、寸法、材質等は図示による。</p>	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	⑯ 手すりユニット (20.2.18)	<p>手すりユニットの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L部品) ・その他 ( ) ・機材の品質・性能基準</p>	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	⑰ 補助手すり (20.2.19)	<p>補助手すりの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L部品) ・その他 ( ) ・機材の品質・性能基準</p> <p>形状、寸法、材質等は図示による。</p>	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	18. 宅配ボックス装置 (20.2.20)	<p>宅配ボックスの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L部品) ・その他 ( ) ・機材の品質・性能基準</p> <p>形状、寸法、材質等は図示による。</p>	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	1. 排水管 (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材 種	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・図示	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	2. 鋳鉄製ふた (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・鋳鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉型 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉型 (テーパー・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> </tr> </table>	名 称	種 類	適用荷重	・鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉型 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉型 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	3. 側塊及び排水樹 (21.3.1)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> <tr> <td>・側塊</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・排水樹、ふた</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	種 類	形状・寸法	・側塊	・図示	・排水樹、ふた	・図示	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	4. グレーチング (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>用 途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>ボルト固定</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・普通目 ・細目</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・普通目 ・細目</td> <td>・有 ・無</td> </tr> </table>	材 質	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定	・鋼製	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・有 ・無	・ステンレス製	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・有 ・無	20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	5. 街ぎよ、縁石、側溝 (21.3.1)(21.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> <tr> <td>・縁石</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	種 類	形状・寸法	・縁石	・図示	・L形側溝	・図示	・U形側溝	・図示	・U形側溝ふた	・図示																																																																																
	室名		部位																																																																																																																																																																																																																								
	※便所	※床	※壁	※天井																																																																																																																																																																																																																							
	※洗面脱衣室	※床	※壁	※天井																																																																																																																																																																																																																							
	※洗濯機置き場	※床	※壁	※天井																																																																																																																																																																																																																							
	※図19.1.1に示す範囲	※床	※壁	※天井																																																																																																																																																																																																																							
	※玄関	※床	※壁	※天井																																																																																																																																																																																																																							
	種類	樹種																																																																																																																																																																																																																									
	製材	○「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ○「製材の日本農林規格」以外の製材																																																																																																																																																																																																																									
	造作用集材	○「集材の日本農林規格」による造作用集材 ○「集材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材 ○「集材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材																																																																																																																																																																																																																									
造作用単板積層材	○「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 ○「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																																																																																																																																																																																																																										
化粧合板	○天然木化粧合板 ○特殊加工化粧合板																																																																																																																																																																																																																										
カーテン		カーテンレール																																																																																																																																																																																																																									
形式	・シングル ・ダブル	形式	・シングル ○ダブル																																																																																																																																																																																																																								
開閉操作	・片引き ・引分け ・手引き ・ひも引き ・電動	材質	○アルミニウム製																																																																																																																																																																																																																								
形状	・角型 ・C型	形状	・角型 ・C型																																																																																																																																																																																																																								
材 種	呼び径																																																																																																																																																																																																																										
・遠心力鉄筋コンクリート管	・図示																																																																																																																																																																																																																										
・硬質ポリ塩化ビニル管	・図示																																																																																																																																																																																																																										
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・図示																																																																																																																																																																																																																										
名 称	種 類	適用荷重																																																																																																																																																																																																																									
・鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉型 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉型 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用																																																																																																																																																																																																																									
種 類	形状・寸法																																																																																																																																																																																																																										
・側塊	・図示																																																																																																																																																																																																																										
・排水樹、ふた	・図示																																																																																																																																																																																																																										
材 質	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定																																																																																																																																																																																																																							
・鋼製	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・有 ・無																																																																																																																																																																																																																							
・ステンレス製	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・有 ・無																																																																																																																																																																																																																							
種 類	形状・寸法																																																																																																																																																																																																																										
・縁石	・図示																																																																																																																																																																																																																										
・L形側溝	・図示																																																																																																																																																																																																																										
・U形側溝	・図示																																																																																																																																																																																																																										
・U形側溝ふた	・図示																																																																																																																																																																																																																										
3. カーベツト敷き (19.3.2)(19.3.3)	② ビニル床シート ビニル床タイル ゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">ビニル床シート</th> <th colspan="2">ビニル床タイル</th> <th colspan="2">ゴム床タイル</th> </tr> <tr> <td>分類</td> <td>記号</td> <td>色柄</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>特殊機能</td> <td>工法</td> </tr> <tr> <td>※発泡層のないもの</td> <td>※F S</td> <td>・無地</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止</td> <td>※熱溶接</td> </tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td> <td>・T S</td> <td>※マーブル柄</td> <td>※2.5</td> <td>・耐動荷重</td> <td>・突付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・H S</td> <td>・無地</td> <td>・</td> <td>※防滑性</td> <td>・熱溶接</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K S</td> <td>・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・突付け</td> </tr> </table>	ビニル床シート		ビニル床タイル		ゴム床タイル		分類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	※発泡層のないもの	※F S	・無地	※2.0	・帯電防止	※熱溶接	・発泡層のあるもの	・T S	※マーブル柄	※2.5	・耐動荷重	・突付け		・H S	・無地	・	※防滑性	・熱溶接		・K S	・柄物	・	・	・突付け	19 内 装 工 事	⑦ せっこうボード その他ボード (19.7.2)	<p>せっこうボードその他ボード類</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>JIS A 5404</td> <td>・硬質木毛セメント板 ・中質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板 ・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板</td> <td>HW MW NW HF NF</td> <td>・15・20・25 ・15・20・25 ・15・20・25 ・12・15・18 ・10</td> </tr> <tr> <td>JIS A 5430</td> <td>・けい酸カルシウム板 (タイプ2)</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>・6・8</td> </tr> <tr> <td>JIS A 5905</td> <td>・インシュレーションファイバーボード ・ミッドファイバーボード ・ハードボード</td> <td>IB MDF HB</td> <td>・9・12・15 ・7・9・12 ・3.5・5・7</td> </tr> <tr> <td>JIS A 5908</td> <td>・単板張りパーティクルボード ・化粧パーティクルボード</td> <td>VS DV</td> <td>・12・15・18 ・10・12</td> </tr> <tr> <td>JIS A 6301</td> <td>・グラスウール吸音ボード</td> <td>GB-W GB-R</td> <td>・32K ○9.5 ○12.5</td> </tr> <tr> <td>JIS A 6901</td> <td>○せっこうボード ○シージングせっこうボード ○強化せっこうボード ○化粧せっこうボード</td> <td>GB-S GB-F GB-D</td> <td>○9.5 ○12.5 ○12.5・15 ○9.5・12.5</td> </tr> </table> <p>普通合板において、屋内の湿潤状態となる場所に使用する場合は接着の程度を1類とする</p> <p>軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材 ・アクリル系シーリング材 ・ウレタン系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド</p>	規格番号	種類	記号	厚さ(mm)、規格等	JIS A 5404	・硬質木毛セメント板 ・中質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板 ・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板	HW MW NW HF NF	・15・20・25 ・15・20・25 ・15・20・25 ・12・15・18 ・10	JIS A 5430	・けい酸カルシウム板 (タイプ2)	0.8FK 1.0FK	・6・8	JIS A 5905	・インシュレーションファイバーボード ・ミッドファイバーボード ・ハードボード	IB MDF HB	・9・12・15 ・7・9・12 ・3.5・5・7	JIS A 5908	・単板張りパーティクルボード ・化粧パーティクルボード	VS DV	・12・15・18 ・10・12	JIS A 6301	・グラスウール吸音ボード	GB-W GB-R	・32K ○9.5 ○12.5	JIS A 6901	○せっこうボード ○シージングせっこうボード ○強化せっこうボード ○化粧せっこうボード	GB-S GB-F GB-D	○9.5 ○12.5 ○12.5・15 ○9.5・12.5	19 内 装 工 事	① 乾式遮音二重床下地張り工法 (19.11.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パーティクルボードの厚さ(mm)</th> <th>下張り合板の厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>乾式(基準階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(1階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(和室タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>※現場搬入時、パネル5枚抽出して質量を測定し、平均値が製造所の定める質量下限値以上であることを確認する</p>	種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所	乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	19 内 装 工 事	⑧ 壁紙張り (19.8.2)	<p>※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表板の樹種名</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>○普通合板</td> <td>・生地のまま</td> <td>・</td> <td>○4.0mm</td> <td>・1類</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透明塗料塗りの場合</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○2類</td> <td>○行わない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・不透明塗料の場合</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	表板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	接着	防虫処理	○普通合板	・生地のまま	・	○4.0mm	・1類	・行う		・透明塗料塗りの場合	・	・	○2類	○行わない		・不透明塗料の場合	・	・	・	・	19 内 装 工 事	⑨ 断熱・防露 (19.9.2)	<p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○発泡プラスチック断熱材</td> <td>○2.5</td> <td>※図示による</td> </tr> </table>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	○発泡プラスチック断熱材	○2.5	※図示による	19 内 装 工 事	⑩ 発泡プラスチック系床下地張り工法 (19.10.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>発泡(基準階タイプ)</td> <td>※600×900</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>発泡(1階タイプ)</td> <td>※600×900</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>発泡(和室タイプ)</td> <td>※600×900</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>※現場搬入時、パネル5枚抽出して質量を測定し、平均値が製造所の定める質量下限値以上であることを確認する</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工箇所	発泡(基準階タイプ)	※600×900	・	※図示による	発泡(1階タイプ)	※600×900	・	※図示による	発泡(和室タイプ)	※600×900	・	※図示による	19 内 装 工 事	⑪ 鏡 (20.2.9)	<p>縁なしの防湿性を有するものとする</p> <p>厚さ(mm) ※5</p>	19 内 装 工 事	⑫ 表示 (20.2.10)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>形状寸法</th> <th>材質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・衝突防止表示</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・非常用進入口</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○室名札</td> <td>○図示</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・ピクトグラフ</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・案内板</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種別	形状寸法	材質	備考	・衝突防止表示	・図示	・	・	・非常用進入口	・図示	・	・	○室名札	○図示	○	○	・ピクトグラフ	・図示	・	・	・案内板	・図示	・	・	19 内 装 工 事	9. 煙突ライニング (20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動式 ・電動式</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動式 ・電動式</td> </tr> </table>	形式	操作方法	・横型	・手動式 ・電動式	・縦型	・手動式 ・電動式	19 内 装 工 事	10. ブラインド (20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動式 ・電動式</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動式 ・電動式</td> </tr> </table>	形式	操作方法	・横型	・手動式 ・電動式	・縦型	・手動式 ・電動式	19 内 装 工 事	11. ロールスクリーン (20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>操作方式</th> <th>幅(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・電動式</td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・スプリング式</td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・チェーン式</td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table>	操作方式	幅(mm)	高さ(mm)	・電動式	・図示による	・図示による	・スプリング式	・図示による	・図示による	・チェーン式	・図示による	・図示による													
	ビニル床シート		ビニル床タイル		ゴム床タイル																																																																																																																																																																																																																						
	分類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																																																																																																																																																																																																																					
	※発泡層のないもの	※F S	・無地	※2.0	・帯電防止	※熱溶接																																																																																																																																																																																																																					
	・発泡層のあるもの	・T S	※マーブル柄	※2.5	・耐動荷重	・突付け																																																																																																																																																																																																																					
		・H S	・無地	・	※防滑性	・熱溶接																																																																																																																																																																																																																					
		・K S	・柄物	・	・	・突付け																																																																																																																																																																																																																					
	規格番号	種類	記号	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																							
	JIS A 5404	・硬質木毛セメント板 ・中質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板 ・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板	HW MW NW HF NF	・15・20・25 ・15・20・25 ・15・20・25 ・12・15・18 ・10																																																																																																																																																																																																																							
	JIS A 5430	・けい酸カルシウム板 (タイプ2)	0.8FK 1.0FK	・6・8																																																																																																																																																																																																																							
JIS A 5905	・インシュレーションファイバーボード ・ミッドファイバーボード ・ハードボード	IB MDF HB	・9・12・15 ・7・9・12 ・3.5・5・7																																																																																																																																																																																																																								
JIS A 5908	・単板張りパーティクルボード ・化粧パーティクルボード	VS DV	・12・15・18 ・10・12																																																																																																																																																																																																																								
JIS A 6301	・グラスウール吸音ボード	GB-W GB-R	・32K ○9.5 ○12.5																																																																																																																																																																																																																								
JIS A 6901	○せっこうボード ○シージングせっこうボード ○強化せっこうボード ○化粧せっこうボード	GB-S GB-F GB-D	○9.5 ○12.5 ○12.5・15 ○9.5・12.5																																																																																																																																																																																																																								
種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
種類	表板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	接着	防虫処理																																																																																																																																																																																																																						
○普通合板	・生地のまま	・	○4.0mm	・1類	・行う																																																																																																																																																																																																																						
	・透明塗料塗りの場合	・	・	○2類	○行わない																																																																																																																																																																																																																						
	・不透明塗料の場合	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																						
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																									
○発泡プラスチック断熱材	○2.5	※図示による																																																																																																																																																																																																																									
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
発泡(基準階タイプ)	※600×900	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
発泡(1階タイプ)	※600×900	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
発泡(和室タイプ)	※600×900	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
種別	形状寸法	材質	備考																																																																																																																																																																																																																								
・衝突防止表示	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
・非常用進入口	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
○室名札	○図示	○	○																																																																																																																																																																																																																								
・ピクトグラフ	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
・案内板	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
形式	操作方法																																																																																																																																																																																																																										
・横型	・手動式 ・電動式																																																																																																																																																																																																																										
・縦型	・手動式 ・電動式																																																																																																																																																																																																																										
形式	操作方法																																																																																																																																																																																																																										
・横型	・手動式 ・電動式																																																																																																																																																																																																																										
・縦型	・手動式 ・電動式																																																																																																																																																																																																																										
操作方式	幅(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																																																									
・電動式	・図示による	・図示による																																																																																																																																																																																																																									
・スプリング式	・図示による	・図示による																																																																																																																																																																																																																									
・チェーン式	・図示による	・図示による																																																																																																																																																																																																																									
4. 合成樹脂塗床 (19.4.2)(19.4.3)	③ ビニル床シート ビニル床タイル ゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">ビニル床シート</th> <th colspan="2">ビニル床タイル</th> <th colspan="2">ゴム床タイル</th> </tr> <tr> <td>分類</td> <td>記号</td> <td>色柄</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>特殊機能</td> <td>工法</td> </tr> <tr> <td>※発泡層のないもの</td> <td>※F S</td> <td>・無地</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止</td> <td>※熱溶接</td> </tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td> <td>・T S</td> <td>※マーブル柄</td> <td>※2.5</td> <td>・耐動荷重</td> <td>・突付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・H S</td> <td>・無地</td> <td>・</td> <td>※防滑性</td> <td>・熱溶接</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K S</td> <td>・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・突付け</td> </tr> </table>	ビニル床シート		ビニル床タイル		ゴム床タイル		分類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	※発泡層のないもの	※F S	・無地	※2.0	・帯電防止	※熱溶接	・発泡層のあるもの	・T S	※マーブル柄	※2.5	・耐動荷重	・突付け		・H S	・無地	・	※防滑性	・熱溶接		・K S	・柄物	・	・	・突付け	19 内 装 工 事	④ 乾式遮音二重床下地張り工法 (19.11.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パーティクルボードの厚さ(mm)</th> <th>下張り合板の厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>乾式(基準階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(1階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(和室タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>※現場搬入時、パネル5枚抽出して質量を測定し、平均値が製造所の定める質量下限値以上であることを確認する</p>	種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所	乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	19 内 装 工 事	⑤ フローリング張り (19.5.2~5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">フローリング</th> <th colspan="2">フローリング</th> <th colspan="2">フローリング</th> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>工法</td> <td>樹種</td> <td>板厚(mm)</td> <td>板幅(mm)</td> <td>板長さ(mm)</td> </tr> <tr> <td>・フローリング</td> <td>・根太張り</td> <td>※なら</td> <td>※15</td> <td>※75</td> <td>※500</td> </tr> <tr> <td>・フローリング</td> <td>・直張り</td> <td>※なら</td> <td>※12</td> <td>※75</td> <td>※300</td> </tr> <tr> <td>・フローリング</td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>※8・12</td> <td>※75以上</td> <td>※900</td> </tr> <tr> <td>・フローリング</td> <td>・接着工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	フローリング		フローリング		フローリング		種別	工法	樹種	板厚(mm)	板幅(mm)	板長さ(mm)	・フローリング	・根太張り	※なら	※15	※75	※500	・フローリング	・直張り	※なら	※12	※75	※300	・フローリング	・接着工法	※なら	※8・12	※75以上	※900	・フローリング	・接着工法	・	・	・	・	19 内 装 工 事	⑥ 乾式遮音二重床下地張り工法 (19.11.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パーティクルボードの厚さ(mm)</th> <th>下張り合板の厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>乾式(基準階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(1階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(和室タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>※現場搬入時、パネル5枚抽出して質量を測定し、平均値が製造所の定める質量下限値以上であることを確認する</p>	種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所	乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	19 内 装 工 事	⑦ 乾式遮音二重床下地張り工法 (19.11.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パーティクルボードの厚さ(mm)</th> <th>下張り合板の厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>乾式(基準階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(1階タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>乾式(和室タイプ)</td> <td>※2.0・2.5</td> <td>・5.5 ※1.2</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>※現場搬入時、パネル5枚抽出して質量を測定し、平均値が製造所の定める質量下限値以上であることを確認する</p>	種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所	乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による	19 内 装 工 事	⑧ 壁紙張り (19.8.2)	<p>※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表板の樹種名</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>○普通合板</td> <td>・生地のまま</td> <td>・</td> <td>○4.0mm</td> <td>・1類</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透明塗料塗りの場合</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○2類</td> <td>○行わない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・不透明塗料の場合</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	表板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	接着	防虫処理	○普通合板	・生地のまま	・	○4.0mm	・1類	・行う		・透明塗料塗りの場合	・	・	○2類	○行わない		・不透明塗料の場合	・	・	・	・	19 内 装 工 事	⑨ 断熱・防露 (19.9.2)	<p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○発泡プラスチック断熱材</td> <td>○2.5</td> <td>※図示による</td> </tr> </table>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	○発泡プラスチック断熱材	○2.5	※図示による	19 内 装 工 事	⑩ 発泡プラスチック系床下地張り工法 (19.10.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>発泡(基準階タイプ)</td> <td>※600×900</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>発泡(1階タイプ)</td> <td>※600×900</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>発泡(和室タイプ)</td> <td>※600×900</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>※現場搬入時、パネル5枚抽出して質量を測定し、平均値が製造所の定める質量下限値以上であることを確認する</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工箇所	発泡(基準階タイプ)	※600×900	・	※図示による	発泡(1階タイプ)	※600×900	・	※図示による	発泡(和室タイプ)	※600×900	・	※図示による	19 内 装 工 事	⑪ 鏡 (20.2.9)	<p>縁なしの防湿性を有するものとする</p> <p>厚さ(mm) ※5</p>	19 内 装 工 事	⑫ 表示 (20.2.10)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>形状寸法</th> <th>材質</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・衝突防止表示</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・非常用進入口</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○室名札</td> <td>○図示</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・ピクトグラフ</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・案内板</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種別	形状寸法	材質	備考	・衝突防止表示	・図示	・	・	・非常用進入口	・図示	・	・	○室名札	○図示	○	○	・ピクトグラフ	・図示	・	・	・案内板	・図示	・	・
	ビニル床シート		ビニル床タイル		ゴム床タイル																																																																																																																																																																																																																						
	分類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																																																																																																																																																																																																																					
	※発泡層のないもの	※F S	・無地	※2.0	・帯電防止	※熱溶接																																																																																																																																																																																																																					
	・発泡層のあるもの	・T S	※マーブル柄	※2.5	・耐動荷重	・突付け																																																																																																																																																																																																																					
		・H S	・無地	・	※防滑性	・熱溶接																																																																																																																																																																																																																					
		・K S	・柄物	・	・	・突付け																																																																																																																																																																																																																					
	種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																							
	乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																							
	乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																							
乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
フローリング		フローリング		フローリング																																																																																																																																																																																																																							
種別	工法	樹種	板厚(mm)	板幅(mm)	板長さ(mm)																																																																																																																																																																																																																						
・フローリング	・根太張り	※なら	※15	※75	※500																																																																																																																																																																																																																						
・フローリング	・直張り	※なら	※12	※75	※300																																																																																																																																																																																																																						
・フローリング	・接着工法	※なら	※8・12	※75以上	※900																																																																																																																																																																																																																						
・フローリング	・接着工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																						
種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
種類	パーティクルボードの厚さ(mm)	下張り合板の厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
乾式(基準階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
乾式(1階タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
乾式(和室タイプ)	※2.0・2.5	・5.5 ※1.2	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
種類	表板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	接着	防虫処理																																																																																																																																																																																																																						
○普通合板	・生地のまま	・	○4.0mm	・1類	・行う																																																																																																																																																																																																																						
	・透明塗料塗りの場合	・	・	○2類	○行わない																																																																																																																																																																																																																						
	・不透明塗料の場合	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																						
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																									
○発泡プラスチック断熱材	○2.5	※図示による																																																																																																																																																																																																																									
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
発泡(基準階タイプ)	※600×900	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
発泡(1階タイプ)	※600×900	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
発泡(和室タイプ)	※600×900	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																								
種別	形状寸法	材質	備考																																																																																																																																																																																																																								
・衝突防止表示	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
・非常用進入口	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
○室名札	○図示	○	○																																																																																																																																																																																																																								
・ピクトグラフ	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								
・案内板	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																								



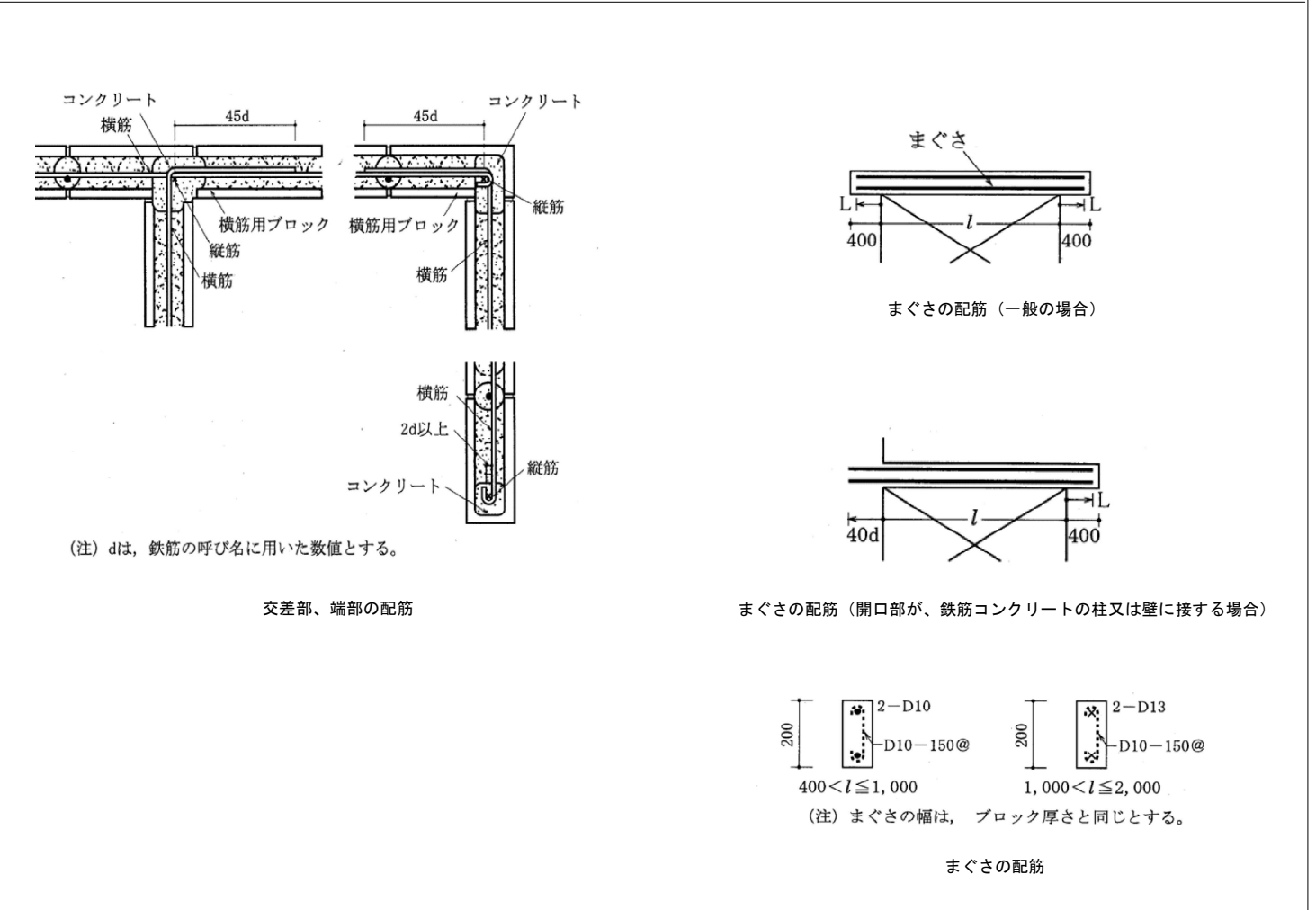
22 舗装工事	1. 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	盛土材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 凍上抑制層 ・ 適用する (材料 ・ ) ・ 適用しない フィルター層の厚さ ・ mm 路床安定処理添加材料 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う (・ 乱した土 ・ 乱さない土) ・ 行わない 路床の締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない	23 植栽工事	1. 植栽地の確認等 (23.1.3)	・ 土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない ・ 電気伝導度 (EC) 試験 ・ 行う ・ 行わない	24 P C 工 法 に よ る 工 事	1. PC部材製造に用いる材料及び部品 (24.2.1)	セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント ※ 早強ポルトランドセメント ※ 混合セメントのA種 混和材料 混和剤 ・ A E 剤 ・ 減水剤 ・ A E 減水剤 ・ 高性能減水剤 ・ 高性能 A E 減水剤 ・ 流動化剤 混和材 ・ フライアッシュ ・ 高炉スラグ微粉末 ・ シリカフューム ・ 膨張材 鉄筋 : JISS G 3112	25 工 事	2. 路盤 (22.3.2) (22.3.3)	路盤材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>品 質</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 路盤の締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない	種 別	品 質	厚 さ (mm)	・	・	・	2. 植栽基盤 (23.2.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>樹 種 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>樹木</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>芝, 地被類木</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 植え込み用土 ・ 客土 ・ 現場発生土の良質土 土壌改良材 ・ 適用する (・ パーク堆肥 ・ 汚泥発酵肥料) ・ 適用しない 土壌改良材を適用する場合の使用量は、植込等の面積 1㎡ 当たり、 パーク堆肥 50リットル 汚泥発酵肥料 10リットル	種 別	樹 種 等	・ A種	樹木	・ B種	芝, 地被類木	・ C種		・ D種		24 P C 工 法 に よ る 工 事	(24.2.4)	鉄筋の規格名称 種類の記号 径 (mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼 <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SD 2 9 5 A</td> <td>・ D 10 ~ D 16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD 3 4 5</td> <td>・ D 19 ~ D 25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD 3 9 0</td> <td>・ D 29 以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 建築基準法 37 条認定 ・ 高強度せん断補強筋	規格名称	種類の記号	径 (mm)	・ SD 2 9 5 A	・ D 10 ~ D 16		・ SD 3 4 5	・ D 19 ~ D 25		・ SD 3 9 0	・ D 29 以上		25 工 事	(24.2.5)	鋼材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類の記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS G 3101</td> <td>・ SS400 ・ SS490 ・ SS540</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3106</td> <td>・ SM400A B C ・ SM490A B C</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3114</td> <td>・ SMA400AW AP BW BP CW CP</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3136</td> <td>・ SN400A B C ・ SN490B C</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3138</td> <td>・ SNR400A B ・ SNR490B</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3350</td> <td>・ SSC400</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3353</td> <td>・ SWH400</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3444</td> <td>・ STK400 ・ STK490</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3466</td> <td>・ STKR400 ・ STKR490</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3475</td> <td>・ STKN400W ・ STKN400B ・ STKN490B</td> </tr> </tbody> </table> 建築基準法に基づき指定又は認定	規格番号	種類の記号	JIS G 3101	・ SS400 ・ SS490 ・ SS540	JIS G 3106	・ SM400A B C ・ SM490A B C	JIS G 3114	・ SMA400AW AP BW BP CW CP	JIS G 3136	・ SN400A B C ・ SN490B C	JIS G 3138	・ SNR400A B ・ SNR490B	JIS G 3350	・ SSC400	JIS G 3353	・ SWH400	JIS G 3444	・ STK400 ・ STK490	JIS G 3466	・ STKR400 ・ STKR490	JIS G 3475	・ STKN400W ・ STKN400B ・ STKN490B	25 工 事	(24.2.6)	接合金物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>仕上がり形状</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	仕上がり形状	寸法	・	・
	種 別	品 質		厚 さ (mm)																																																																								
	・	・		・																																																																								
	種 別	樹 種 等																																																																										
	・ A種	樹木																																																																										
	・ B種	芝, 地被類木																																																																										
	・ C種																																																																											
	・ D種																																																																											
規格名称	種類の記号	径 (mm)																																																																										
・ SD 2 9 5 A	・ D 10 ~ D 16																																																																											
・ SD 3 4 5	・ D 19 ~ D 25																																																																											
・ SD 3 9 0	・ D 29 以上																																																																											
規格番号	種類の記号																																																																											
JIS G 3101	・ SS400 ・ SS490 ・ SS540																																																																											
JIS G 3106	・ SM400A B C ・ SM490A B C																																																																											
JIS G 3114	・ SMA400AW AP BW BP CW CP																																																																											
JIS G 3136	・ SN400A B C ・ SN490B C																																																																											
JIS G 3138	・ SNR400A B ・ SNR490B																																																																											
JIS G 3350	・ SSC400																																																																											
JIS G 3353	・ SWH400																																																																											
JIS G 3444	・ STK400 ・ STK490																																																																											
JIS G 3466	・ STKR400 ・ STKR490																																																																											
JIS G 3475	・ STKN400W ・ STKN400B ・ STKN490B																																																																											
仕上がり形状	寸法																																																																											
・	・																																																																											
3. アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.6)	アスファルト舗装の構成及び厚さ ・ 図示 ・ 加熱アスファルト混合物の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>地 域</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表 層</td> <td>・ 一般地域</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 寒冷地域</td> <td>・ 密粒度アスファルト混合物 (13 F)</td> </tr> </tbody> </table> シールコート ・ 行う ・ 行わない アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	区 分	地 域	種 類	表 層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)		・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13 F)	3. 植樹 (23.3.2) (23.3.3)	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量 ※ 図示 支柱材 ※ 丸太 幹巻き用材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも	25 工 事	(24.3.1)	コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート 1 種 ・ 軽量コンクリート 2 種																																																													
区 分	地 域	種 類																																																																										
表 層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																																										
	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13 F)																																																																										
4. コンクリート舗装 (22.5.2) (22.5.3)	コンクリート舗装の厚さ <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 車道部</td> <td>・ 150 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 歩道部</td> <td>※ 70 ・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ	部 位	厚 さ (mm)	・ 車道部	・ 150 ・ 図示	・ 歩道部	※ 70 ・ 図示	4. 芝 (23.4.2)	種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平地 ※ 目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※ べた張り 吹付けは種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 洋芝類 (採集後 2 年以内)</td> <td>※ 80% 以上</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 地被類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹 種</th> <th>芽 立 数</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	※ 洋芝類 (採集後 2 年以内)	※ 80% 以上	・	樹 種	芽 立 数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	・	・	・	・	25 工 事	(24.3.2)	コンクリートの設計基準強度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>水セメント比</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>※ 5.5% 以下</td> <td>※ 12cm 以下</td> </tr> </tbody> </table>	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	水セメント比	スランプ	・	※ 5.5% 以下	※ 12cm 以下																																												
部 位	厚 さ (mm)																																																																											
・ 車道部	・ 150 ・ 図示																																																																											
・ 歩道部	※ 70 ・ 図示																																																																											
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)																																																																										
※ 洋芝類 (採集後 2 年以内)	※ 80% 以上	・																																																																										
樹 種	芽 立 数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																																																																									
・	・	・	・																																																																									
F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	水セメント比	スランプ																																																																										
・	※ 5.5% 以下	※ 12cm 以下																																																																										
5. カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>構成及び厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加熱系 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物</td> <td>・ 車道部 ・ 歩道部</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>常温系 ・ ニート工法 ・ 塗布工法</td> <td>・ 車道部 ・ 歩道部</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 添加する材料 ・ 着色骨材 ( ) ・ 自然石 ( )	種 類	部 位	構成及び厚さ (mm)	加熱系 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	・ 図示	常温系 ・ ニート工法 ・ 塗布工法	・ 車道部 ・ 歩道部	・	5. 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3)	・ 屋上緑化システム <table border="1"> <thead> <tr> <th>土壌層の厚さ</th> <th>排水層</th> <th>植込み用土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 図示</td> <td>・ 軽量骨材</td> <td>・ 人工軽量土</td> </tr> <tr> <td>・ 12cm (層の厚さ: )</td> <td>※ 改良土</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 30cm</td> <td>・ 板状成形品</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土壌層の厚さ	排水層	植込み用土	・ 図示	・ 軽量骨材	・ 人工軽量土	・ 12cm (層の厚さ: )	※ 改良土		・ 30cm	・ 板状成形品		25 工 事	(24.3.3)	かぶり厚さ <table border="1"> <thead> <tr> <th>非耐力壁・床・屋根 (mm)</th> <th>耐力壁・柱・梁 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 20</td> <td>※ 30</td> </tr> </tbody> </table>	非耐力壁・床・屋根 (mm)	耐力壁・柱・梁 (mm)	※ 20	※ 30																																													
種 類	部 位	構成及び厚さ (mm)																																																																										
加熱系 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	・ 図示																																																																										
常温系 ・ ニート工法 ・ 塗布工法	・ 車道部 ・ 歩道部	・																																																																										
土壌層の厚さ	排水層	植込み用土																																																																										
・ 図示	・ 軽量骨材	・ 人工軽量土																																																																										
・ 12cm (層の厚さ: )	※ 改良土																																																																											
・ 30cm	・ 板状成形品																																																																											
非耐力壁・床・屋根 (mm)	耐力壁・柱・梁 (mm)																																																																											
※ 20	※ 30																																																																											
6. 透水性アスファルト舗装 (22.7.2)	透水性アスファルト舗装の構成 ・ 図示	6. ウォール・擁壁 (23.6.2)	調査 支持力試験 ・ 行う (方法: ) ・ 行わない 種類 ・ 現場打ち擁壁 ※ プレキャスト無筋擁壁 ・ ブロック積(張)擁壁 ・ 石積(張)擁壁 ・ その他擁壁 (・ レンガウォール ・ タイルウォール ・ コンクリートブロックウォール)	25 工 事	(24.3.4)	タイル仕上げの工法 ※ タイル打込み工法 添えプレートの材質 フレアグレーブ溶接の余盛 (mm)																																																																						
7. ブロック舗装 (22.8.2) (22.8.3)	・ コンクリート平板舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>構成及び厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 普通平板</td> <td>・ 300角</td> <td>・</td> <td>・ 砂</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性平板</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ モルタル</td> </tr> </tbody> </table> ・ インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 普通ブロック</td> <td>・ 車道部</td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック</td> <td>・ 歩道部</td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> </tr> </tbody> </table> ・ 鋪石舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	寸 法	構成及び厚さ (mm)	目地材	・ 普通平板	・ 300角	・	・ 砂	・ 透水性平板	・	・	・ モルタル	種 類	部 位	厚 さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	・ 普通ブロック	・ 車道部	※ 80	※ 5.0	・ 透水性ブロック	・ 歩道部	※ 60	※ 3.0	種 類	形 状	寸 法 (mm)	・	・	・	7. 四つ目垣 (23.7.3)	柱材料 ※ 杉 ※ 桧	25 工 事	(24.3.5)	溶接後の検査 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない																																								
種 類	寸 法	構成及び厚さ (mm)	目地材																																																																									
・ 普通平板	・ 300角	・	・ 砂																																																																									
・ 透水性平板	・	・	・ モルタル																																																																									
種 類	部 位	厚 さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )																																																																									
・ 普通ブロック	・ 車道部	※ 80	※ 5.0																																																																									
・ 透水性ブロック	・ 歩道部	※ 60	※ 3.0																																																																									
種 類	形 状	寸 法 (mm)																																																																										
・	・	・																																																																										
8. 砂利敷き (22.9.2)	砂利敷きの種別 ・ A種 (※ 通路) ・ B種 (※ 建物周囲その他)	8. 遊戯施設及びサービス (23.8.2)	防腐処理 ・ 適用する (方法: ) ・ 適用しない	25 工 事	(24.3.6)	スリーブ接合の材料 スリーブ接合の施工方法 スリーブ接合の検査 ・ 行う (方法: 判定基準: ) ・ 行わない																																																																						
		9. 柵 (23.9.2)	・ バイブ柵 ・ ネットフェンス 種類 ・ 焼丸太 樹種 ※ 杉 ※ 桧	25 工 事	(24.3.7)	コンクリートの設計基準強度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>(PC部材の設計基準強度以上とする)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	(PC部材の設計基準強度以上とする)	・	・																																																																		
F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	(PC部材の設計基準強度以上とする)																																																																											
・	・																																																																											
		10. 自転車置場ユニット (23.10.2)	自転車置場ユニットの品質及び性能 ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 収容台数 ・ 台	25 工 事	(24.3.8)	敷きモルタルの圧縮強度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>(PC部材の設計基準強度以上とする)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	(PC部材の設計基準強度以上とする)	・	・																																																																		
F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	(PC部材の設計基準強度以上とする)																																																																											
・	・																																																																											
		11. 物置ユニット (23.10.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>強度区分の種別</th> <th>寸 法</th> <th>形 状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材質	強度区分の種別	寸 法	形 状	・	・	・ 図示	・ 図示	・	・	・	・	25 工 事	(24.3.9)	敷きモルタルの圧縮強度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>(PC部材の設計基準強度以上とする)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	(PC部材の設計基準強度以上とする)	・	・																																																						
材質	強度区分の種別	寸 法	形 状																																																																									
・	・	・ 図示	・ 図示																																																																									
・	・	・	・																																																																									
F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	(PC部材の設計基準強度以上とする)																																																																											
・	・																																																																											

各工事の区分表						
工 事 項 目	建築	電気	機械	昇降	外構	備 考
躯体への貫通孔						
貫通孔の材料	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
貫通孔の墨出し	○	○	○	○		同上
貫通孔の取付け	○	○	○	○		同上
貫通孔の補強	○					
屋上						
機器及び水槽類の基礎	○					
同上基礎のアンカーボルト設置		○	○			
同上基礎の防水	○					
昇降機						
昇降機の躯体	○					
機械室の躯体	○					
機械室の床開口	○					
機械室天井フック	○					
ガイドレール下地	○					
ビット防水	○					
押しボタン、インジケータ	○					
三方栓、幕板取付け				○		
三方栓廻り埋戻し				○		
機械室換気設備			○			
制御盤から外部インターホンまでの配管、配線				○		
点検用コンセント	○					
その他						
インサート	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
A L C 板の壁開口及び補強	○					
押出成形セメント板の壁開口及び補強	○					
壁礎、ドレン	○					
壁礎から第一樹までの接続	○					
第一樹以降の排水設備				○		
ハンドホール等の化粧蓋			○	○		
消火器			○			
消火器ボックス	○					
テレビアンテナ		○				
避雷針		○				
浄化槽			○			
受水槽			○			
ゴミ置き場				○		
自転車置場				○		

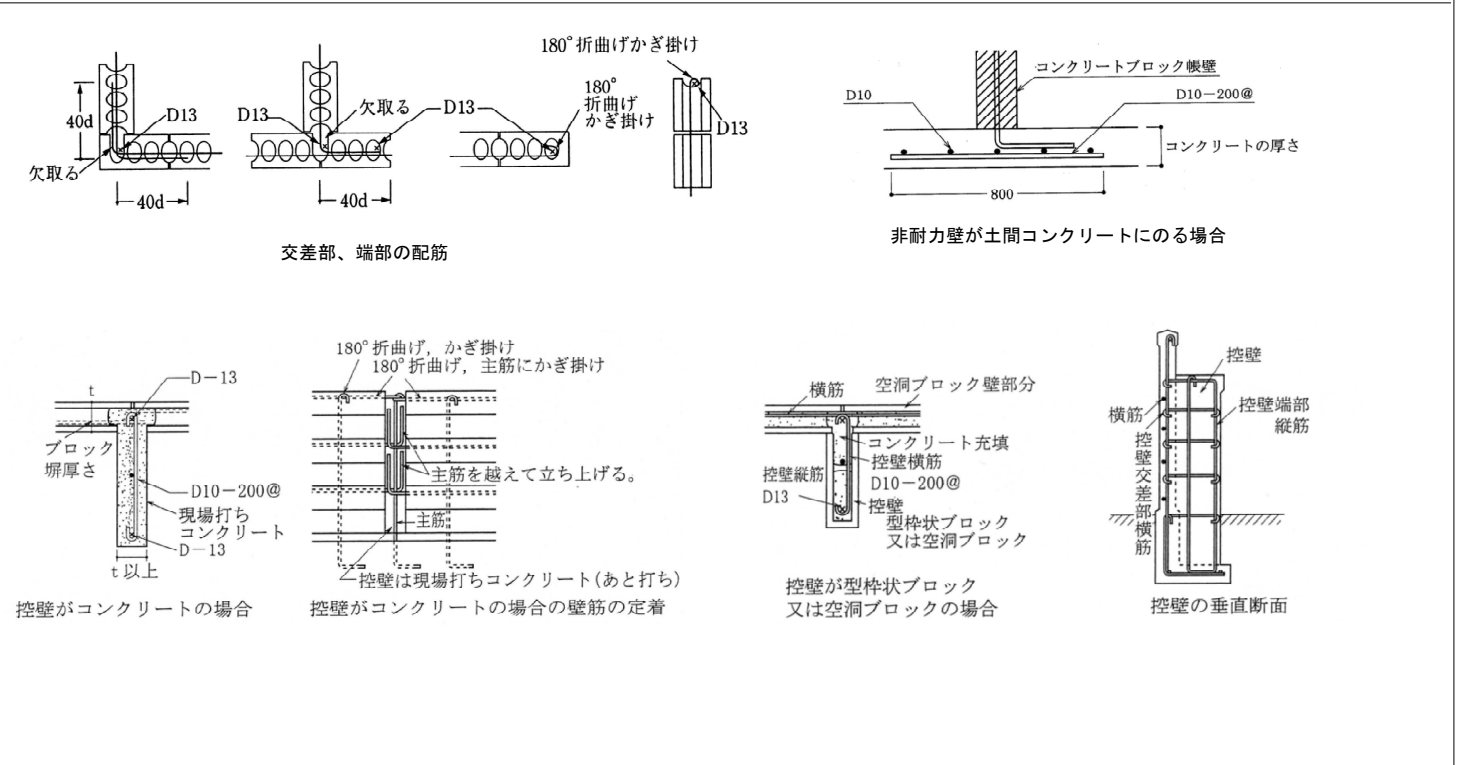
各工事の区分表						
工 事 項 目	建築	電気	機械	昇降	外構	備 考
軽量天井・壁下地及び木天井・壁下地						
墨出し	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事
開口補強	○					
手すり下地補強	○					
吊り戸下地補強	○					
洗面化粧台下地補強	○					
天井・壁せつこうボード						
ボード切込み	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事
台所廻り						
キッチンユニット（流し台、ガス台、吊り戸）	○					
レンジフード			○			
棚下灯			○			
洗面所・浴室廻り						
洗面化粧台			○			
洗濯パン			○			
浴室ユニット	○					
浴室ユニット内照明器具	○					
浴室ユニット内水栓	○					
バスタオル掛け	○					
便所廻り						
衛生陶器			○			
補助手すり	○					
タオル掛け	○					
紙巻き器			○			
その他						
床・壁・天井点検口	○					
クーラースリーブ及びキャップ	○					
室外機用吊りボルト	○					
床暖房				○		

参考図

補強コンクリートブロック造



コンクリートブロック帳壁及び壁



CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号	A-08
		SCALE	—	図面名称	特記仕様書(8)		



項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																														
衛生器具設備	1. 大便器洗浄弁 (5-1.1.8)	※ 洗浄タンク方式	・ 洗浄弁方式 ( ・ 電気開閉式 ・ 手動式)	給水設備	7. 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用は除く) ・ 含まない	暖房設備	1. 設計温湿度条件	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">外気</td> <td colspan="4">屋内 (調整目標値)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏期</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>		外気		屋内 (調整目標値)					温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期	℃	%	℃	%	℃	%	冬期	℃	%	℃	%	℃	%
		外気			屋内 (調整目標値)																																
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																															
夏期	℃	%	℃	%	℃	%																															
冬期	℃	%	℃	%	℃	%																															
2. 便器洗浄用タンク	※ 手洗付	・ 手洗なし		8. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ( )		2. 長方形ダクトの区分	・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 ( ・ 共板 ・ スライド)																													
3. 温水洗浄便座 (5-1.1.13)	洗浄用水加温方式	※ 貯湯式	・ 瞬間式	9. ステンレス管の接合方法	呼び径75Su以上 ・ ハウジング形継手接合 ・ フランジ接合 ・ 溶接接合 呼び径60Su以下は共通仕様書 (SAS322を満足した継手による接合) による。		3. 配管材料 (2-2.1.2.4) (2-2.1.2.5)	冷媒配管 ・ 鋼管 ・ 保温化粧ケース ( ・ 有 ・ 無) ・ 断熱材被覆鋼管																													
4. 器具付風呂栓 (5-1.1.6)	※ 節水こま	・ 普通こま		10. 保温 (2-3.1.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">保温の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ ロックウール</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>機械室、メーター室内 階下のあるトレンチ内</td> <td>・ ロックウール</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>天井内 パイプシャフト内</td> <td>・ ロックウール</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>階下のないトレンチ内</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> <td>・ なし</td> </tr> <tr> <td>屋外露出</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> <td>・ ポリエチレンフォーム</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	保温の種類		屋内露出	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム	機械室、メーター室内 階下のあるトレンチ内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム	天井内 パイプシャフト内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム	階下のないトレンチ内	・ ポリスチレンフォーム	・ なし	屋外露出	・ ポリスチレンフォーム	・ ポリエチレンフォーム		4. 機材の品質等 (1-1.4.2)	機材の品質及び性能の適用は、次による。 住戸セントラル暖房方式 (暖・冷房システム) ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準											
施工箇所	保温の種類																																				
屋内露出	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム																																			
機械室、メーター室内 階下のあるトレンチ内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム																																			
天井内 パイプシャフト内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム																																			
階下のないトレンチ内	・ ポリスチレンフォーム	・ なし																																			
屋外露出	・ ポリスチレンフォーム	・ ポリエチレンフォーム																																			
5. 自動水栓 (5-1.1.7)	電源種別	・ AC100V	・ 乾電池 ・ 自己発電	11. 建物導入部配管 (2-2.4.1)	不等沈下のおそれがある場合は、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) によるフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。		5. 機材の品質等 (1-1.4.2)	機材の品質及び性能の適用は、次による。 給湯器ユニット (ガス給湯機) ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 電気温水器 (電気給湯機) ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) ヒートポンプ給湯機 (電気給湯機) ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 太陽熱利用システム ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )																													
6. 小便器自動洗浄 (5-1.1.2)	電気開閉式 ( ・ 小便器一体型 ・ 分離型)			12. 機材の品質等 (1-1.4.2)	機材の品質及び性能の適用は、次による。 給水ポンプシステム ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) さや管ヘッダー配管システム ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 水 槽 ※ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )		1. ダクト材料	台所 ・ 鉄板スパイラルダクト ・ ステンレスダクト 浴室、洗面所、便所 (住戸内) ・ 鉄板スパイラルダクト ・ ステンレスダクト ・ 複質ポリ塩化ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP ・ 2管路) ・ 換気用耐火二層管 ( ・ 単管路 ・ 2管路)																													
7. 洗面化粧ユニット	付属品の排水管及びトラップの材質	※ 樹脂製	・ 金属製				2. 長方形ダクトの区分	・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 ( ・ 共板 ・ スライド)																													
8. 機材の品質等 (1-1.4.2)	機材の品質及び性能の適用は、次による。 便 器 ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 洗面化粧ユニット ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 洗濯機用防水パン ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 浴 槽 ※ 優良住宅部品 (BL部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )						3. ダンパーの固定方法 (3-2.3.3)	図示によるほか、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) による。																													
給水設備	1. 量水器	親メーター ※ 貸与 ・ 買取 (隔測メーター ・ 有 ・ 無)	子メーター ・ 貸与 ※ 買取 (隔測メーター ・ 有 ・ 無)	排水設備	1. 配管材料 (2-2.1.2.6)	屋内汚水管 (共用部分) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP) ・ 耐火二層管 ・ 耐火ビニル管 (FS-VP) 屋内雑排水管 (共用部分) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP) ・ 耐火二層管 ・ 耐火ビニル管 (FS-VP) 屋内汚水管 (専有部分) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP) ・ 耐火二層管 ・ 耐火ビニル管 (FS-VP) 通気管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP) ・ 耐火二層管 ・ 耐火ビニル管 (FS-VP) 屋外地中管 ・ ビニル管 ( ・ VP ・ RF-VP) ・ ビニル管 (VU)	ガス設備	1. 配管材料	一般 ※ ガス事業者の規定による ・ 配管用炭素鋼管 (白) 地中埋設部 ※ ガス事業者の規定による ・ ポリエチレン管																												
	2. 量水器柵	・ 水道事業者指定品 ( ・ 貸与 ・ 買取)			2. 都市ガス	各戸ガスメーター ※ ガス事業者設置 引込負担金 ・ 不要 ・ 要 ( ・ 別途工事 ・ 本工事)		2. 都市ガス	各戸ガスメーター ※ ガス事業者設置 ガスポンベ ※ 貸与 ・ 買取 集合装置及び配管要領は、図示によるほか、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) による。																												
3. 配管材料 (2-2.1.2.5)	一般配管 ・ 塩ビライニング鋼管 ( ・ VA ・ VB) ・ ポリ粉体ライニング鋼管 ( ・ VA ・ VB) ・ ステンレス鋼管 ( ) ・ ビニル管 ( ・ VP ・ HIVP) 地中埋設配管 ・ 塩ビライニング鋼管 (VD) ・ ポリ粉体ライニング鋼管 (PD) ・ ステンレス鋼管 ( ) ・ ビニル管 ( ・ VP ・ HIVP ) ・ ポリエチレン管 ( ・ 融着 ・ メカニカル) ・ 金属強化ポリエチレン管 住戸内配管 ・ 架橋ポリエチレン管 ( ・ 融着 ・ メカニカル) ・ ポリブテン管 ( ・ 融着 ・ メカニカル) ・ 金属強化ポリエチレン管			3. 掃除口	横主管の掃除口は1.0m以内毎に設置する。		3. 液化石油ガス	各戸ガスメーター ※ ガス事業者設置 ガスポンベ ※ 貸与 ・ 買取 集合装置及び配管要領は、図示によるほか、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) による。																													
4. 弁類	水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業者の規定による ( K) その他の部分 ※ JIS又はJV10K ・ JIS又はJV5K 屋外埋設弁 (呼び径75A以上) ・ 水道用仕切弁 ・ 水道用ダクタイル鉄継手切弁 ・ 水道用ソフトシール仕切弁 ・ 水道用合成樹脂製ソフトシール仕切弁 ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。			4. 放流負担金等	放流負担金 ・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ( )		4. ガス漏れ警報器	図示による ( ・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途工事 外部出力端子 ・ 有 ・ 無																													
5. 水栓類	屋内 ( ※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) 泡沫式とする箇所 ( ) 屋外 ( ※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 耐寒水栓はJWWAの認証品とする			5. 保温 (2-3.1.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">保温の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ ロックウール</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>機械室 階下のあるトレンチ内</td> <td>・ ロックウール</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td>天井内 パイプシャフト内</td> <td>・ ロックウール</td> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ グラスウール</td> <td>・ ポリエチレンフォーム</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	保温の種類		屋内露出	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム	機械室 階下のあるトレンチ内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム	天井内 パイプシャフト内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム		・ グラスウール	・ ポリエチレンフォーム	消火設備	1. 配管材料 (2-2.1.2.5)	一般配管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 圧力配管用炭素鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 合成樹脂管 (共同住宅用スプリンクラー) 地中埋設配管 ・ 外面被覆鋼管 ( ・ SGP-VS ・ STPG370-VS)														
施工箇所	保温の種類																																				
屋内露出	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム																																			
機械室 階下のあるトレンチ内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム																																			
天井内 パイプシャフト内	・ ロックウール	・ ポリスチレンフォーム																																			
	・ グラスウール	・ ポリエチレンフォーム																																			
6. 埋設深さ	一般敷地内 ( ※ 300mm以上 ・ mm以上) 敷地内車道 ( ※ 600mm以上 ・ mm以上) 公道部分 ( ※ 水道事業者及び道路管理者の規定による)			2. 排水柵 (5-1.8.1)	図示によるほか、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) による。		2. 都市ガス	各戸ガスメーター ※ ガス事業者設置 引込負担金 ・ 不要 ・ 要 ( ・ 別途工事 ・ 本工事)																													
							3. 調理用ガス機器	各戸ガスコンロ ( ・ 組込型 ・ 据置型 ・ 別途工事)																													
							4. 撤去工事																														
							1. 撤去工事																														

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号	P-02
		SCALE	1/30	図面名称	機械設備工事 特記仕様書 (2)		

工事区分表						
工 事 項 目	建築	電気	機械	昇降	外構	備 考
躯体への貫通孔						
貫通孔の材料	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
貫通孔の墨出し	○	○	○	○		同 上
貫通孔の取付け	○	○	○	○		同 上
貫通孔の補強	○					
屋上						
機器及び水槽類の基礎	○					
同上基礎のアンカーボルト設置		○	○			
同上基礎の防水	○					
昇降機						
昇降機の躯体	○					
機械室の躯体	○					
機械室の床開口	○					
機械室天井フック	○					
ガイドレール下地	○					
ピット防水	○					
押しボタン、インジケータ	○					
三方枠、幕板取付け				○		
三方枠廻り埋戻し				○		
機械室換気設備			○			
制御盤から外部巾着までの配管、配線				○		
点検用コンセント		○				
その他						
インサート	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事
A L C板の壁開口及び補強	○					
押出成形セメント板の壁開口及び補強	○					
縦樋、ドレン	○					
縦樋から第一樹までの接続	○					
第一樹以降の排水設備					○	
ハンドホール等の化粧蓋		○	○			
消火器			○			
消火器ボックス	○					
テレビアンテナ		○				
避雷針		○				
浄化槽			○			
受水槽			○			
ゴミ置き場					○	
自転車置場					○	

工事区分表						
工 事 項 目	建築	電気	機械	昇降	外構	備 考
軽量天井・壁下地及び木天井・壁下地						
墨出し	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事
開口補強	○					
手すり下地補強	○					
吊り戸下地補強	○					
洗面化粧台下地補強	○					
天井・壁せつこうボード						
ボード切込み	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事
台所廻り						
キッチンユニット（流し台、ガス台、吊り戸）	○					
レンジフード			○			
棚下灯		○				
洗面所・浴室廻り						
洗面化粧台			○			
洗濯パン			○			
浴室ユニット	○					
浴室ユニット内照明器具	○					
浴室ユニット内水栓	○					
バスタオル掛け	○					
便所廻り						
衛生陶器			○			
補助手すり	○					
タオル掛け	○					
紙巻き器			○			
その他						
床・壁・天井点検口	○					
クーラースリーブ及びキャップ	○					
室外機用吊りボルト	○					
床暖房			○			

CHECKED	DRAWING	DATE 2020. 8. 21	工事名称 神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 P-03
		SCALE 1/30	図面名称 機械設備工事 特記仕様書（3）	





編	項目	特記事項	編	項目	特記事項	編	項目	特記事項	編	項目	特記事項			
2	1 電線保護物類 (1.2.6)~(1.2.9)	形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 接地端子座の形状等は、標準図第2編「電力設備工事」による。	2	14. 共通事項 (2.1.10) (2.1.11) (2.1.12) (2.1.13) (2.2.7) (2.3.7) (2.4.7) (2.10.3)	・ 金属ダクトが防火区画等を貫通する場合は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 金属ダクト、バスダクト又はケーブルラックが防火区画された配線室等の内部の床を貫通する部分で延焼防止処置を要する場合は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 横引き配管等の耐震支持は、標準図第2編「電力設備工事」による。 建築の構造体：・ 免震構造 ・ 制震構造 ・ その他 ・ 建物引込部の耐震処置を行う配管及び建物のエキスパンションジョイント部の配線は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 二重天井の位置ボックスは、天井面（埋込み形器具の場合を除く。）に取付ける。	3	1. キュービクル式配電盤 (1.1.3) (1.1.4) (1.1.5)	キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 積算計器は、(※ 検定付 ・ 無検定)とする。 ・ 制御回路等の配線は、次による。 1. 配線終端は、特記がなければ無はんだ接続とし、配線端には、配線番号及び端子記号を記入した絶縁性のマークバンドを取付ける。 2. 制御回路用の外部配線を接続する場合は、端子1台を設けるものとする。 ・ 外部との接続用の端子台は、壁1面につき5端子以上の余裕を持たせる。 ・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。	5	(1.1.7.1) (1.1.7.2) (1.1.8)	燃料油は、(・ 軽油 (号) ・ 重油 (号))とする。 ・ 潤滑油ドレン用バルブを取付ける。 ・ 配管材料 ( )			
2	2 照明器具 (1.4.1) (1.4.2) (1.4.3) (1.4.4)	記号及び形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 1.5kgを超えるダウンライト器具の構造は、標準図第2編「電力設備工事」による。 照明用ポールには、(※ 配線用遮断器 ・ カットアウトスイッチ)を設ける。 ・ 安定器の定格入力容量（表示値）は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ランプの光源色：※ 電球色 ・ 白色 ・ 昼白色	15	合成樹脂管配線 (P管、C管) (2.3.3)	管の切口は、電線等の被覆を損傷しないよう平滑にする。 ・ 二重筋の上筋と下筋部分及び管と金属管部分の交差は、踏みつけによる圧縮変形の影響をさけるため、上筋と下筋の重なり部分よりずらして交差配管する。	受変電設備工事	2. 高圧スイッチギア (1.2.2) (1.2.4)	スイッチギアの形は、(・ CX形 ・ CW形 ・ PW形)とする。 ・ 導電部の定格電流 ( A) ・ 導電部の定格短時間耐電流 ( kA)	3. ガスタービン発電装置 (1.2.5) (1.2.6.5) (1.2.7.1)	2. ガスエンジン発電装置 (1.2.5) (1.2.6.5) (1.2.7.1)	保安装置の外部用端子：・ 設ける ・ 設けない ・ 適用項目 ( ) ・ 原動機の排気ガスに含まれる窒素酸化物の規制値 (以下) 燃料ガス（天然ガス系都市ガス）は、(・ 1.3 A ・ 1.2 A)とする。			
3	3 防災用照明器具 (1.5.1)	形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。	16	バスダクト配線 (2.9.2)	エキスパンションバスダクト：・ 設ける ・ 設けない	4	高圧スイッチギア (1.2.2) (1.2.4)	スイッチギアの形は、(・ CX形 ・ CW形 ・ PW形)とする。 ・ 導電部の定格電流 ( A) ・ 導電部の定格短時間耐電流 ( kA)	4. 太陽光発電装置 (1.7.1) (1.7.2) (1.7.4)	3. ガスタービン発電装置 (1.3.4.2) (1.3.4.5) (1.3.5)	・ 運転時間 (時間) ・ 排気ガスの排出規制値及び燃焼方式 ( ) 潤滑油系の配管に設ける冷却器は、(※ 空冷式 ・ 水冷式)とする。 保安装置の外部用端子：・ 設ける ・ 設けない ・ 適用項目 ( ) ・ 原動機の排気ガスに含まれる窒素酸化物の規制値 (以下) 燃料油は、(・ 灯油 (号) ・ 軽油 (号) ・ 重油 (号))とする。			
4	4 分電盤 (1.8.1) (1.8.2) (1.8.3) (1.8.6) (1.8.7)	種別は一般形とし、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ ガラスベースの寸法は、標準図第2編「電力設備工事」による。 キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 接地端子座の形状等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 特に腐食等を考慮すべき場所に使用されるものについては、図示による。 積算計器は、(※ 検定付 ・ 無検定)とする。 ・ 低圧用SPDクラスI (JIS C 5381-11「低圧サージ防護デバイス-第11部」：低圧配電システムに接続する低圧サージ防護デバイスの要求性能及び試験方法」に規定するクラスI試験によるもの)の性能：( ) ・ 電力計測装置は、次による。 1. 計測回路数：回 2. 集中監視部：信号回数 (回線)、信号種別 ( ) 3. 集中監視部の外部出力端子 ( ) 4. 変成器の定格電流： A 5. 表示器：※ 設ける ・ 設けない 住宅用分電盤に設ける、過電流警報装置の品質及び性能は、次による。 ・ 素材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) ・ ハンドル用の鍵は、総数の20%とし、最低3個とする。 ・ 補修塗料は、各色ごとに、100cc/缶とする。	17	ケーブル配線 (2.10.1.1) (2.10.1.4) (2.10.1.5) (2.10.1.7) (2.10.1.9) (2.10.2)	・ ケーブルは、造管材、ケーブルラック等に沿って敷設し、梁から梁等へ飛ばしてはならない。やむを得ず飛ばして敷設する場合は、補助材を渡して固定するか又はメッセンジャワイヤを張り、これに固定する。 ・ ケーブルは、盤内等で、若干の余裕長を確保する。 ・ 高圧ケーブル結束処理部には、施工を担当した電気工事士の氏名、番号等を明記したカードを取付ける。 ちよう架配線は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ ケーブルを二重天井内に敷設する場合は、標準図第2編「電力設備工事」による。 配線室等において、ケーブル頂部を構造体に固定し、垂直につり下げて配線する垂直ケーブルは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 平形保護層工事に使用する器材等は、図示による。 ・ ケーブルラックは、容易に点検できる場所に施設する。 ・ ケーブルラックは強電用、弱電用は別々に取付ける。 やむをえず共用する場合は、セパレータを設け、C種接地工事を施す。	5	据付け (2.1.1)	・ キュービクル式配電盤等の基礎は、標準図第3編「受変電設備工事」による。 ・ 附属品の施設単位及び取納 1. 附属品は、原則として電室単位とする。 ただし、蓄電池用附属品については、設備箇所単位とする。 2. 附属品を収納する適当な大きさの収納箱を設置する。 ・ 壁棚の附属品 プロテクタ付き点検灯 (600V VCTケーブル約5m、プラグ付き、100V、100W電球相当の照明)を1個納入する。 なお、低圧配電盤が併設される場合は、公住仕電気標準第2編、8.7「予備品等」による。 ・ 自家用電気室用附属品 自家用電気室用附属品は、以下のものとし、1以外の特記で示されたものを備えることとする。 ただし、低圧回路のみのときは、7~10は、不要とする 1. 指示板 (記載内容は、監督職員の指示による。) (1) 連絡先板・・・・・・・・・1枚 (400×600mm) (概略寸法) (2) 操作説明板・・・・・・・・・1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (3) 系統図板 (電気系統及び冷却水、燃料配管系統)・・・・各1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (4) 自家用電気室用表示板・・・・1枚 (420×600mm) (概略寸法) 2. 消火器 (電気火災及び油火災両用、標識とも) ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備で、建物に延焼のおそれがない場合は除く。 (1) 全出力500kVA未満の変電及び発電設備 小型消火器 (10形程度)・・・・・・・・・2個以上 (2) 全出力500kVA以上1,000kVA未満の変電及び発電設備 大型消火器 (10能力単位以上)・・・・・・・・・2個以上 3. 低圧・高圧兼用検電器 (音響、ネオン併用式) (低圧自家用の場合は、低圧用検電器)・・・・1個以上 4. 回路計 (ケース、リード付き JIS C 1202「回路計」A級)・・・・・・1個 5. クランプメータ (抵抗測定用アダプタ付き)・・・・1個 標準測定範囲…電流 (交流) 0~300A、電圧 (交流) 0~600V 6. 絶縁抵抗計 (100MΩ、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 7. 短絡接地器具 (5m)・・・・・・・・・一式 8. 断路器又は気中開閉器操作用フック棒・・・・・・2本 ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備において、屋外用とする場合は、特記による。 9. 絶縁抵抗計 (2,000MΩ、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 10. 絶縁ゴムマット (6kV用・すべり止め付き)・・・・一式	6	受変電設備用附属品 (1.5.2) (1.5.4)	交流遮断器の走査方式は、(・ 手動おね操作方式 ・ 電気操作方式)とする。 電気操作方式の場合は、(・ 電動おね操作方式 ・ 電磁操作方式)とする。 高圧直相コンデンサの絶縁方式は、(・ 油入 ・ 乾式)とする。 乾式の場合は、(・ モールド ・ ガス入り)とする。 直列リアクトルは、(・ 油入 ・ モールド)とする。 ・ 直列リアクトルの最大許容電流 ( %) ・ 避雷器は、動作表示が肉眼点検できるものであって、かつ、特性要素の取替えが容易にできるものとする。 ・ 高圧負荷開閉器を引込社に設ける場合は、避雷器を内蔵する。	7	5. 風力発電装置 (1.8.1) (1.8.2) (1.8.3)	風力発電装置の定格出力：※ 20kW未満 ・ 20kWを超える ( ) 系統運系：・ あり ・ なし ・ 風車のスケール、材質、形状等 ( ) 移転用の遠方監視用接点：・ 設ける ・ 設けない
5	5 耐熱形分電盤 (1.9.1)	形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。	18	地中配線 (2.12.3) (2.12.4) (2.12.5)	マンホール及びハンドホールは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) 管と建物との接続部は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 架空配線からの引込みは、標準図第2編「電力設備工事」による。 低圧幹線、高圧又は特別高圧以外の地中配線の標識シート等 (※ 設ける ・ 設けない) ・ 管路等の土かぶりは、図示による。 埋設線の敷設は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( )	6	受変電設備用附属品 (1.5.2) (1.5.4)	・ 付属品の施設単位及び取納 1. 附属品は、原則として電室単位とする。 ただし、蓄電池用附属品については、設備箇所単位とする。 2. 附属品を収納する適当な大きさの収納箱を設置する。 ・ 壁棚の附属品 プロテクタ付き点検灯 (600V VCTケーブル約5m、プラグ付き、100V、100W電球相当の照明)を1個納入する。 なお、低圧配電盤が併設される場合は、公住仕電気標準第2編、8.7「予備品等」による。 ・ 自家用電気室用附属品 自家用電気室用附属品は、以下のものとし、1以外の特記で示されたものを備えることとする。 ただし、低圧回路のみのときは、7~10は、不要とする 1. 指示板 (記載内容は、監督職員の指示による。) (1) 連絡先板・・・・・・・・・1枚 (400×600mm) (概略寸法) (2) 操作説明板・・・・・・・・・1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (3) 系統図板 (電気系統及び冷却水、燃料配管系統)・・・・各1枚 (1,200×800mm) (概略寸法) (4) 自家用電気室用表示板・・・・1枚 (420×600mm) (概略寸法) 2. 消火器 (電気火災及び油火災両用、標識とも) ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備で、建物に延焼のおそれがない場合は除く。 (1) 全出力500kVA未満の変電及び発電設備 小型消火器 (10形程度)・・・・・・・・・2個以上 (2) 全出力500kVA以上1,000kVA未満の変電及び発電設備 大型消火器 (10能力単位以上)・・・・・・・・・2個以上 3. 低圧・高圧兼用検電器 (音響、ネオン併用式) (低圧自家用の場合は、低圧用検電器)・・・・1個以上 4. 回路計 (ケース、リード付き JIS C 1202「回路計」A級)・・・・・・1個 5. クランプメータ (抵抗測定用アダプタ付き)・・・・1個 標準測定範囲…電流 (交流) 0~300A、電圧 (交流) 0~600V 6. 絶縁抵抗計 (100MΩ、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 7. 短絡接地器具 (5m)・・・・・・・・・一式 8. 断路器又は気中開閉器操作用フック棒・・・・・・2本 ただし、屋外に設置されたキュービクル式高圧受電設備において、屋外用とする場合は、特記による。 9. 絶縁抵抗計 (2,000MΩ、ケース、リード付き) JIS C 1302「絶縁抵抗計」(電池式)・・・・・・1個 10. 絶縁ゴムマット (6kV用・すべり止め付き)・・・・一式	7	ディーゼル発電設備、ガスエンジン発電設備、ガスタービン発電設備の据付け (2.1.6) (2.1.7.1) (2.1.7.2) (2.1.7.5)	・ 主燃料槽の据付けは、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料小出槽の据付けは、標準図第4編「発電設備工事」 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 横引き配管等の耐震支持は、標準図第4編「発電設備工事」による。 建築の構造体：・ 免震構造 ・ 制震構造 ・ その他 ・ 配管には、流体の種類及び方向を明示するものとし、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料系統配管において、地中埋設配管の分岐及び曲部には、次による埋設標を設置する。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 排気系統配管において、地震時に過大な変位が生じないように、標準図第4編「発電設備工事」による3方向のストッパを設ける。 ・ 排気管と煙突の接続は、標準図第4編「発電設備工事」による。			
6	6 開閉器 (1.12.1)	形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。	19	接地 (2.13.14) (2.14.1) (2.14.3) (2.14.4)	接地極埋設標は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ D種接地及びC種接地の表示は、特に監督職員の指示するもののみとする。 屋内配線から分岐して照明器具に至る配線及び照明器具電源送り配線は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 質量の大きいもの及び取付け方法の特殊なものは、あらかじめ取付け詳細図を監督員に提出し、協議する。 ・ 照明器具の背面形式は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ダウンライト器具の取付けは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 取付け用ビスは、めっきしたもの若しくはステンレス製とし、電線を損傷しないように、最小必要長さにして使用する。 ・ 電気室等に設ける照明器具は、高圧配線及び配電盤等の直上には避けて、保守点検が容易な場所に取付ける。 ・ 二重天井内に設ける位置ボックス内で屋内配線から分岐して埋込み形照明器具に至る配線は、金属製可とう電線管配線又はケーブル配線とする。 なお、二重天井内に断熱材が施されている場合においては、ケーブルが断熱材に押しさえつけられないように施工する。 ・ 共用部分に取付ける器具は、給湯器の排気管等、熱及び湿気を排出する部分との離隔を十分にとる。 ・ 共用灯の取付け位置は、ランプ交換時等に危険のない場所を選定する。	4	電力貯蔵設備工事 (2.2.1) (2.2.7)	1. 直流電源装置 (2.7)	・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。	8	8. 施工の立会い及び試験 (2.7.1) (2.7.6)	・ 現地総合試験は、電気主任技術者及び監督職員の立会いを受ける。		
7	7 制御盤 (1.13.1) (1.13.3) (1.13.6)	形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 接地端子座の形状等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 ・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。	20	電灯設備 (2.14.1) (2.14.3) (2.14.4)	・ 電室等に設ける照明器具は、高圧配線及び配電盤等の直上には避けて、保守点検が容易な場所に取付ける。 ・ 二重天井内に設ける位置ボックス内で屋内配線から分岐して埋込み形照明器具に至る配線は、金属製可とう電線管配線又はケーブル配線とする。 なお、二重天井内に断熱材が施されている場合においては、ケーブルが断熱材に押しさえつけられないように施工する。 ・ 共用部分に取付ける器具は、給湯器の排気管等、熱及び湿気を排出する部分との離隔を十分にとる。 ・ 共用灯の取付け位置は、ランプ交換時等に危険のない場所を選定する。	5	電力貯蔵設備工事 (2.2.1) (2.2.7)	2. 交流無停電電源装置 (UPS) (2.2.1) (2.2.7)	方式は、(・ 常時イン→給電方式 ・ ライン切替方式 ・ 常時商用給電方式)とする。 ・ 停電補償時間 (時間)	9	9. 風力発電設備の試験項目 ( )	・ 風力発電設備の試験項目 ( )		
8	8 電気自動車用充電装置 (1.15.1) (1.15.3) (1.15.4) (1.15.7) (1.15.8)	※ 電気自動車用急速充電装置 ・ 電気自動車用普通充電装置 電気自動車用普通充電装置の定格電圧： V キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 電力変換装置の定格直流電圧： V ・ 文字記号は、標準図第1編「共通事項」による。 移転用の遠方監視用接点：・ 設ける ・ 設けない	21	動力設備 (2.15.1)	・ 電動機への配線は、標準図第2編「電力設備工事」による。 電線への配線は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( )	5	電力貯蔵設備工事 (2.2.1) (2.2.7)	1. ディーゼル発電装置 (1.1.1) (1.1.4.2) (1.1.4.5) (1.1.5.3) (1.1.6.1) (1.1.6.3) (1.1.6.4)	・ 運転時間 (時間) ・ 排気ガスの排出規制値及び燃焼方式 ( ) 保安装置の外部用端子：・ 設ける ・ 設けない ・ 適用項目 ( ) ・ 補機附属装置等の通用機器等 ( ) ・ 冷却水 ( ) ・ 主燃料槽の寸法等は、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料小出槽は、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ( ) 燃料小出槽の構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 給油ボックスは、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ( ) 給油ボックスの構成材は、(・ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 原動機の排気ガスに含まれる窒素酸化物の規制値 (以下) ・ 消音器は、次による。 1. 消音器は断熱材等で保護し、かつ、躯体と十分な離隔距離を確保して設置する。 2. 消音器と建物を通する排気管は、耐熱性の伸縮継手と接続する。	9	9. 風力発電設備の試験項目 ( )	・ 風力発電設備の試験項目 ( )		
9	9 雷保護装置 (1.17.2) (1.17.3) (1.17.4)	突針の支持管は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) 試験用接続端子箱の形式等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) 引下げ導線及び避雷導線の構造への接続金物は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( )	22	雷保護設備 (2.17.2) (2.17.3) (2.17.4)	突針支持管及び取付金具の取付けは、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) 引下げ導線と鉄骨及び鉄筋との接続等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 接地極の埋設は、標準図第2編「電力設備工事」による。	5	電力貯蔵設備工事 (2.2.1) (2.2.7)	2. 交流無停電電源装置 (UPS) (2.2.1) (2.2.7)	方式は、(・ 常時イン→給電方式 ・ ライン切替方式 ・ 常時商用給電方式)とする。 ・ 停電補償時間 (時間)	9	9. 風力発電設備の試験項目 ( )	・ 風力発電設備の試験項目 ( )		
10	10 接地 (1.18.1) (1.18.2) (1.18.3) (1.18.4)	・ 接地端子箱の形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 接続鋼板の形式等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 接地棒の形式等は、標準図第2編「電力設備工事」による。 接地極埋設標の形式等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( )	23	施工の立会い及び試験 (2.18.2)	接地抵抗の測定時期及び回数 ( ) 照度測定は、原則、本工事範囲すべて行うものとするが、これにより難しい場合は、監督職員との協議による。	5	電力貯蔵設備工事 (2.2.1) (2.2.7)	1. ディーゼル発電装置 (1.1.1) (1.1.4.2) (1.1.4.5) (1.1.5.3) (1.1.6.1) (1.1.6.3) (1.1.6.4)	・ 運転時間 (時間) ・ 排気ガスの排出規制値及び燃焼方式 ( ) 保安装置の外部用端子：・ 設ける ・ 設けない ・ 適用項目 ( ) ・ 補機附属装置等の通用機器等 ( ) ・ 冷却水 ( ) ・ 主燃料槽の寸法等は、標準図第4編「発電設備工事」による。 燃料小出槽は、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ( ) 燃料小出槽の構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 給油ボックスは、次による。 ※ 標準図第4編「発電設備工事」 ・ その他 ( ) 給油ボックスの構成材は、(・ 鋼板 ・ ステンレス)とする。 ・ 原動機の排気ガスに含まれる窒素酸化物の規制値 (以下) ・ 消音器は、次による。 1. 消音器は断熱材等で保護し、かつ、躯体と十分な離隔距離を確保して設置する。 2. 消音器と建物を通する排気管は、耐熱性の伸縮継手と接続する。	9	9. 風力発電設備の試験項目 ( )	・ 風力発電設備の試験項目 ( )		
11	11 外線材料 (1.19.6)	マンホール、ハンドホール及び鉄ふたの形式等は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) ブロックマンホール及びブロックハンドホールの荷重、土圧等の構造条件は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( ) 埋設標は、次による。 ※ 標準図第2編「電力設備工事」 ・ その他 ( )												
12	12 換気扇等 (1.18.3) (1.18.4)	・ 換気扇等は、次による。 1. 換気扇及びウェザーカバーの形状、性能等は、図示による。 2. 雨水の浸入のおそれのある場所に取付ける換気扇は、風圧シャッター等雨水が舞い込まないように処置を施す。 3. エレベーター機械室、電気室等で換気扇本体に容易に人が触れるおそれがある場合は、防護カバー等で保護すること。												
13	13 機材の試験 (1.20.1)	住宅用分電盤に設ける、過電流警報装置の試験は、次による。 ※ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )												

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県県営住宅標準プラン集	図面番号	E-02
		SCALE	—	図面名称	電気設備工事 特記仕様書(2)		

編 号	項 目	特 記 事 項
6	① 配線器具 (1.3.3)	・ 同軸ケーブルの接続に使用するコネクタ ( )
2.	端子盤・機器収納ラック等 (1.4.2)	端子盤及び集合保安器箱の形式等は、次による。 ※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」 ・ その他 ( )
3.	屋内用キャビネットの構成材は、(※ 鋼板 ・ ステンレス)とする。端子板は、次による。(1.4.4)	※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 通信用SPDカテゴリD1の性能 ( )
4.	情報表示装置 (1.7.4.1)(1.7.4.2) (1.7.4.6)	・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。 観時計の時刻補正方式：・ GPS方式 ・ 標準電波方式 ・ 太陽電池式ポル形屋外時計は、次による。 内照時計の点灯時間及び不日照時の点灯保証日数 ( ) 時刻補正方式：・ GPS方式
5.	拡声装置 (1.9.1)(1.9.4)	・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。 FMアンテナの品質及び性能は、次による。 ※ 優良住宅部品 (B.L部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )
6.	誘導支援装置 (1.10.1) (1.10.4) (1.10.10) (1.10.12) (緊急通報装置)	形式等は、次による。 ※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」 ・ その他 ( ) テレビインターホン (録機) で撮像範囲を調整する機能：・ あり ・ なし テレビインターホン (子機) で撮像範囲を調整する機能：・ あり ・ なし 住宅情報装置の品質及び性能は、次による。 ※ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 宅配ボックス装置の品質及び性能は、次による。 ※ 優良住宅部品 (B.L部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 緊急通報装置は、高齢者が安心して生活が送れるように側面からサポートし、入居者のプライバシーを損うことなく、暮らしや、住まい、健康等を間接的、自動的に管理を行う設備とし、構成機器は、図示による。
7.	テレビ共同受信装置 (1.11.1)(1.11.2)	・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。 テレビ機器の品質及び性能は、次による。 ※ 優良住宅部品 (B.L部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )
8.	テレビ電波障害防止装置 (1.12.1)	・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。
9.	監視カメラ装置 (1.13.1)~(1.13.5)	・ 主要機器の種類、性能、定格、数量等は、図示による。 ・ 機器収納ラックは、次による。 1. 前面扉は、かぎ付きとする。 2. 側面パネルは、容易に開放できない構造とする。
10.	駐車場管制装置 (1.14.1)(1.14.2) (1.14.5)	・ 形式等は、標準図第5編「通信・情報設備工事」による。 ・ 制御部の機能 ( ) 発行券：・ 磁気式 ・ ICカード式 ・ その他 ・ 発券方式 ( )
11.	自動火災報知装置 (1.16.4) (1.16.7)	・ 表示装置 ( ) ・ スポット型感知器は、特記がなければ、露出形とする。
12.	非常警報装置 (1.18.1)	非常放送装置で緊急地震放送を行う機能：・ あり ・ なし
13.	機材の試験 (1.21.1)	端子盤の性能試験は、次による。 ※ 公仕電気編第6編表1.2.1.1「端子盤の試験」 ・ その他 ( ) FMアンテナの試験は、次による。 ※ 優良住宅部品 (B.L部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 住宅情報装置の試験は、次による。 ※ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) 宅配ボックス装置の試験は、次による。 ※ 優良住宅部品 (B.L部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( ) テレビ機器の試験は、次による。 ※ 優良住宅部品 (B.L部品) ・ 機材の品質・性能基準 ・ その他 ( )
14.	地中配線 (2.11.3)	地中配線の標識シート等 (※ 設ける ・ 設けない)

編 号	項 目	特 記 事 項												
15.	接地の施工 (2.12.2)	・ 接地を施す機器は、次表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>接地を施す機器</th> <th>接地抵抗値 [Ω]</th> <th>接地線の太さ [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主端子盤及び保安装置を有する端子盤</td> <td>100 以下</td> <td>1.6 以上</td> </tr> <tr> <td>ヘッドエンド、増幅器、電源供給器、保安器、メッセンジャワイヤ</td> <td>100 以下</td> <td>1.6 以上</td> </tr> <tr> <td>拡声用増幅器</td> <td>100 以下</td> <td>1.6 以上</td> </tr> </tbody> </table>	接地を施す機器	接地抵抗値 [Ω]	接地線の太さ [mm]	主端子盤及び保安装置を有する端子盤	100 以下	1.6 以上	ヘッドエンド、増幅器、電源供給器、保安器、メッセンジャワイヤ	100 以下	1.6 以上	拡声用増幅器	100 以下	1.6 以上
接地を施す機器	接地抵抗値 [Ω]	接地線の太さ [mm]												
主端子盤及び保安装置を有する端子盤	100 以下	1.6 以上												
ヘッドエンド、増幅器、電源供給器、保安器、メッセンジャワイヤ	100 以下	1.6 以上												
拡声用増幅器	100 以下	1.6 以上												
16.	構内交換設備 (2.14.2)	・ 接地線は、強電の接地とは共用してはならない。 ただし、建物内に設ける増幅器等の機器接地は、この限りではない。 ・ 主端子盤及び保安装置を収容する端子盤には、1.6mm以上の絶縁電線 (鉄骨又は鉄筋に接続する場合は裸線) を用いて接地設備 (100Ω以下) を施す。 ただし、建物の接地抵抗値が上表以下の場合は、交換機室用及び本配線盤用を除き、建物の鉄筋等に接続すればよい。この場合、配管等を通じて接続されていても差し支えない。												
17.	誘導支援設備 (2.18.2)	・ 機器の取付けは、次による。 1. 室内にアウトレットボックスを設ける場合は、プレートを取付ける。 ただし、プレートの材質は合成樹脂製とし、用途表示を行う。 2. 主端子盤、中間端子盤及び室内端子盤は、原則として床面から上端が2m以下、下端が0.2m以上となるように取付ける。 3. 端子盤への通信線用配管は、中央部を避けて箱の四隅に取付ける。												
18.	テレビ共同受信設備 (2.19.2) (2.19.3)	アンテナマストの取付けは、次による。 ※ 標準図第5編「通信・情報設備工事」 ・ その他 ( ) ・ 受審調査を行うチャンネル ( )												
19.	テレビ電波障害防止装置 (2.19.2)	・ 事前調査を行うチャンネル ( )												
20.	駐車場管制設備 (2.22.2)	・ 検知器の間隔及び取付高さは、図示による。												
21.	施工の立会い及び試験 (2.28.2)	・ 構内情報通信網設備の試験数量は、図示による。												
7	1. 共通事項 (1.1.1)	・ 信号の入出力条件は、標準図第6編「中央監視制御設備工事」による。												
2.	2. 警報盤 (1.2.1)	・ 信号の伝送方式 ( )												
3.	3. 簡易形監視制御装置 (1.3.1)(1.3.2) (1.3.4)	・ 簡易監視制御装置の機能は、図示による。 ・ 監視操作装置の機器構成は、図示による。 ・ 帳票用印字装置 ( )												
4.	4. 監視制御装置 (1.4.1)(1.4.2) (1.4.4)	・ 監視制御装置の機能は、図示による。 ・ 監視操作装置の機器構成は、図示による。 ・ キャビネット ( ) ・ 帳票用印字装置 ( )												

【表-1】各工種の区分表		工 事 項 目					備 考	
工 事 項 目	建築	電気	機械	昇降	外構			
躯体への貫通孔								
貫通孔の材料	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事		
貫通孔の差出し	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事		
貫通孔の取付け	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事		
貫通孔の補強	○							
屋上								
機器及び水槽類の基礎	○							
同上基礎のアンカーボルト設置		○	○					
同上基礎の防水	○							
昇降機								
昇降機の躯体	○							
機械室の躯体	○							
機械室の床開口	○							
機械室天井フック	○							
ガイドレール下地	○							
ピット防水	○							
押しボタン、インジケーター								
三方枠、扉板取付け				○				
三方枠廻り埋戻し				○				
機械室換気設備			○					
制御盤から外部インターホンまでの配管、配線				○				
点検用コンセント		○						
その他								
インサート	○	○	○	○		各工事に必要な貫通孔は各々の工事		
ALC板の壁開口及び補強	○							
押出成形セメント板の壁開口及び補強	○							
堅壁、ドレン	○							
堅壁から第一階までの接続	○							
第一階以降の排水設備				○				
ハンドホール等の化粧蓋		○	○					
消火器			○					
消火器ボックス	○							
テレビアンテナ		○						
避雷針		○						
浄化槽			○					
受水槽			○					
ゴミ置き場					○			
自転車置場					○			
軽量天井・壁下地及び木天井・壁下地								
差出し	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事		
開口補強	○							
手すり下地補強	○							
吊り戸下地補強	○							
洗面化粧台下地補強	○							
天井・壁せつこうボード								
ボード切込み	○	○	○			各工事に必要な貫通孔は各々の工事		
台所廻り								
キッチンユニット (流し台、ガス台、吊り戸)	○							
レンジフード			○					
棚下灯		○						
洗面所・浴室廻り								
洗面化粧台			○					
洗濯パン			○					
浴室ユニット	○							
浴室ユニット内照明器具	○							
浴室ユニット内水栓	○							
バスタオル掛け	○							
便所廻り								
衛生陶器				○				
補助手すり	○							
タオル掛け	○							
紙巻き器			○					
その他								
床・壁・天井点検口	○							
クローズスリプ及びキャップ	○							
室外機用吊りボルト	○							
床暖房				○				

【表-2】機器標準取付高さ			
名 称	測 点	取付高[mm]	
電力共通			
積算計器	地上~窓中心	1,800~2,000	
引込開閉器	地上~中心	1,800~2,200	
分電盤、制御盤	床下~中心	1,500 (上端1,900以下)	
電 灯			
スイッチ	床下~中心	1,300	
スイッチ (多機能トイレ)	床下~中心	1,100	
コンセント (一般)	床下~中心	300	
コンセント (和室)	床下~中心	150	
コンセント (台上)	台上~中心	150~200	
コンセント (車椅子用)	床下~中心	450	
ブラケット (一般)	床下~中心	2,100~2,300	
ブラケット (踊場)	床下~中心	2,000~2,500	
ブラケット (鏡上)	鏡上端~中心	150	
動力			
壁掛型制御盤	床下~中心	1,500 (上端2,000以下)	
開閉器箱	床下~中心	1,500	
制御用スイッチ	地上~中心	1,300	
電 話			
端子盤 (EPS・電気室)	床下~中心	1,500	
端子盤 (一般室内)	床下~下端	300	
集合保安器箱	天井下~上端	200	
時 計			
壁掛型観時計	床下~中心	1,500 (上端2,000以下)	
子時計	床下~中心	(天井高) × 0.9	
拡 声			
壁掛型スピーカ	床下~中心	(天井高) × 0.9	
壁付アツチネータ	床下~中心	1,300	
誘導支援			
外部受付用インターホン機	床下~中心	「標準図」による。	
壁付インターホン (一般)	床下~中心	1,300	
壁付呼出ボタン (多機能トイレ)	床下~中心	900	
※バリアフリー条例適用トイレの2階目	床下~中心	300	
機器収納箱	天井下~上端	200	
テレビ端子直列ユニット (一般)	床下~中心	300	
テレビ端子直列ユニット (和室)	床下~中心	150	
防 災 備 器			
受信機・副受信機	床下~操作部	800~1,500	
機器収納箱	床下~中心	800~1,500	
発信機	床下~中心	800~1,500	
警報ベル	床下~中心	2,300	
表示灯	床下~中心	2,100	
液化石油ガス検知器	床下~上端	300	

【備考】天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。

【表-3】接地種一覧表			
接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
○ 共同接地	EA・EB・EC・ED	Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ 共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ A種	EA	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ B種	EB	Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ C種	EC	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ D種	ED	100Ω以下	EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×1
○ D種	ED	Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ 高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ 交換装置用	Et	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ 通信用 (10Ω)	EAt	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連一 極
○ 通信用 (100Ω)	EDt	100Ω以下	EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×1
○ 電話引込口の保安器	ELt	100Ω以下	EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×1
○ 測定用	Eo	Ω以下	EB (D=10, L=1,500 又は W=30, L=1,200) ×1

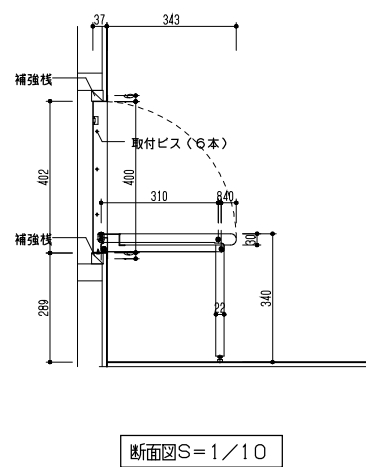
CHECKED	DRAWING	DATE 2020.8.21	工事名称 神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 E-03
		SCALE —	図面名称 電気設備工事 特記仕様書(3)	



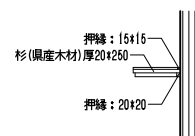
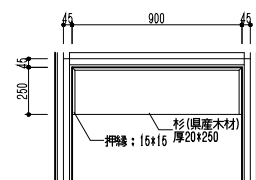
記号・数量	1					2					3					4					5																													
	1DK	2DK	3DK	1DK(向)	2DK(向)	1DK	2DK	3DK	1DK(向)	2DK(向)	1DK	2DK	3DK	1DK(向)	2DK(向)	1DK	2DK	3DK	1DK(向)	2DK(向)	1DK	2DK	3DK	1DK(向)	2DK(向)																									
名称	スチール製玄関片開き戸(常時閉鎖)(断熱材充填)					スチール製玄関片引き戸(常時閉鎖)(断熱材充填)					スチール製片面フラッシュ戸					スチール製片面フラッシュ戸					スチール製片面フラッシュ戸																													
箇所	玄関(身障者住戸・3ユニット)					玄関(身障者住戸・3ユニット)					EPS					EPS					EPS					PS・MB					PS・MB																			
形状																																																		
硝子・見込	80					210					26					26					26					26																								
材料・塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP(特共)					溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP(特共)					SOP					SOP					SOP					SOP																								
付属金物等	付属金物一式・ステンレスT番3ヶ所・レバーハンドル付 スイッチ付サムターン・ドブチェックL-D型・ドアガード・扉当り ステンレス製・ドアスコープ・鍵取付口・錠・前錠・鍵5本					付属金物一式・ステンレスT番3ヶ所・レバーハンドル付 ドアガード・ステンレス製・ドアスコープ・錠・前錠・鍵5本					付属金物一式・ステンレスT番3ヶ所・平面ハンドル ワイヤーストッパー					付属金物一式・ステンレスT番3ヶ所・平面ハンドル ワイヤーストッパー					付属金物一式・ステンレスT番2ヶ所・平面ハンドル フラス落し・ワイヤーストッパー					付属金物一式・ステンレスT番2ヶ所・平面ハンドル フラス落し・ワイヤーストッパー																								
備考	BL認定品に準ずる。長寿対応ドア。土間との段差5mm以下とする					BL認定品に準ずる。長寿対応ドア。土間との段差5mm以下とする															上部:5460×300cm <sup>2</sup> 。下部:5460×300cm <sup>2</sup>					上部:5460×300cm <sup>2</sup> 。下部:5460×300cm <sup>2</sup>																								
記号・数量	1 AW					2 AW					3 AW					4 AW					5 AW					1 AK					2 AK																			
名称	アルミ製引違い窓					アルミ製引違い窓					アルミ製引違い窓					アルミ製引違い窓(フラットサッシ)					アルミ製格子					アルミ製格子																								
位置	1DK(洋室)・2DK(DK・洋室1)・3DK(DK・和室)					1DK(洋室)・2DK(洋室1)					2DK(洋室2)・3DK(洋室1・洋室2)・2DK(洋室2)					2DK(洋室構造側)洋室2)					1DK(DK・洋室)・2DK(DK・洋室1)・3DK(洋室1)					2DK(洋室構造側)洋室2)					2DK(洋室2)・3DK(洋室1・洋室2)・2DK(洋室2)																			
形状																																																		
硝子・見込	上:透明厚6,下:透明厚6					上:透明厚6,下:透明厚6					網入型厚6.8					上:透明厚6,下:透明厚6,中木:網入型厚6.8					70					70																								
材料・塗装	アルミ処理 シルバー					アルミ処理 シルバー					アルミ処理 シルバー					アルミ処理 シルバー					アルミ処理 シルバー					アルミ処理 シルバー																								
付属金物等	付属金物一式・クレセント(ロック付) アルミサッシ(内4方)・アルミ水切・サラン網戸 カーテンレールW					付属金物一式・クレセント(ロック付) アルミサッシ(内4方)・アルミ水切・サラン網戸 カーテンレールW					付属金物一式・クレセント(ロック付) アルミサッシ(内4方)・アルミ水切・サラン網戸 カーテンレールW					付属金物一式・クレセント(ロック付) アルミサッシ(内4方)・アルミ水切・サラン網戸 カーテンレールW					付属金物一式・クレセント(ロック付) アルミサッシ(内4方)・アルミ水切・サラン網戸 カーテンレールW					付属金物一式・4方枠縦格子					付属金物一式・4方枠縦格子																			
備考	BL認定品に準ずる。JIS適合等級T-1以上とする					BL認定品に準ずる。JIS適合等級T-1以上とする					BL認定品に準ずる。JIS適合等級T-1以上とする					BL認定品に準ずる。JIS適合等級T-1以上とする					BL認定品に準ずる					BL認定品に準ずる																								
記号・数量	1 WD					2 WD					3 WD					4 WD					5 WD					6 WD					7 WD					8 WD					9 WD									
名称	木製引きフラッシュ戸					木製引きフラッシュ戸					木製引きフラッシュ戸					木製引きフラッシュ戸					木製4枚引違いフラッシュ戸					木製引分けフラッシュ戸					木製引きフラッシュ戸					木製引きフラッシュ戸														
位置	各住戸(洗面脱衣室)					2DK(洋室2)					身障者住戸(洗面脱衣室)・3ユニット(トイレ)					各住戸(DK)					1DK(洋室)					2DK(洋室1)・1DK(洋室)・2DK(洋室1)					コミュニティルーム					2DK(洋室2)・3DK(洋室1・洋室2)					各住戸(トイレ)									
形状																																																		
硝子・見込	スチレン系樹脂板(半透明)・木製ガラス					スチレン系樹脂板(半透明)・木製ガラス					スチレン系樹脂板(半透明)					スチレン系樹脂板(半透明)					スチレン系樹脂板(半透明)					スチレン系樹脂板(半透明)					スチレン系樹脂板(半透明)					スチレン系樹脂板(半透明)														
材料・塗装	MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)														
付属金物等	付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖					付属金物一式・引手・表示錠・取居(フラットレール) 戸車・戸当り・三方枠・小窓鎖														
備考	床段差は5mm以下とする					床段差は5mm以下とする					床段差は5mm以下とする					床段差は5mm以下とする					床段差は5mm以下とする					床段差は5mm以下とする					床段差は5mm以下とする																			
記号・数量	1 FD					2 FD					3 FD					4 CD					5 CD					6 CD					7 CD					8 CD					9 AD									
名称	収納開き戸(戸横)					押入用引違い戸(戸横)					木製3枚引違いフラッシュ戸(戸横)					片開き中折れ戸					面開き中折れ戸					面開き中折れ戸					面開き中折れ戸					面開き中折れ戸					アルミ製用2枚引き戸									
位置	3DK(和室)					3DK(和室)					3DK(和室)					物入					収納					収納					収納					収納					身障者住戸(浴室)									
形状																																																		
硝子・見込	96					96					200					79					79					79					79					79					30									
材料・塗装	MDF・表面材 扉:化粧シート 枠:オレフィン(既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:化粧シート 枠:オレフィン(既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:(洋室側)ポリサンド(和室側)化粧シート 枠:オレフィン(既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					MDF・表面材 扉:ポリサンド 枠:オレフィン (既成ユニット品)					アルミ複合板(戸袋化粧パネル付) 面材:樹脂									
付属金物等	付属金物一式・T番・把手・ドアストッパー・音響 三方枠					付属金物一式・引手・取居・戸車・三方枠					付属金物一式・引手・取居・戸車・三方枠					付属金物一式・中折れ金物一式 ハンドル・四方枠					付属金物一式・中折れ金物一式 ハンドル・四方枠					付属金物一式・中折れ金物一式 ハンドル・四方枠					付属金物一式・中折れ金物一式 ハンドル・四方枠					付属金物一式・中折れ金物一式 ハンドル・四方枠					付属金物一式・ドアロック・縦型ハンドル 出入口段差4mm程度(スロープ付) 下部:樹脂製グレーチング									
備考						床段差は5mm以下とする																																												



折りたたみ式収納ベンチ

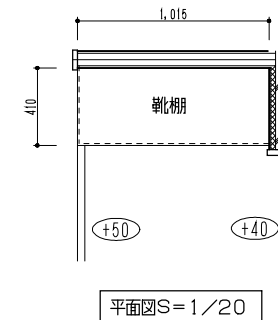
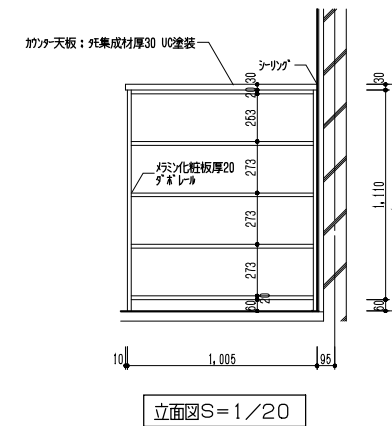
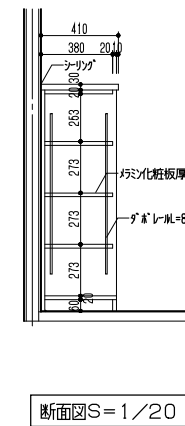


トイレ木製棚

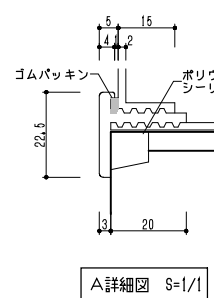
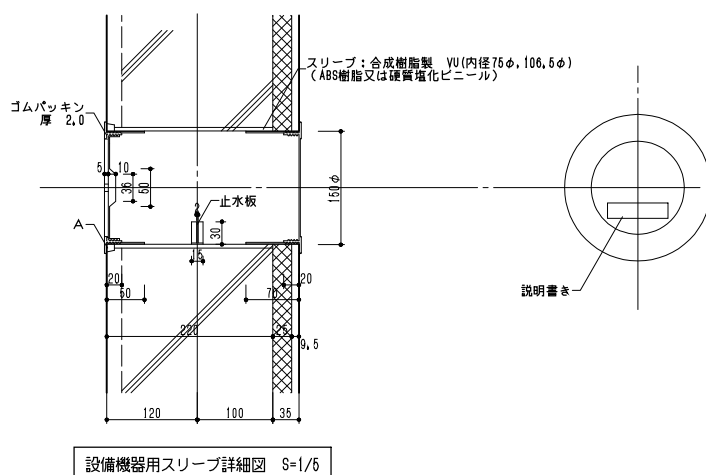
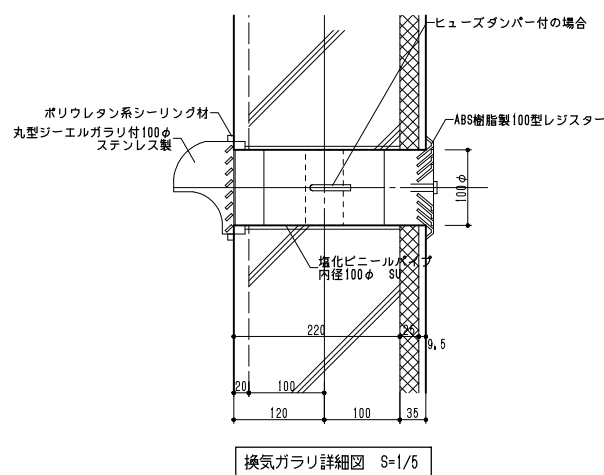


\*木部は全て植物性無公害塗料+OL塗装とする。

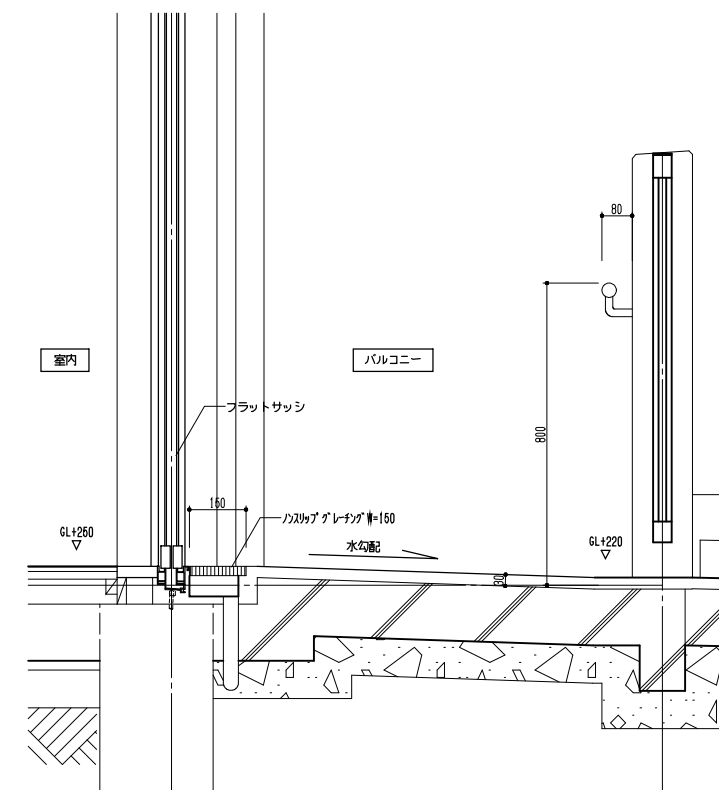
コミュニティルーム靴棚



換気ガラリ・設備機器用スリーブ



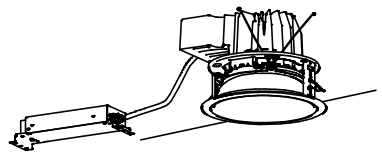
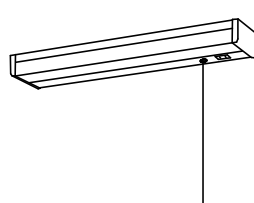


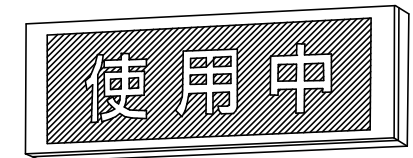
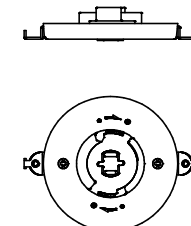
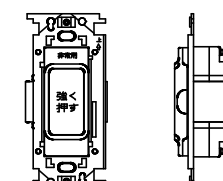
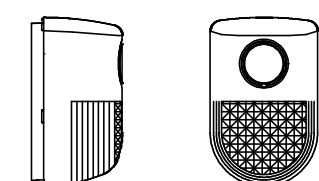
身障者住戸フラットサッシ



CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	—	図面名称	詳細図(2)	
						D-02



機器姿図

○	LEDダウンライト	□	LEDキッチンライト
	脱衣室・便所・玄関		流し台下
 LRS1-05		 LGB52095LE1 相当	
α	LEDシーリングライト	○	LED直管 40型
	浴室(身障者タイプ)		コミュニティルーム
 LGW51704W CF1 相当		 LSS9-4-48	
□	LEDトイレ表示灯	◎	引掛埋込ローゼット
	トイレ(コミュニティルーム)		コンセント・ハンガー付(住戸内)
 NNF11930 LE1 相当			
●	非常用埋込押釦	◎	警報ランプ付ブザー(屋外用)
			100V式
 WN4500 相当		 EA5501 相当	

電灯凡例

⊖	電灯分電盤
W	電力量計
⊙ <sup>F</sup>	埋込コンセント 2P15A×1 (接地極付) 抜止
⊙ <sup>ET</sup>	埋込コンセント 2P15A×1 (接地端子付)
⊙ <sup>ET</sup>	埋込コンセント 2P15A×1 (接地極・接地端子付)
⊙ <sup>2ET</sup>	埋込コンセント 2P15A×2 (接地極・接地端子付)
⊙ <sup>2ET</sup>	埋込コンセント 2P15A/20A兼用×1 (接地極・接地端子付)
⊙ <sup>2ETWP</sup>	防水コンセント 2P15A×2 (接地極・接地端子付)
●	スイッチ ワイド形 1P15A×1
● <sup>L</sup>	スイッチ ワイド形 確認表示灯付
● <sup>3</sup>	スイッチ ワイド形 3W15A×1 3路
● <sup>H</sup>	スイッチ ワイド形 1P15A×1 位置表示灯付
▽	スイッチ 人感センサー 親器
▽ <sup>換</sup>	スイッチ 人感センサー 親器 換気扇連動型
● <sup>RA</sup>	操作ユニット1回路(入・自動・切)ガードプレート付(ネキ有)
K	スイッチ 24時間換気扇用 (設備支給品電気取付)
R	スイッチ 給湯器用リモコン (ガス設備工事)
⊠	アットボックス 1020-44 中浅 塩ビ製
---	EM-EEF 1.6-2C 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-2C 立下り(PF 16) 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-3C 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-3C 立下り(PF 22) 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-3C(1E) 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-3C(1E) 立下り(PF 22) 天井ころがし配線
---	EM-EEF 2.0-3C(1E) 天井ころがし配線
---	EM-EEF 2.0-3C(1E) 立下り(PF 22) 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-2C×2 天井ころがし配線
---	EM-EEF 1.6-2C×2 立下り(PF 16×2) 天井ころがし配線
---	EM-FP-C 1.6-3C(1E) 天井ころがし配線
---	EM-FP-C 1.6-3C(1E) 立下り(PF 22) 天井ころがし配線
---	空配管 (PF 16) 隠ぺい配管配線

弱電凡例

⊙	電話用アウトレット モジュージャック
⊙	テレビ端子 1端子型
---	EM-EBT 0.5-2P (PF 16) 隠ぺい配管配線
---	EM-S-5C-FB (PF 16)×2 TV用+将来用 隠ぺい配管配線
---	EM-AE 0.9-2C (PF 16) 隠ぺい配管配線

※各住戸にはTV配線と共に将来用の空配管(PF 16)を敷設しブラケットとする。

火報凡例

IP	受信機P型3級
Ⓛ	戸外表示器(警報表示付トホン子機) 遠隔試験機能付
▽	差動式スポット型感知器 2種 遠隔試験機能付
▽	定温式スポット型感知器 1種 遠隔試験機能付
---	EM-HP 0.9-5P (PF 22) 隠ぺい配管配線
---	EM-HP 0.9-2C (PF 16) 隠ぺい配管配線

※火報は所轄消防により変更の可能性がある為、消防と協議の上決定すること

CHECKED	DRAWING	DATE 2020.8.21	工事名称 神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 E-04
		SCALE -	図面名称 姿図・凡例	

凡 例

名 称	記 号	仕 様	使用区分・備考 ○ 印を適用	規 格
給 水 管	— — —	VD : 外面被覆水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 土中埋設 ○ ビット内	JWWA K-116
		VB : 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 屋内専用共用	JWWA K-116
		PT : 架橋ポリエチレン管(ベアCD管付)	○ 屋内専用共用	JWWA H-101
給 湯 管	—   —	PT : 架橋ポリエチレン管(ベアCD管付)	○ 屋内専用	JWWA H-101
追 焚 管	—   —	PT : 架橋ポリエチレン管(ベアCD管付)	○ 屋内専用	JWWA H-101
排 水 管		DWLP(DV) : 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 屋内専用 (立管) 遮断手	WSP-042
		RF-VP(VP) : リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管	○ 横引き管 ○ ビット内	JIS K-9798
		FS-VP : 建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管	○ 横引き管	
		FVP : 耐火二層管(原管:VP)	○ PS内給湯器ドレン配管	JIS J-3452
通 気 管	— — —	RF-VP(VP) : リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管	○ 屋内専用	JIS K-9798
ガ ス 管	— — —	PE : ガス用ポリエチレン管	○ 土中埋設	JIS K-6774
		SGP : 配管用炭素鋼鋼管(白)	○ 屋内専用共用 ○ PS	JIS J-3452
		PLP : カラー鋼管	○ ビット内 ・ 屋内専用	JIS J-3452
		: ガス用フレキ管	○ 屋内専用	JIS G-4305
消 火 管	— × —	STGP : 圧力配管用炭素鋼鋼管(白)	○ 屋内専用	JIS G-3454
		STGP-VS : 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	○ 土中埋設	WSP-041
排 気 ダ ク ト		SPD : スパイラルダクト(鋼板製) RW50巻	○ 屋内専用 RW50mm断熱巻	JIS G-3302
換 気 ダ ク ト		VP : 硬質塩化ビニル管(単管路又は二管路管)	○ 屋内専用	JIS K-6741
換 気 ダ ク ト		FDWD : 耐火二層管(単管路又は二管路管)	○ 屋内専用	JIS K-6741

※ 住戸内排水配管防火区画より1.0mは建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管を使用。  
 ※ 住戸内給水、給湯配管は架橋ポリエチレン先分岐工法とする。

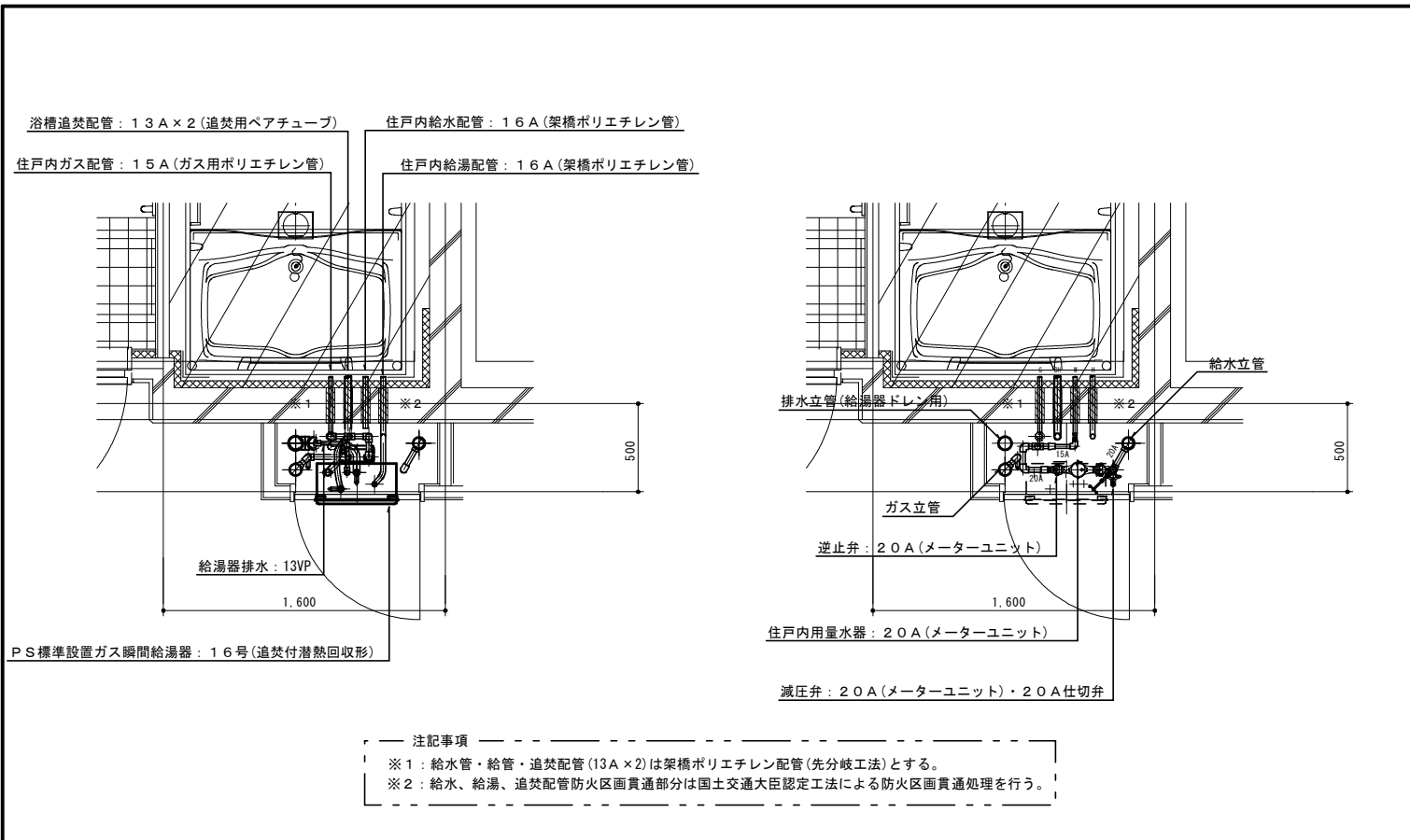
名 称	記 号	仕 様	備 考
水 栓 類		: 給水栓・給湯栓	
混 合 栓		: 混合栓	
シャワー金具		: ハンドシャワー付バス水栓	
弁 類		GV・CV : 直結及びポンプ廻り JIS-10K	管端コア・65A以上
		BV : ボールバルブ	ナイロンライニング弁
		GV : 埋設管鋼仕切弁 ボックス共	JIS-10K
		EJ : ステンレス製・ゴム製	
フレキシブル継手		: 排水管頂部(屋内設置形)	
排 水 金 物		TSA・TSB : 非防水形・防水形	
ベントキャップ		SUS : ステンレス製平形ベントキャップ	
ガ ス コ ッ ク		LB : ヒューズコック	
給湯器リモコン		:	
量水器及び補助止水栓		量水指定メーターユニット	JIS-10K
減 圧 弁		水用・泉水指定	
吸 排 気 弁		給水立管頂部 ・ φ8チューブ共	
埋 設 表 示		コンクリート製 ・ 鉄筋製(A S 舗装)	

器 具 表

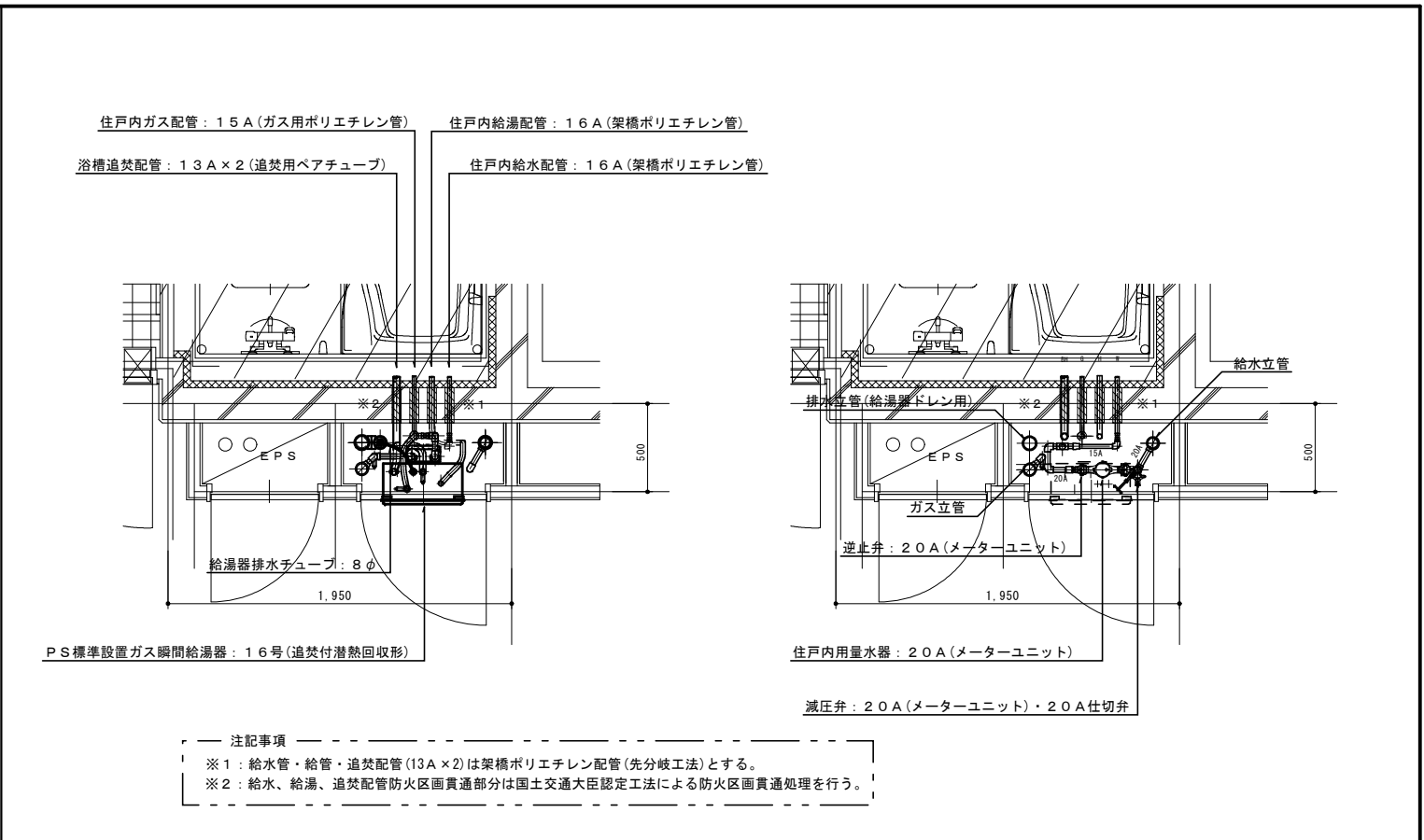
名 称	仕 様	参 考 品 番	設置場所	階						数 量	備 考	
				1DK 一般	2DK 一般	3DK 一般	1DK 身障	2DK 身障	階 付 コ ン ド ミ ニ ウ ム			
		TOTO	LIXIL	世帯数								
洋 風 大 便 器	床下排水、ロータンク防露型、手洗い付 普通便座、ワンタッチ紙巻器			便 所	1	1						
洋 風 大 便 器	床上排水、ロータンク防露型、手洗い付 普通便座、ワンタッチ紙巻器・排便管						1					
洋 風 大 便 器 高 齢 者	床下排水、ロータンク防露型、手洗い付 暖房便座、ワンタッチ紙巻器											
洋 風 大 便 器 高 齢 者	床上排水、ロータンク防露型、手洗い付 暖房便座、ワンタッチ紙巻器・排便管											
洋 風 大 便 器 身 障 者	床下排水、ロータンク防露型 暖房洗浄便座、ワンタッチ紙巻器						1	1	1			
洗 面 化 粧 台	600型 陶器製 2バルブ混合水栓 キャビネット(照明付)共			洗 面 所	1	1	1	1	1			
洗 濯 機 防 水 パ ン	樹脂製 800×640 樹脂製トラップ付				1	1	1	1	1			
洗 濯 機 用 水 栓	緊急止水弁付洗濯用水栓				1	1	1	1	1			
タ オ ル 掛 け	470L (SUS棒形)				1	1	1	1	1			
浴 室 シ ャ ワ ー 付 混 合 栓	2ハンドル混合栓、ハンドシャワー付、 一時止水機能付、節水型シャワーヘッド			浴 室	1	1	1	1	1			
浴 槽 ・ 蓋	樹脂製浴槽1200型				1	1	1	1	1			
台 所 用 混 合 水 栓	シングルレバー混合水栓、止水栓付			台 所	1	1	1	1	1			
L B ヒ ュ ー ズ コ ッ ク	9.5mm				1	1	1	1	1			
洗 面 器	袖付 陶器製 自動単水栓			多 目 的 ト イ レ						1		
オ ス ト メ イ ト	コンパクトタイプ・単水栓									1		
量 水 器	20mm(直設形)メーターユニット 減圧弁・止水栓・逆止弁・メーター台			P S ・ M B	1	1	1	1	1			
ガ ス マ イ コ ン メ ー タ	N B - 6、メーターコック共				1	1	1	1	1			

機 器 表

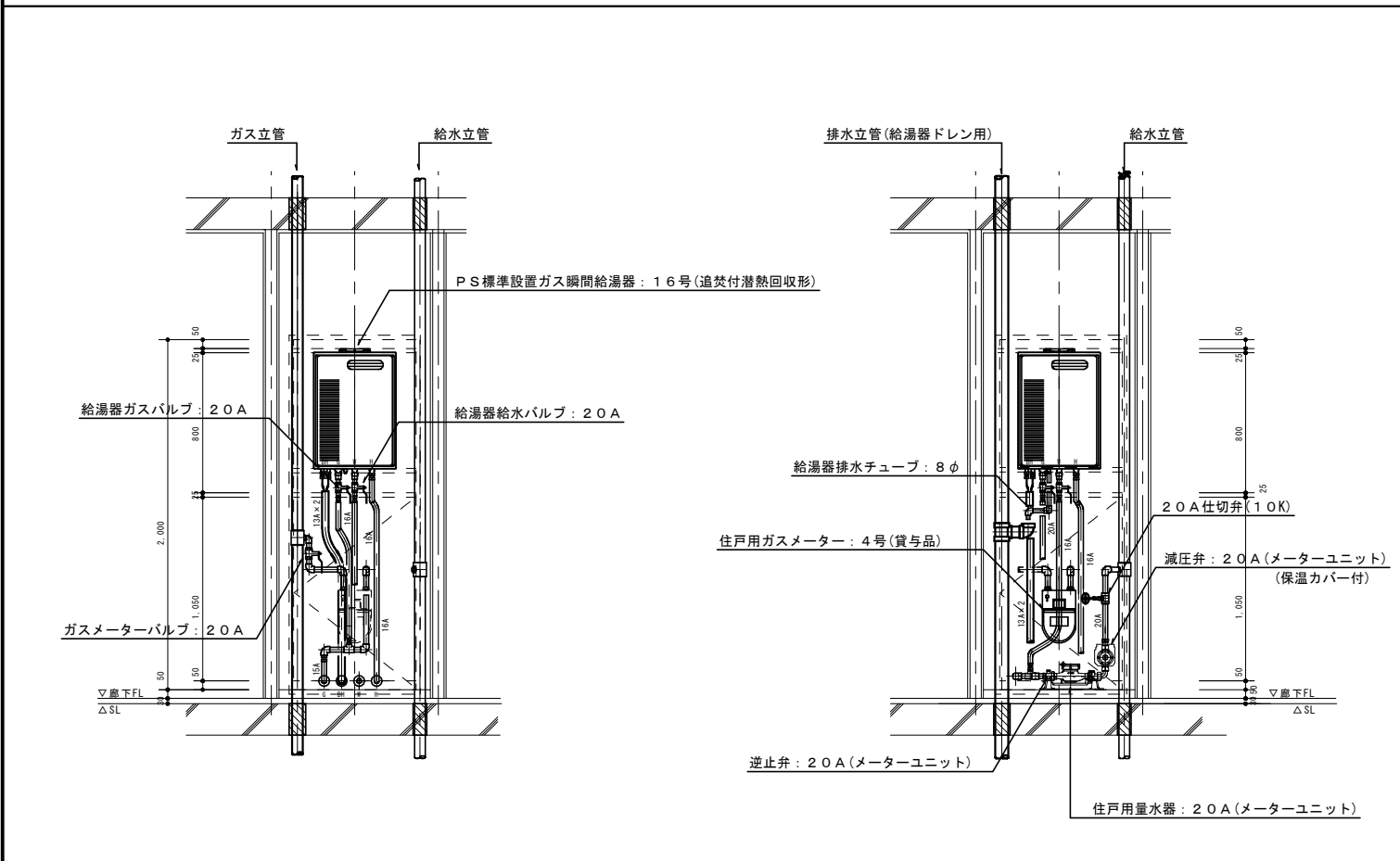
記 号	名 称	仕 様	電 気 仕 様			設置場所	数 量	備 考
			φ	V	Kw			
G B - 1	16号追焚付給湯器	P S 標準設置形(潜熱回収効率率): 16号(セミオート) 台所、風呂リモコン リモコンコード共	1	100		階 P S ・ M B	1	
G B - 2	16号追焚付給湯器	P S 扉内設置形(潜熱回収効率率): 16号(セミオート) 台所、風呂リモコン リモコンコード共	1	100		階 P S ・ M B	1	
G B - 3	16号追焚付給湯器	P S 標準設置スリム形(潜熱回収効率率): 16号(セミオート) 台所、風呂リモコン リモコンコード共	1	100		階 P S ・ M B	1	
V F - 1	深型レンジフードファン	600型 150φ×○○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa ・能力3段切り替 FD付ステンレス製ベントキャップ共・幕板建築工事	1	100		階 台所	1	
V F - 2	便所用天井扇 (24時間換気対応)	100φ×○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa(常時○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa) 24時間換気用スイッチ共 ステンレス製ベントキャップ共	1	100		階 トイレ コミュニティ多目的トイレ	1	
V F - 3	浴室用天井扇 (24時間換気対応)	100φ×○○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa(常時○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa) 24時間換気用スイッチ共 2部屋用天井扇・100φ副吸込み口共・ステンレス製ベントキャップ共	1	100		階 浴室・洗面所	1	
V F - 4	ミニキッチン用天井扇	100φ×○○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa(常時○○m <sup>3</sup> /h×○○Pa) 24時間換気用スイッチ共 100φ副吸込み口共・ステンレス製ベントキャップ共・ダクト断熱巻	1	100		1階 コミュニティ給湯室	1	



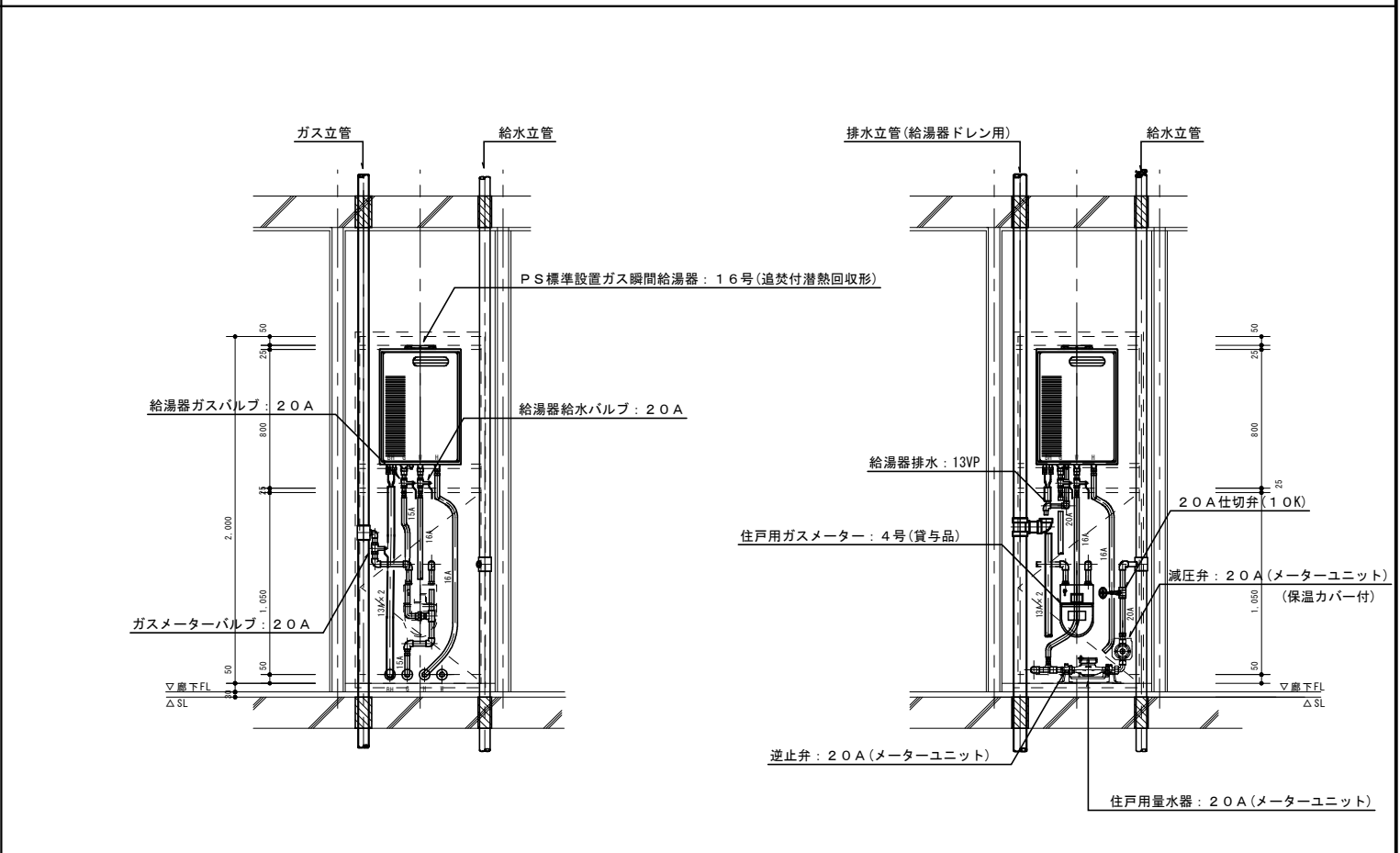
1DK・メーターボックス (PS) 平面詳細図 (壁構造) S=1/20 (平面図)



2DKメーターボックス (PS) 詳細図 (壁構造) S=1/20 (平面図)

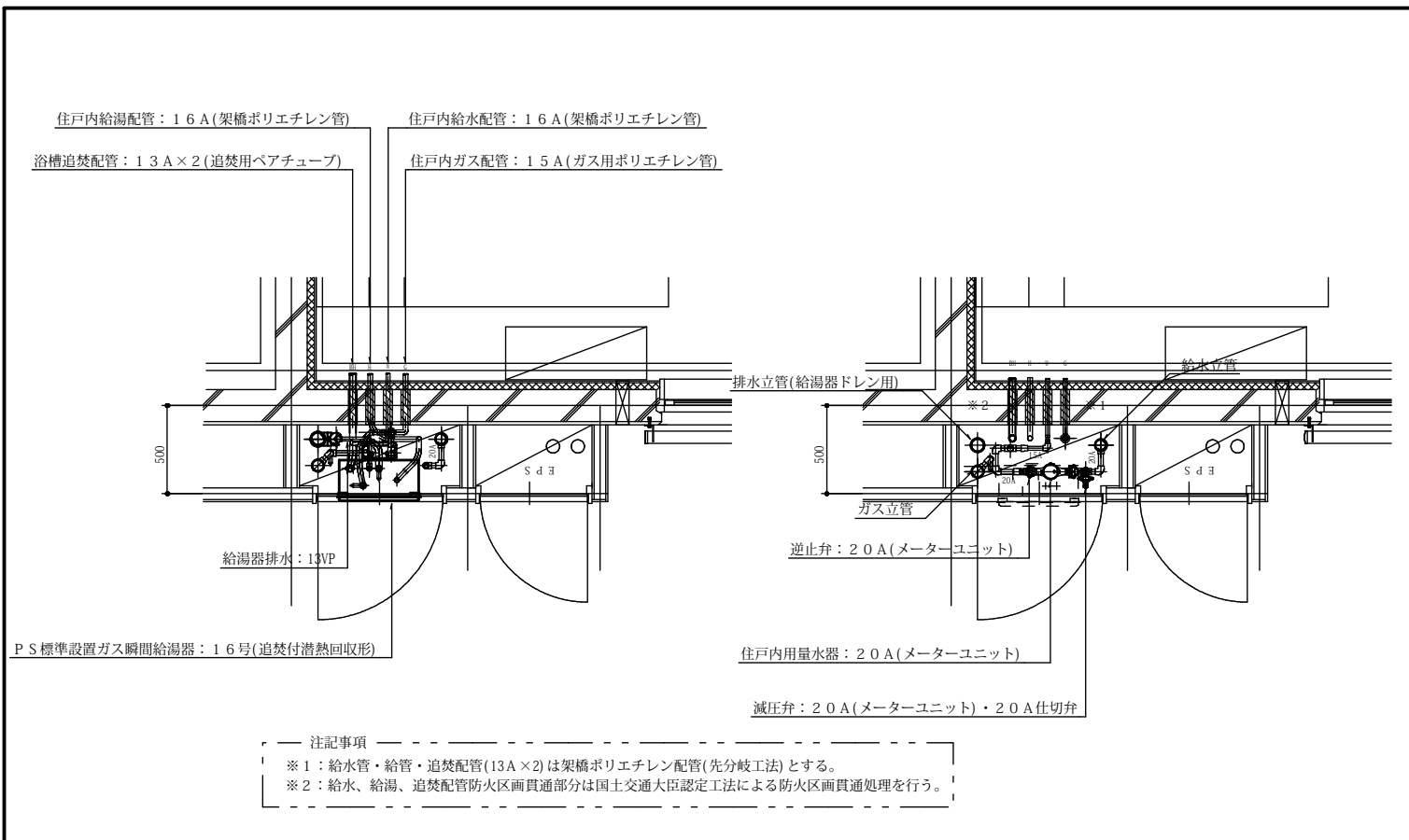


1DK・メーターボックス (PS) 断面詳細図 (壁構造) S=1/20 (平面図)

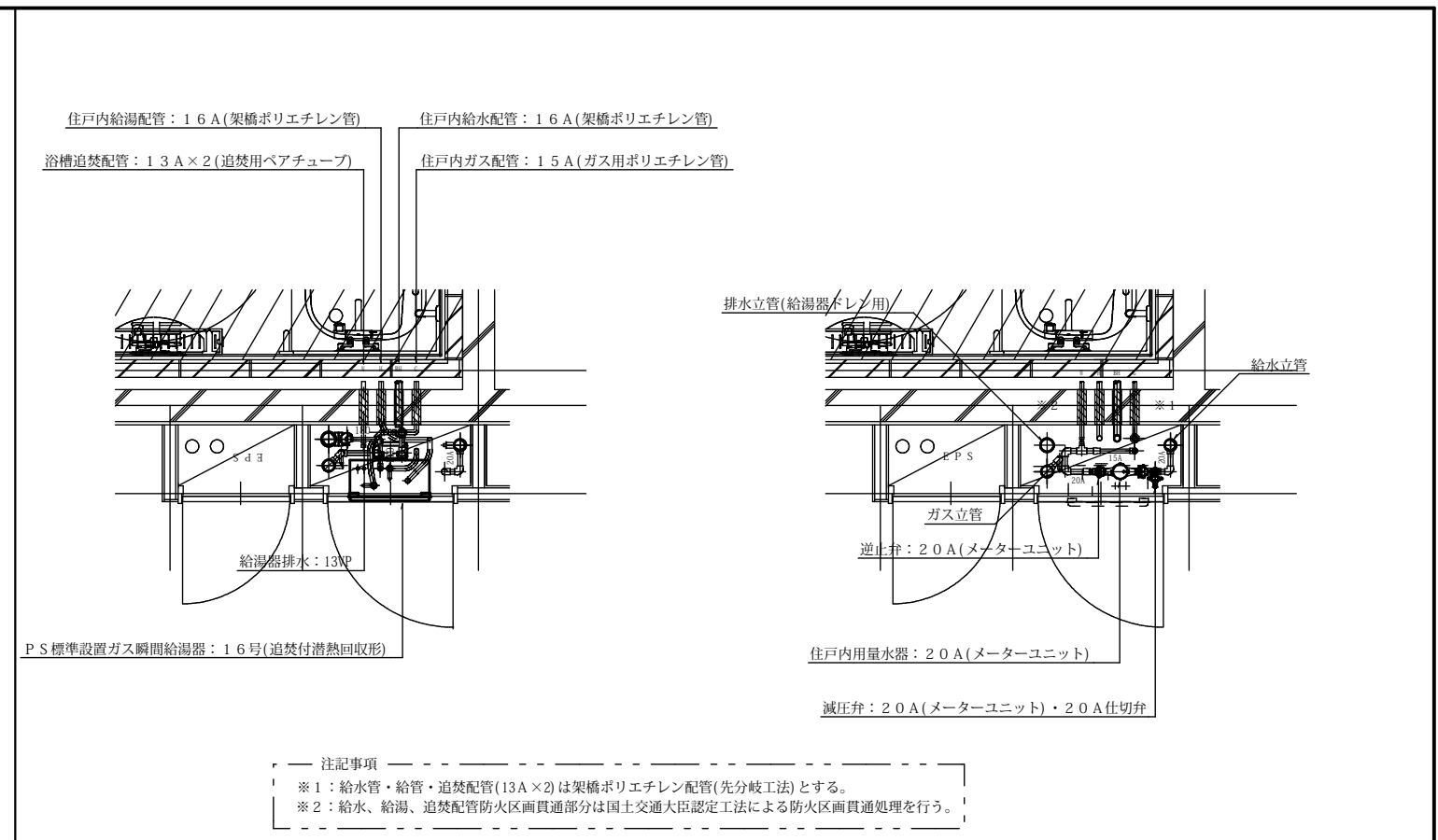


2DKメーターボックス (PS) 詳細図 (壁構造) S=1/20 (断面図)

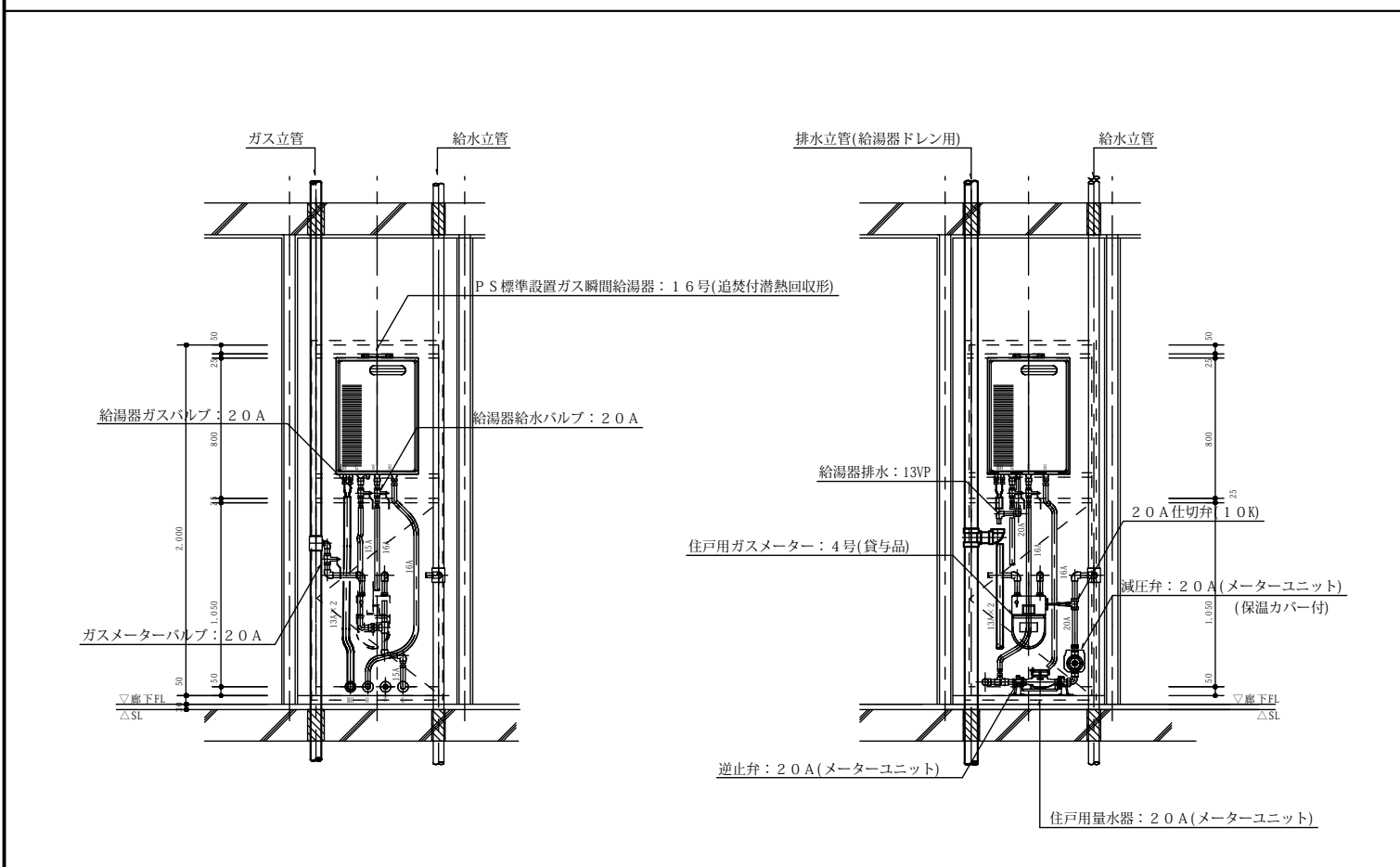
CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	1/20	図面名称	機械設備詳細図-1 メーターボックス (PS) (壁式)	
						P-05



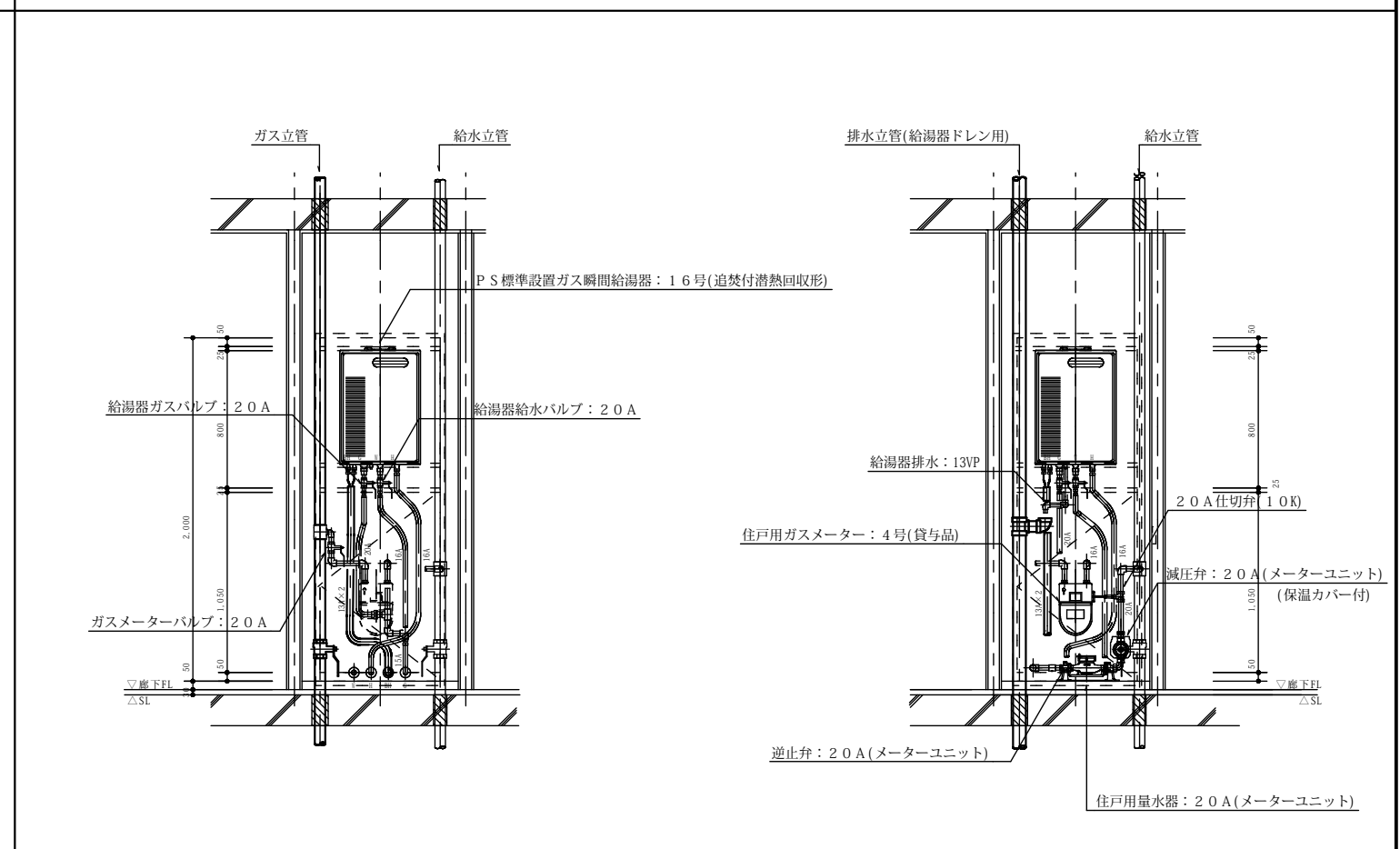
3DKメーターボックス(P S)詳細図(壁構造) S = 1/20 (平面図)



1DK身障者・2DK身障者・メーターボックス(P S)詳細図(壁構造) S = 1/20 (平面図)

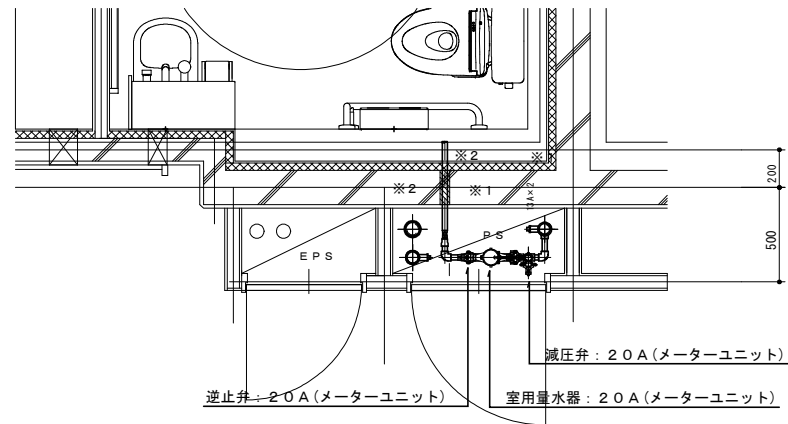


3DKメーターボックス(P S)詳細図(壁構造) S = 1/20 (断面図)



1DK身障者・2DK身障者・メーターボックス(P S)詳細図(壁構造) S = 1/20 (断面図)

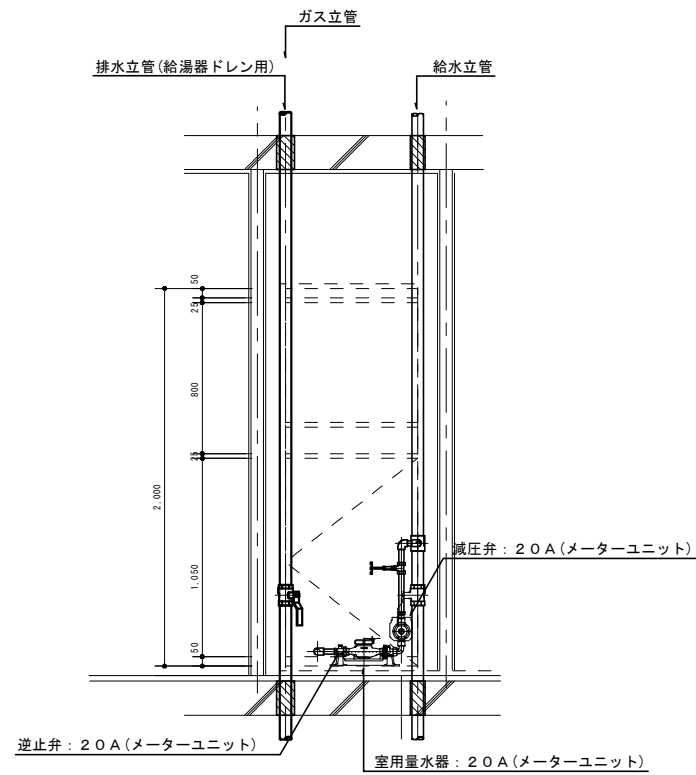
CHECKED	DRAWING	DATE	2020. 8. 21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号	P-06
		SCALE	1/20	図面名称	機械設備詳細図-2 メーターボックス(P S) (壁式)		



— 注記事項 —

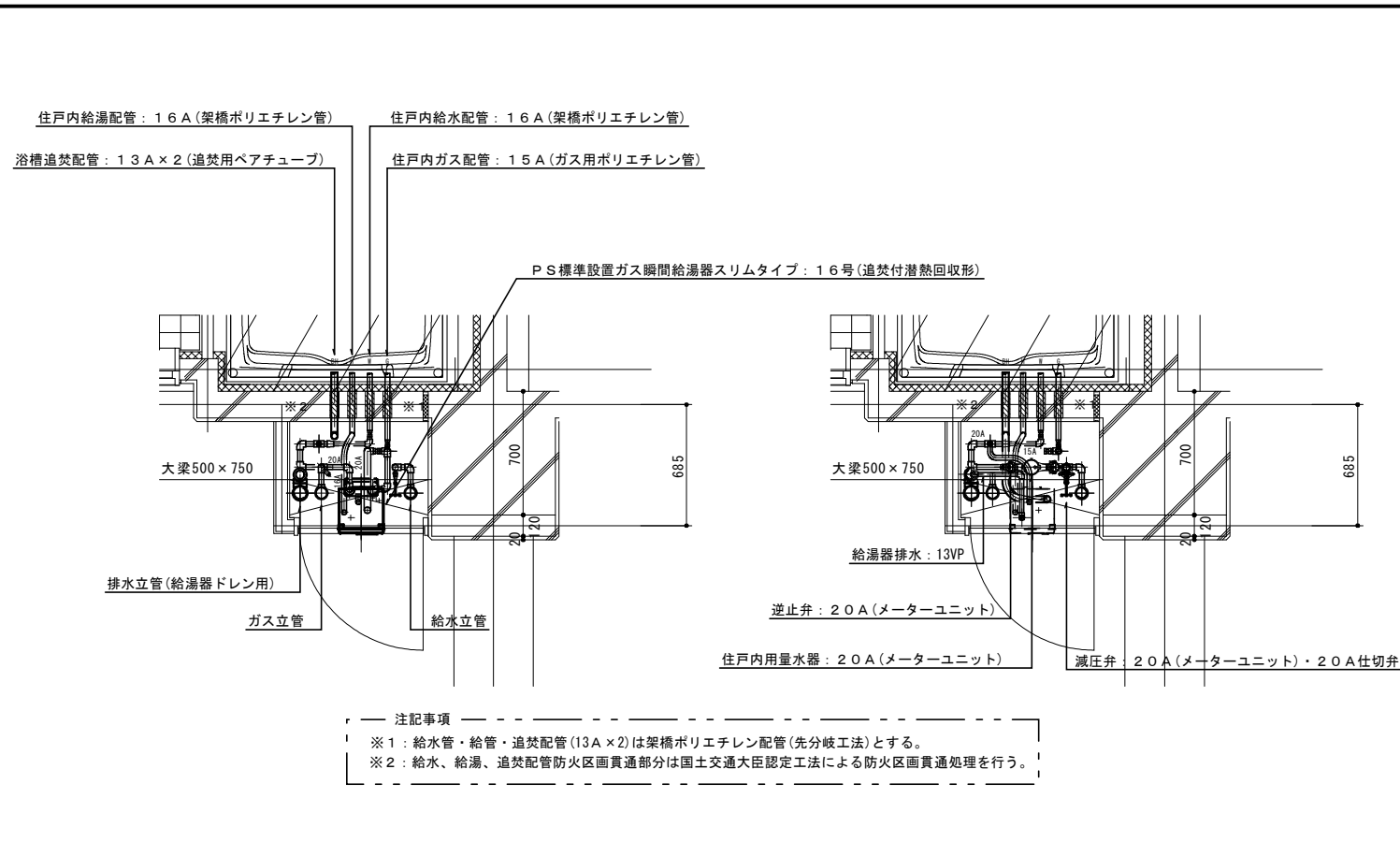
※1: 給水管・給湯・追焚配管(13A×2)は架橋ポリエチレン配管(先分岐工法)とする。  
 ※2: 給水、給湯、追焚配管防火区画貫通部分は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を行う。

コミュニティルーム・メーターボックス(PS)平面詳細図(壁構造) S=1/20 (平面図)

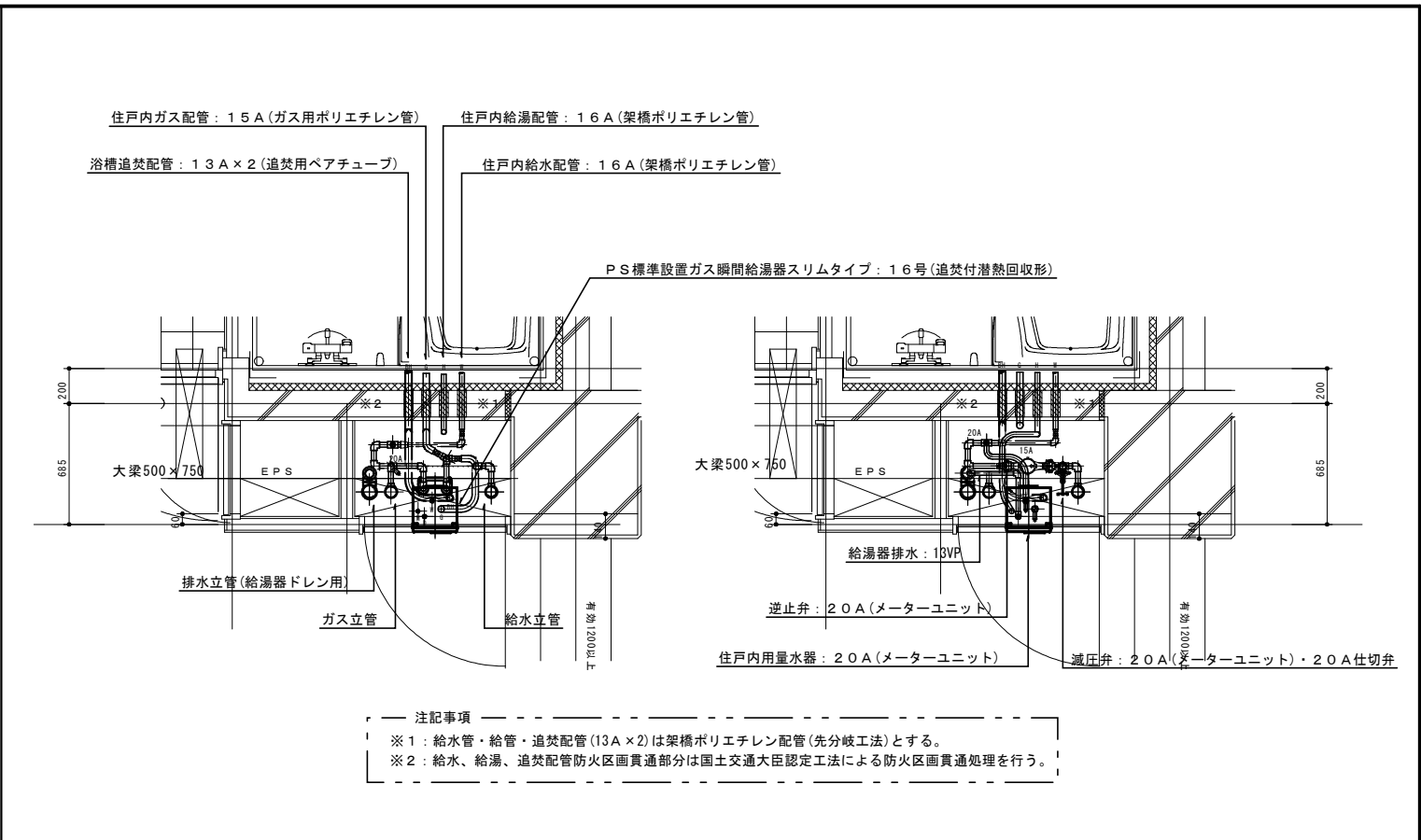


コミュニティルーム・メーターボックス(PS)断面詳細図(壁構造) S=1/20 (平面図)

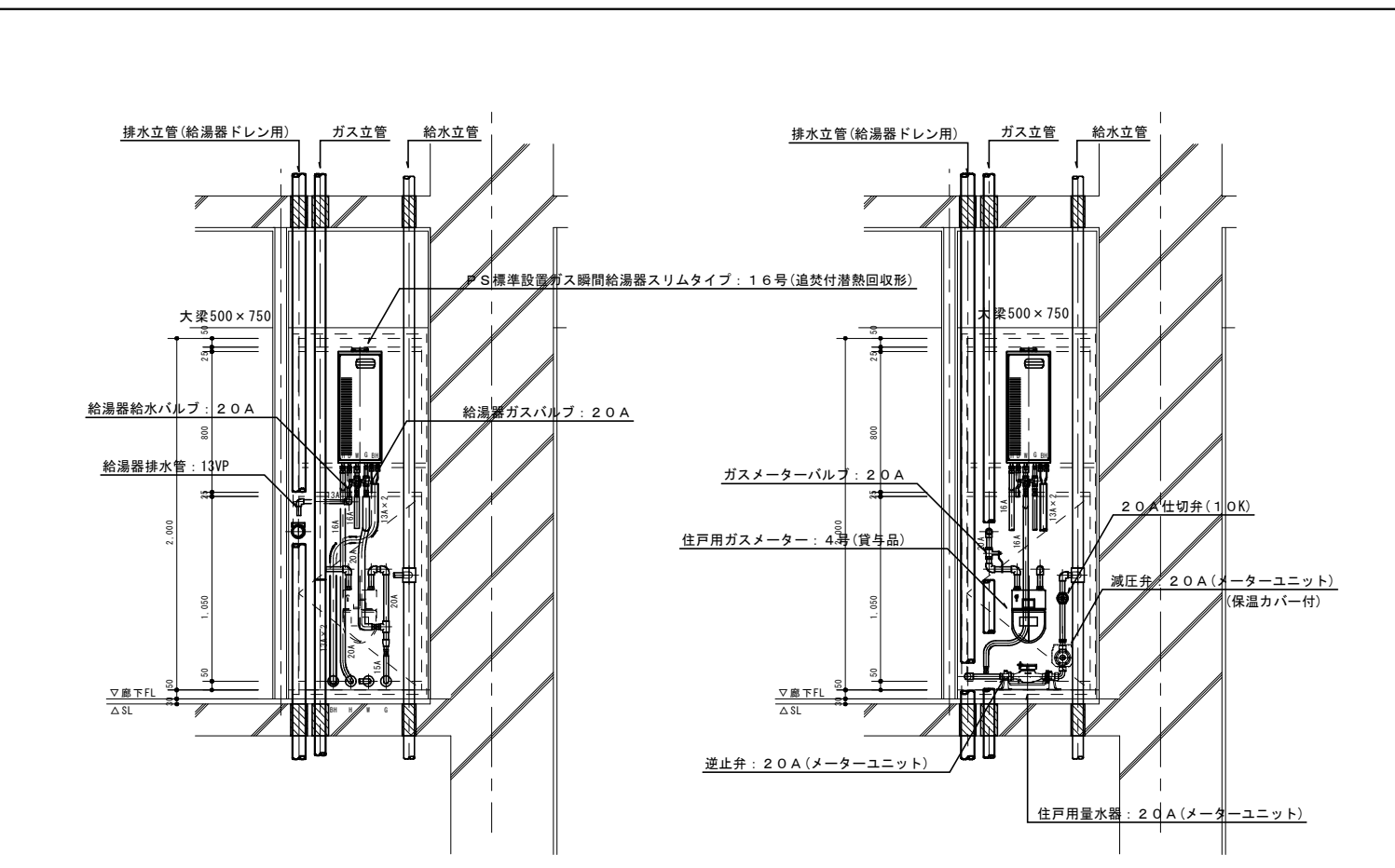
CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	1/20	図面名称	機械設備詳細図-3 メーターボックス(PS)(壁式)	
						P-07



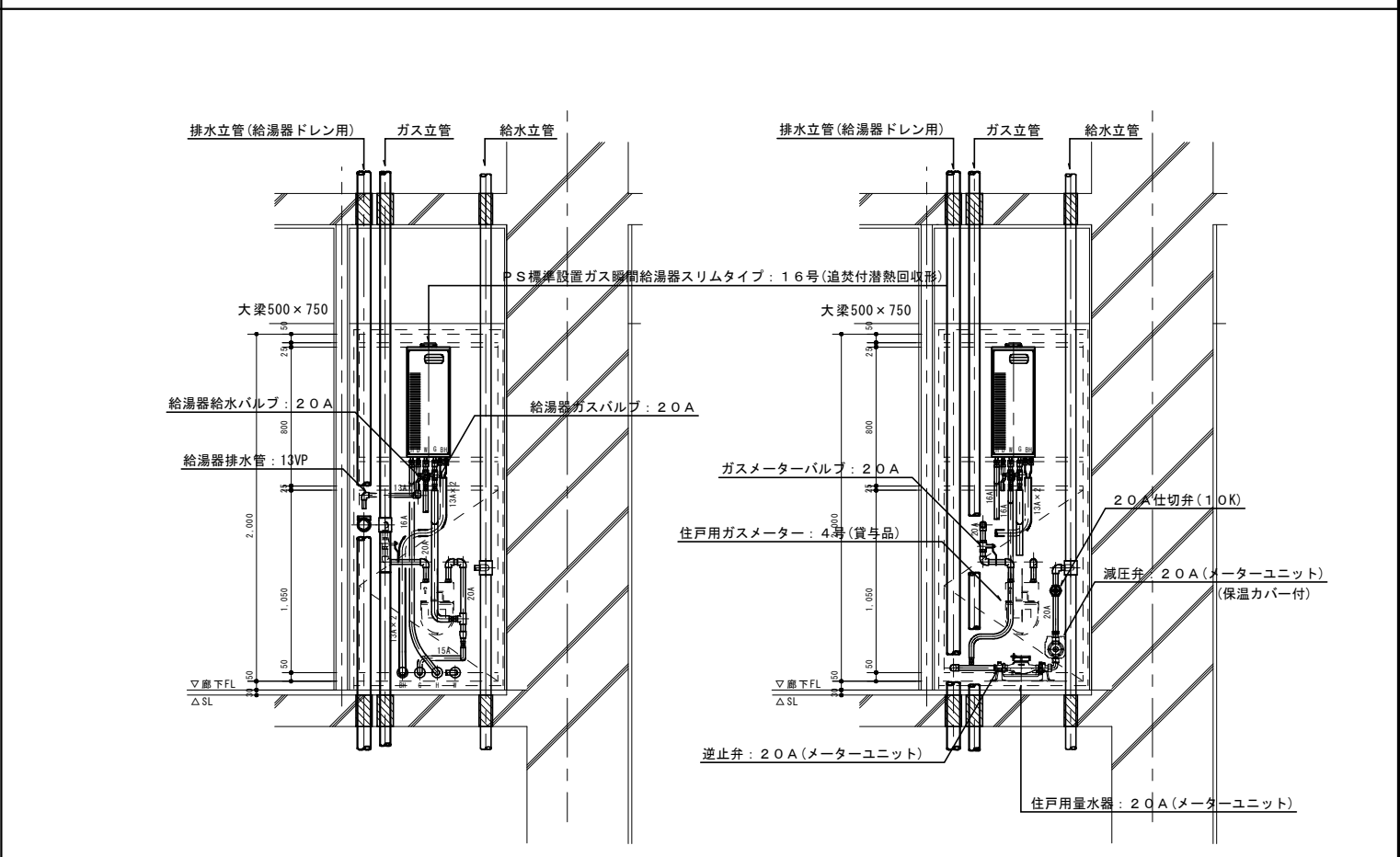
1DKメーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (平面図)



2DKメーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (平面図)



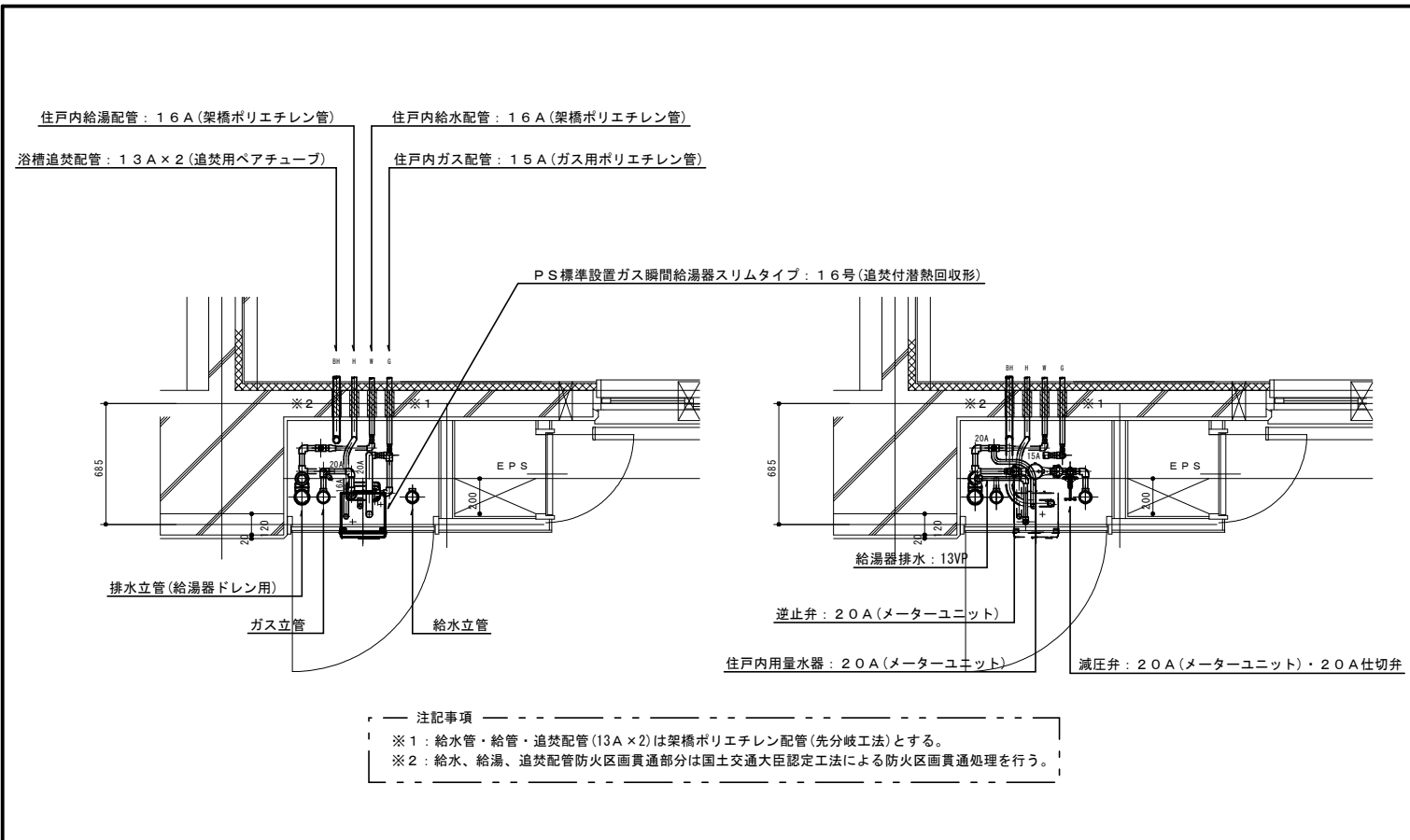
1DKメーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (断面図)



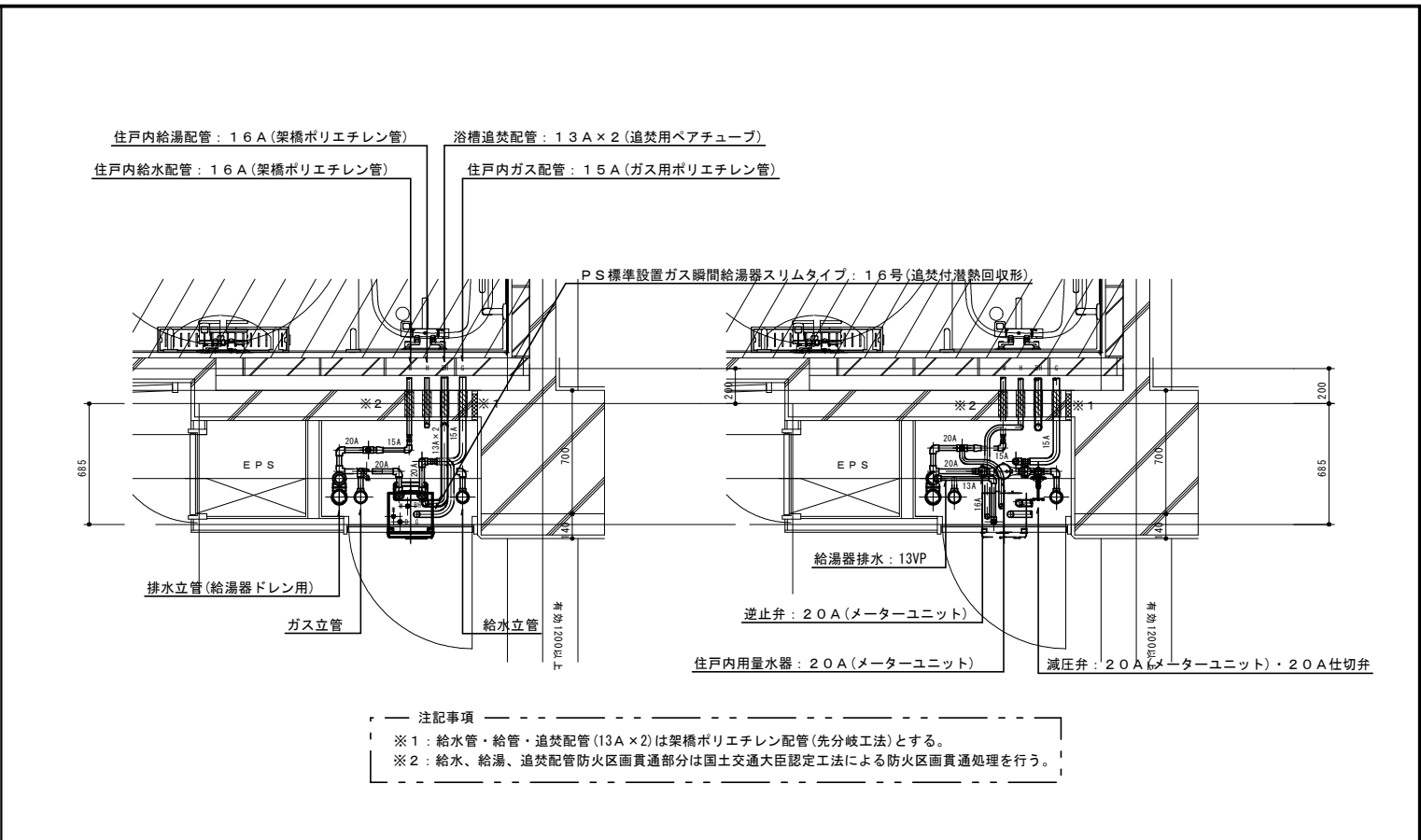
2DKメーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (断面図)

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号	P-08
		SCALE	1/20	図面名称	機械設備詳細図-1 メーターボックス(PS) (ラーメン)		

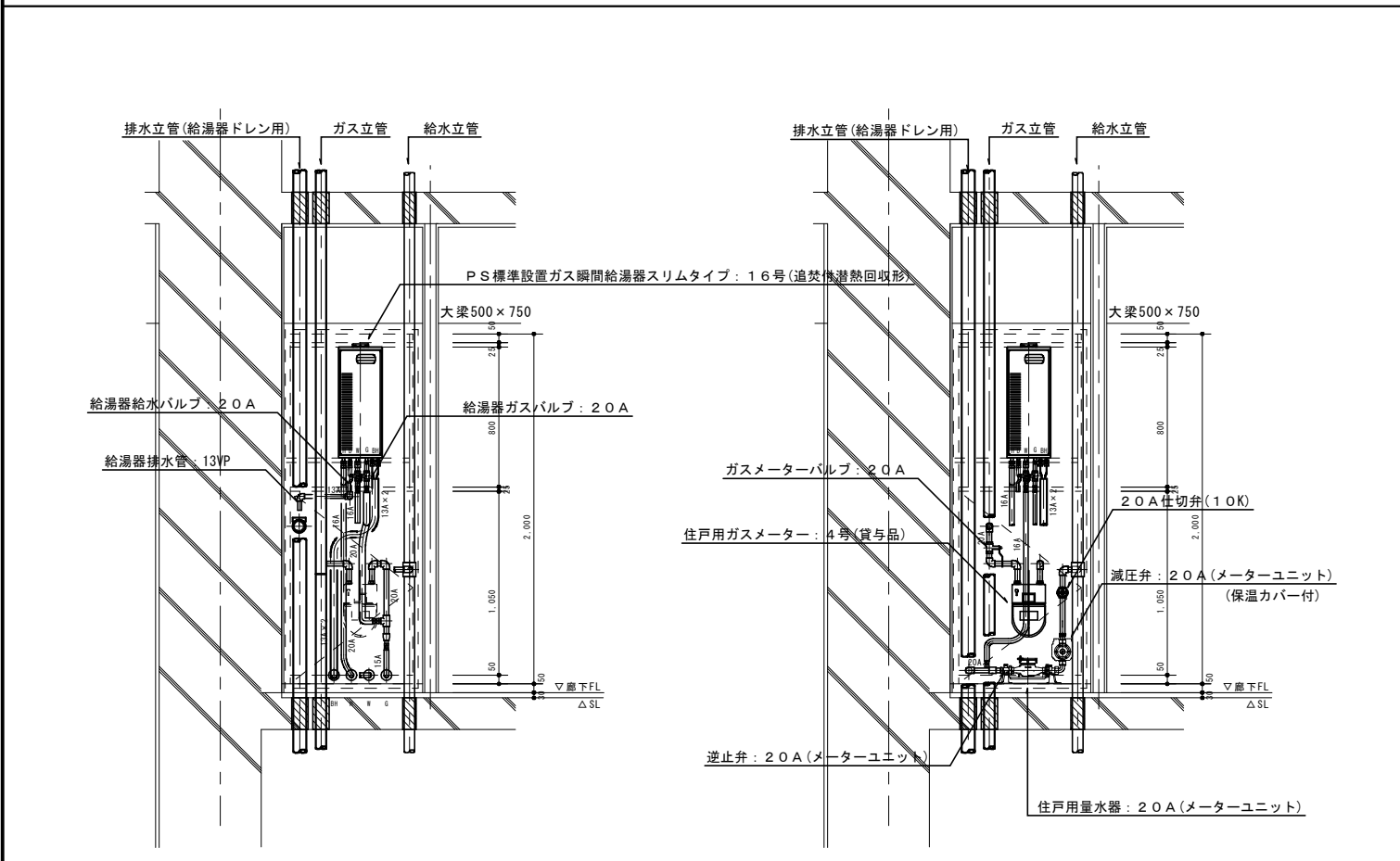




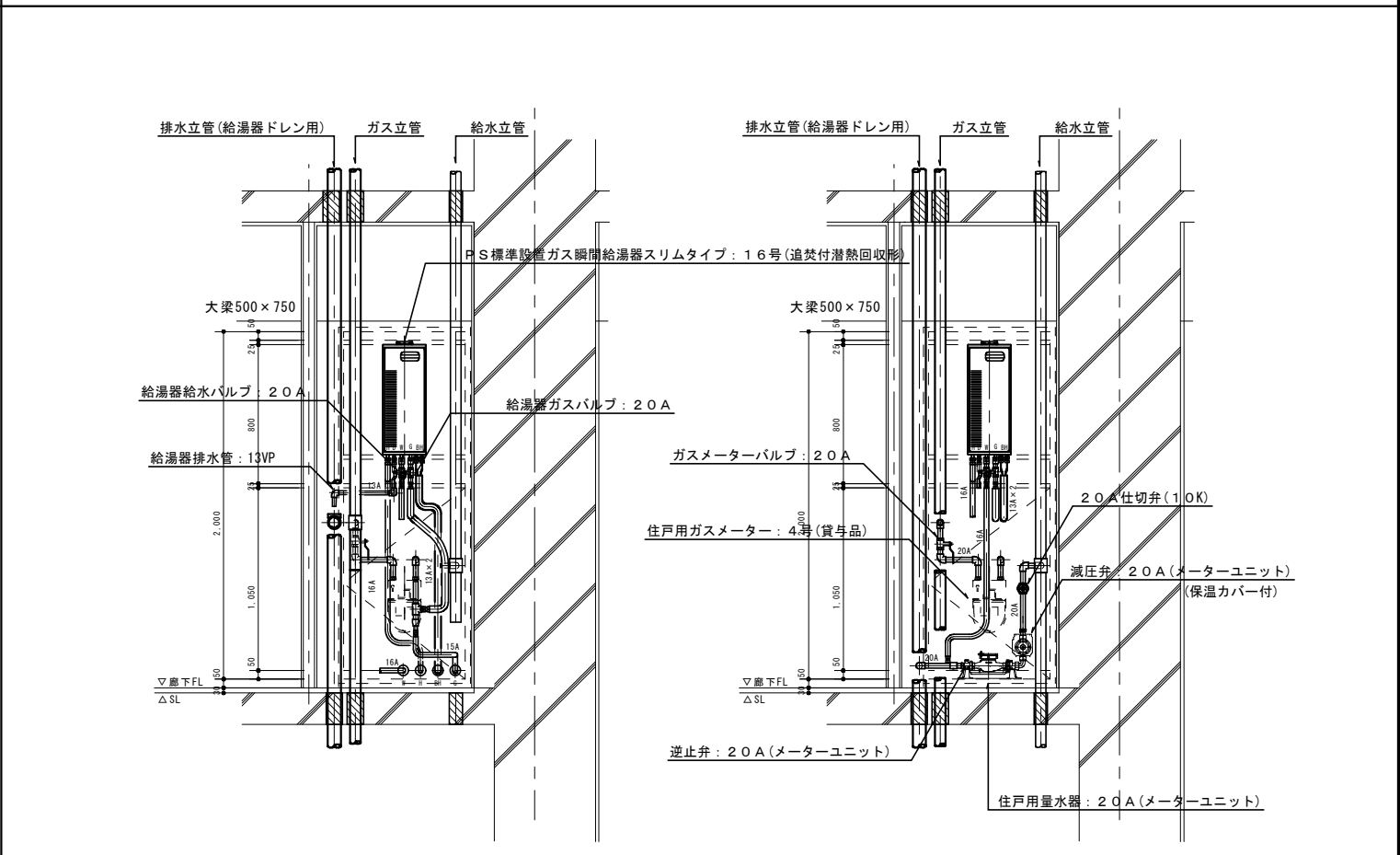
3DKメーターボックス(PS)詳細図 (ラーメン構造) S=1/20 (平面図)



1DK身障者・メーターボックス(PS)詳細図 (ラーメン構造) S=1/20 (平面図)

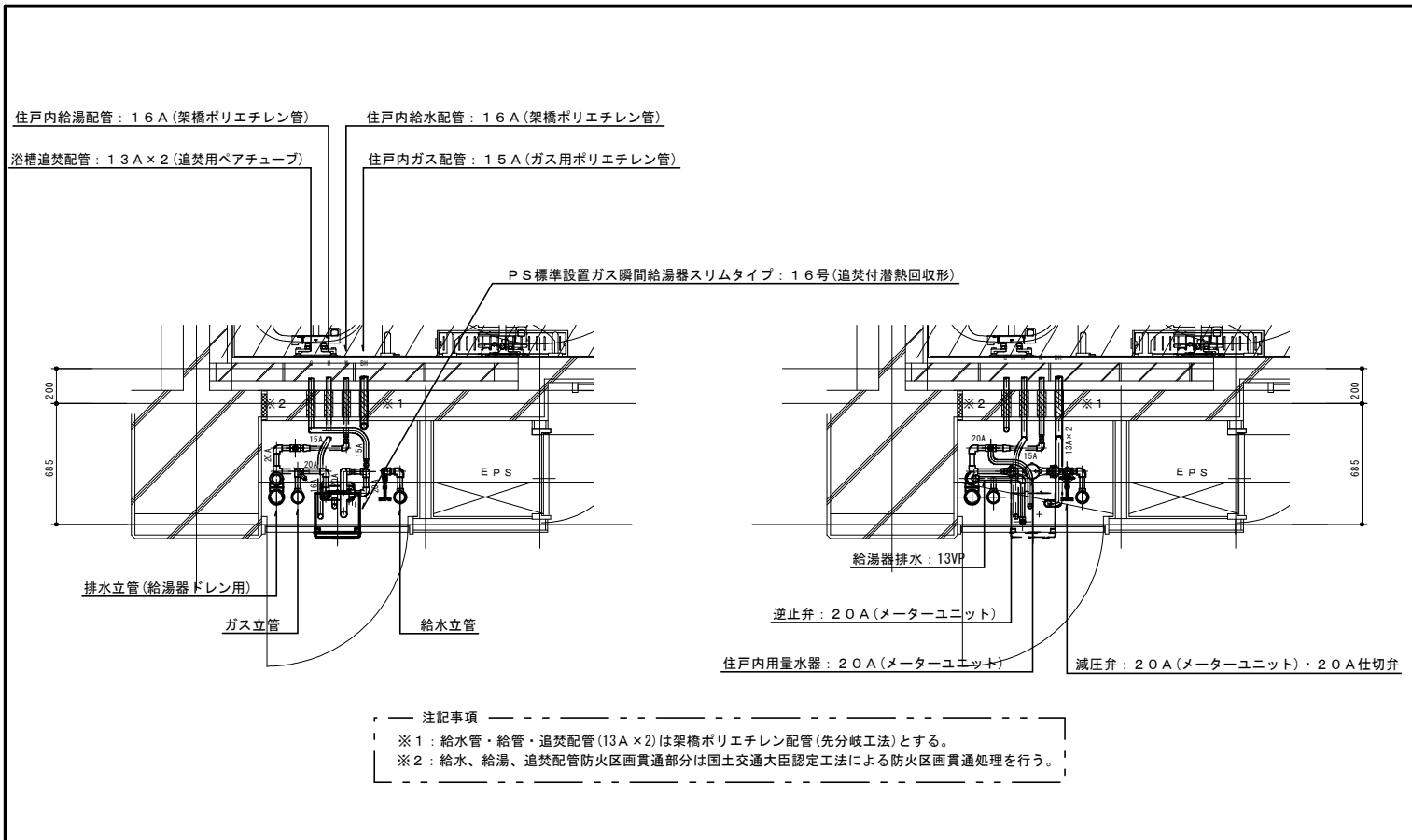


3DKメーターボックス(PS)詳細図 (ラーメン構造) S=1/20 (断面図)

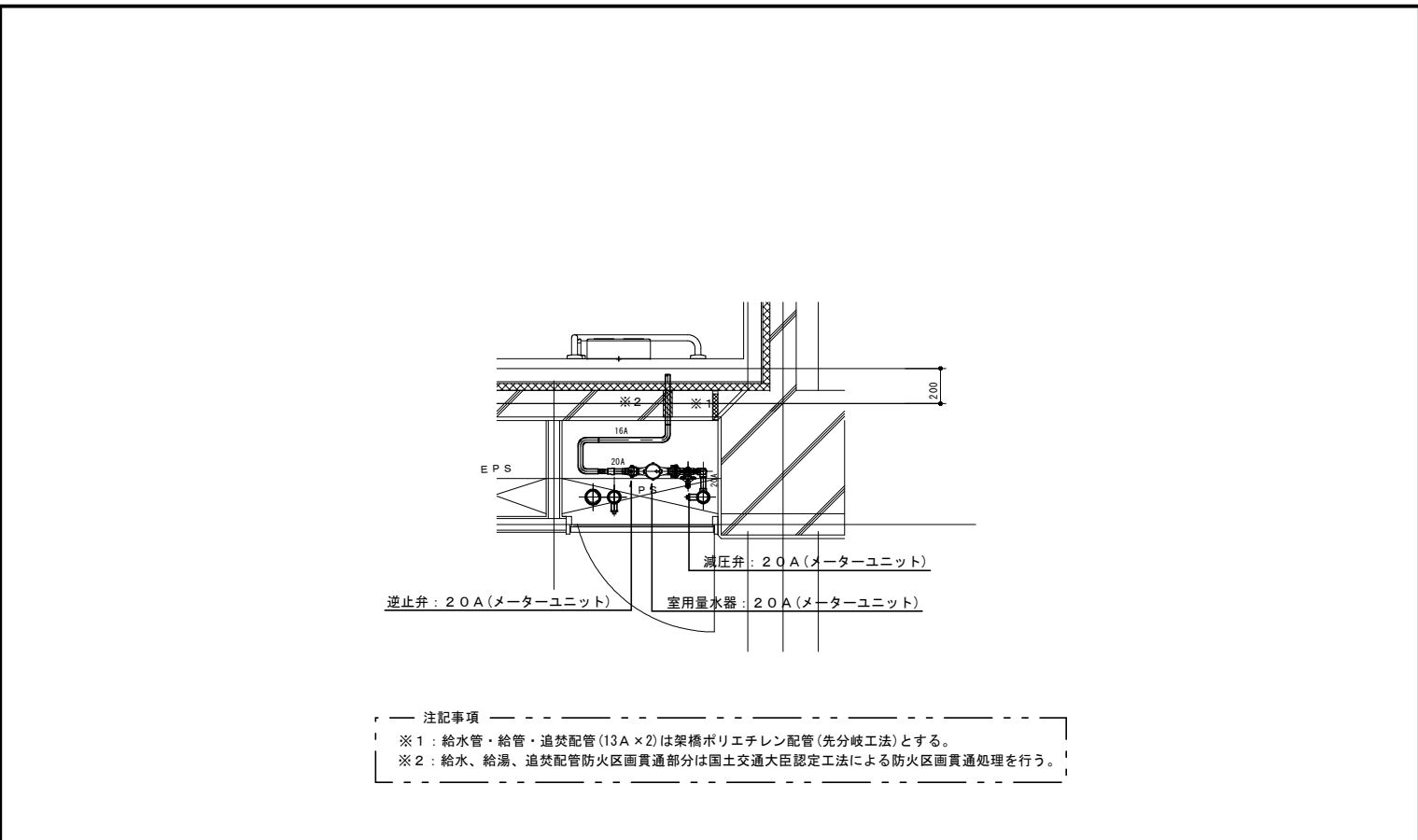


1DK身障者・メーターボックス(PS)詳細図 (ラーメン構造) S=1/20 (断面図)

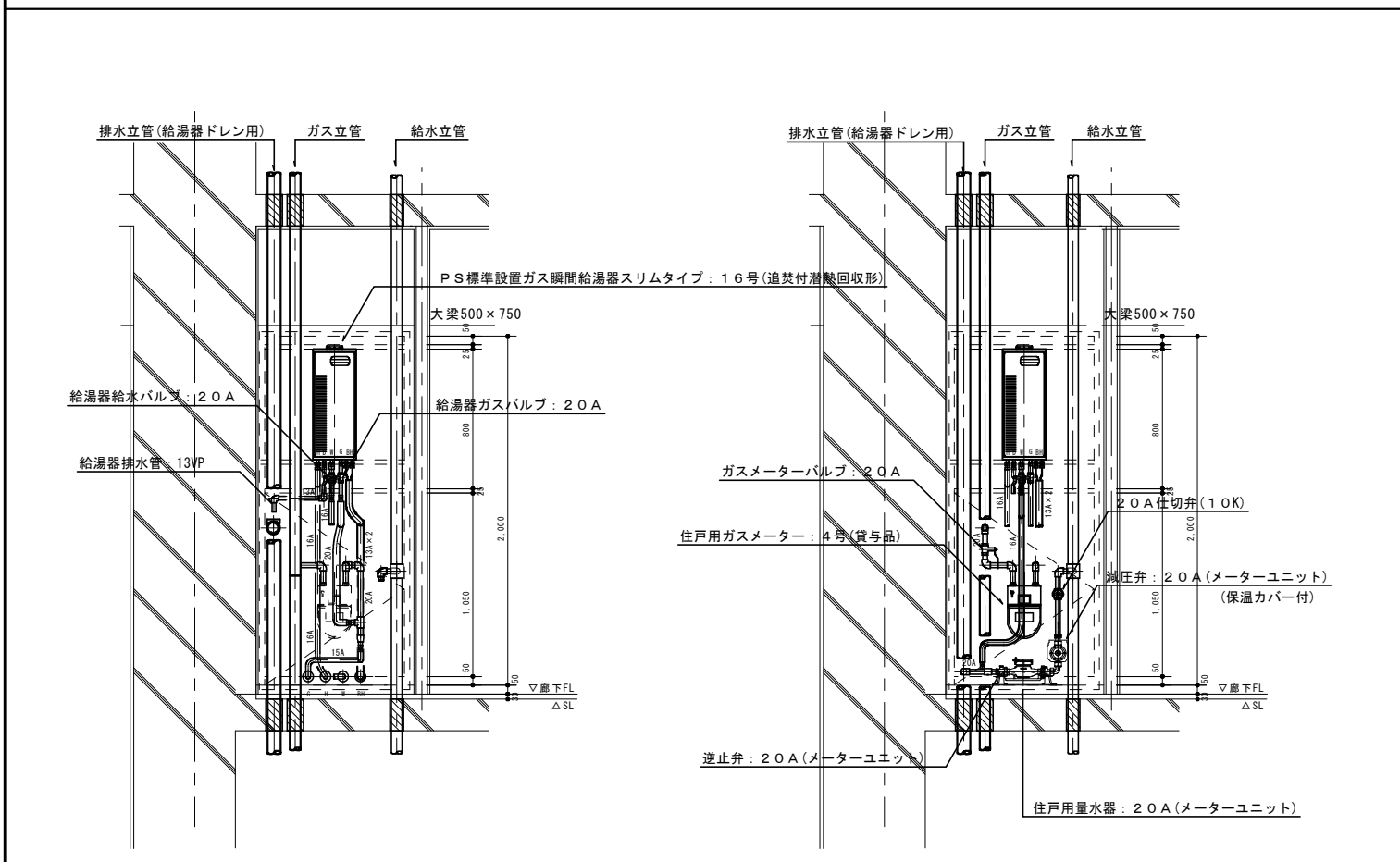
CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	1/20	図面名称	機械設備詳細図-2 メーターボックス(PS) (ラーメン)	
						P-09



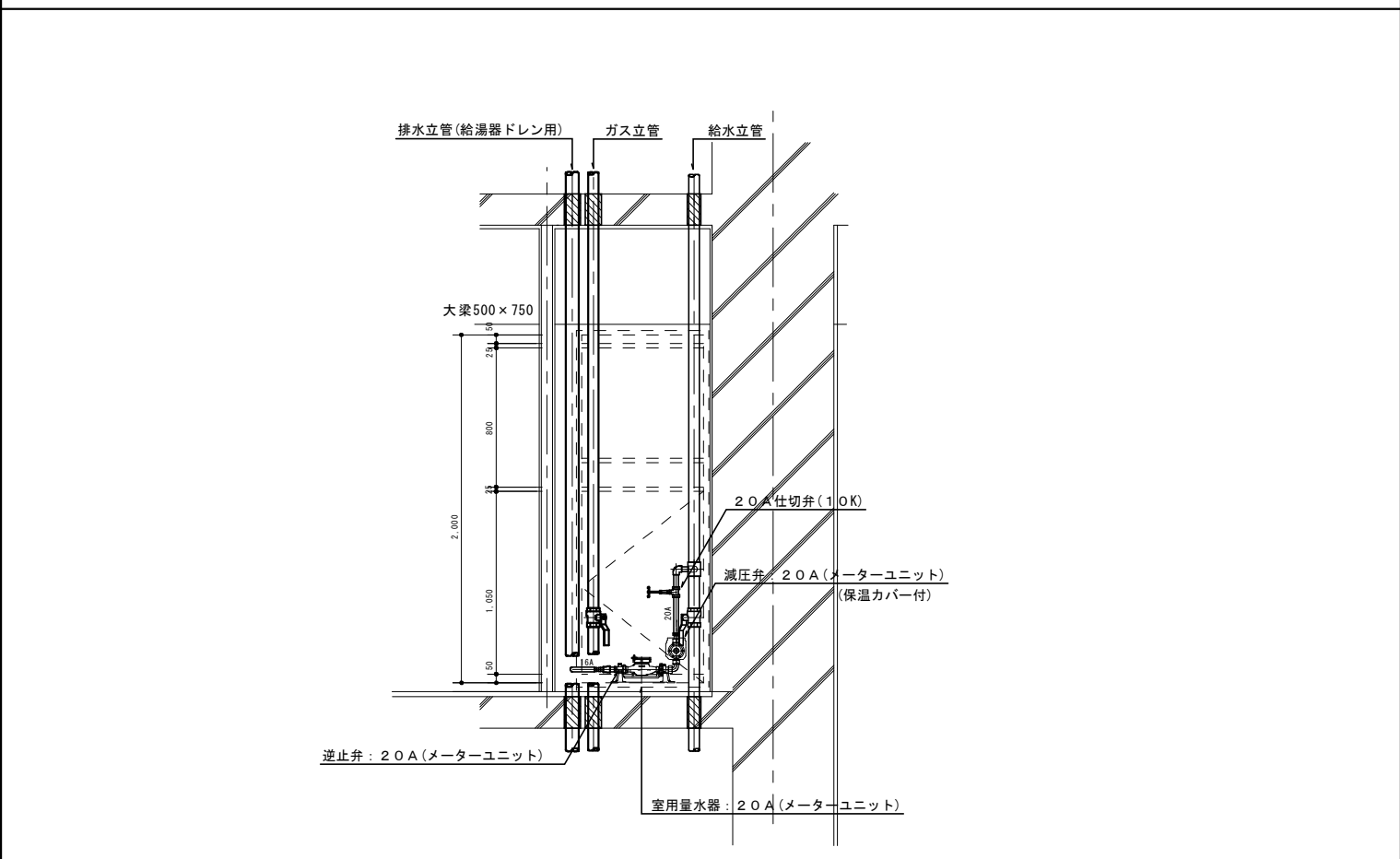
2DK身障者・メーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (平面図)



コミュニティルーム・メーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (平面図)

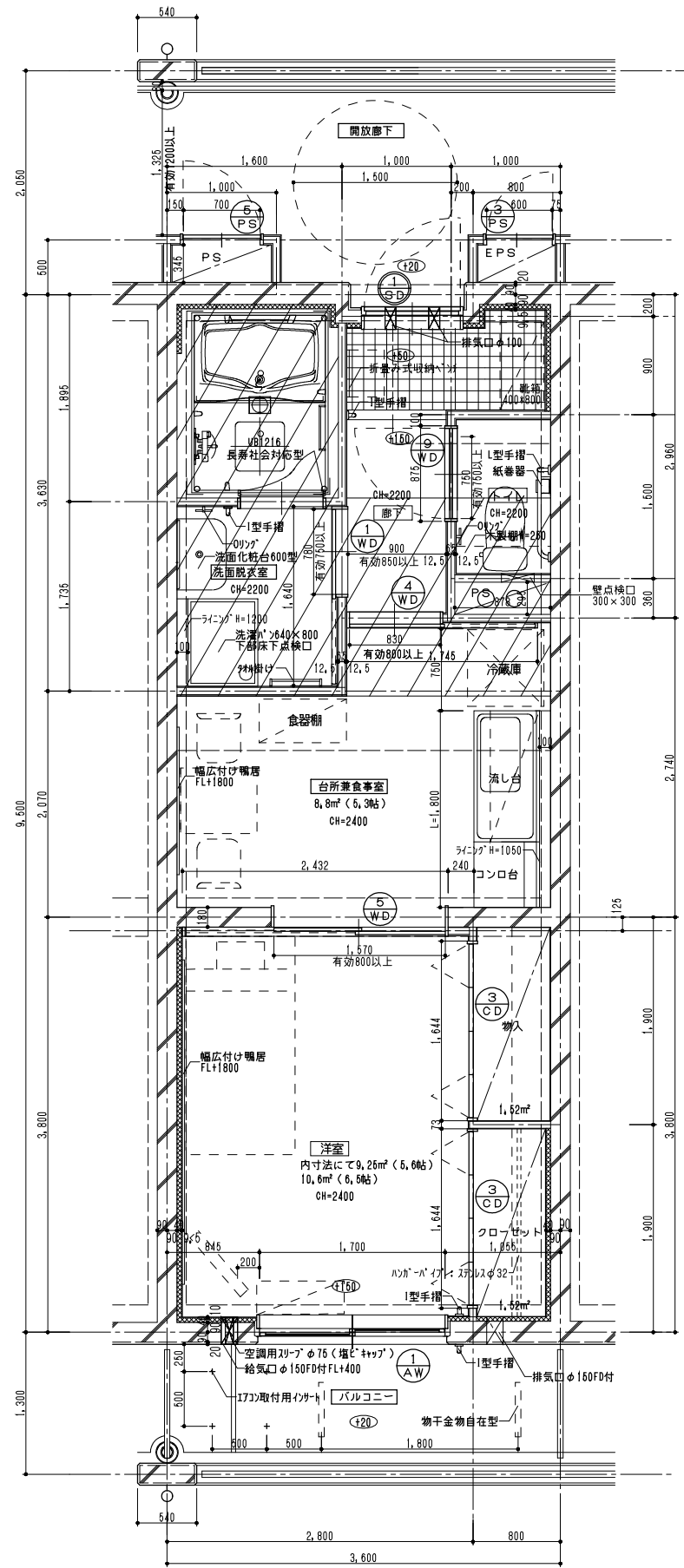


2DK身障者・メーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (断面図)

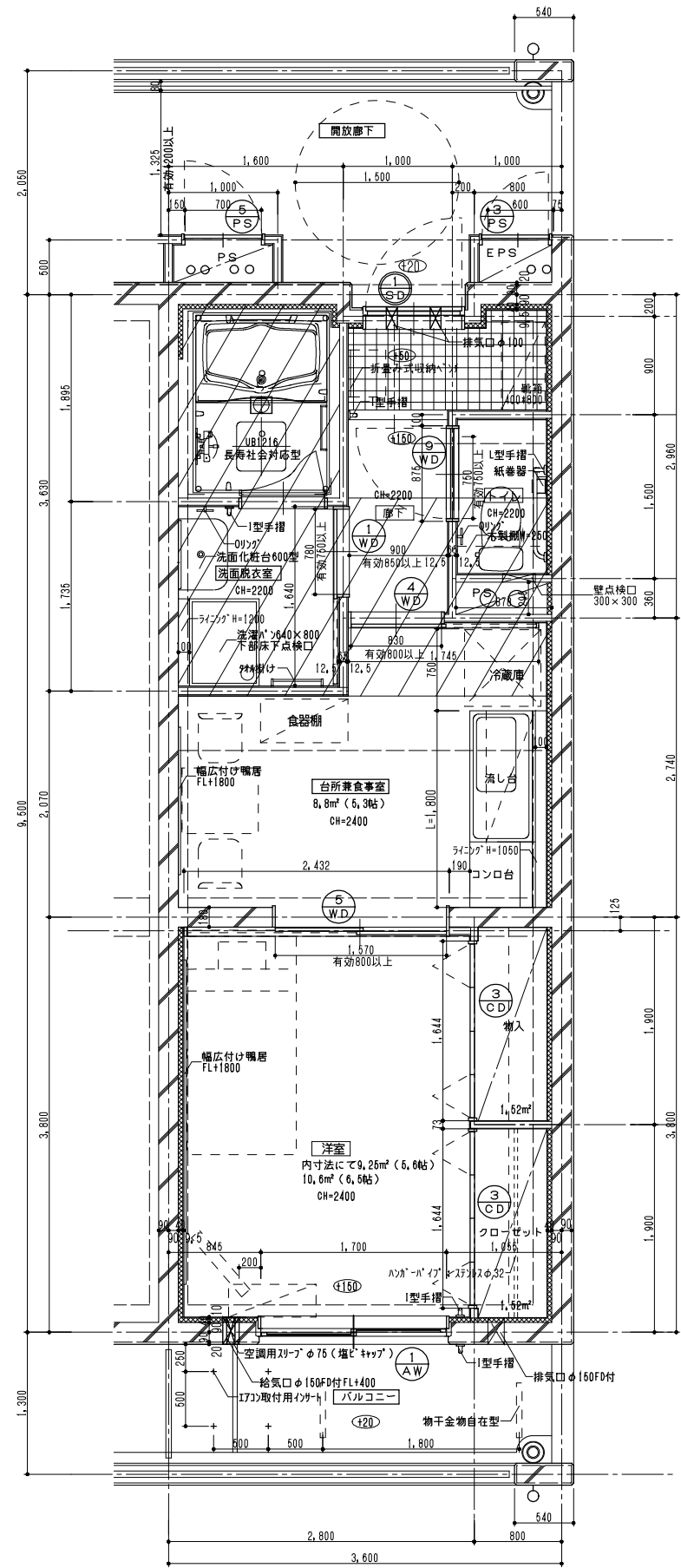


コミュニティルーム・メーターボックス(PS)詳細図(ラーメン構造) S=1/20 (断面図)

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	1/20	図面名称	機械設備詳細図-3 メーターボックス(PS) (ラーメン)	
						P-10



1DKタイプ平面詳細図 33.96㎡  
＜壁構造＞



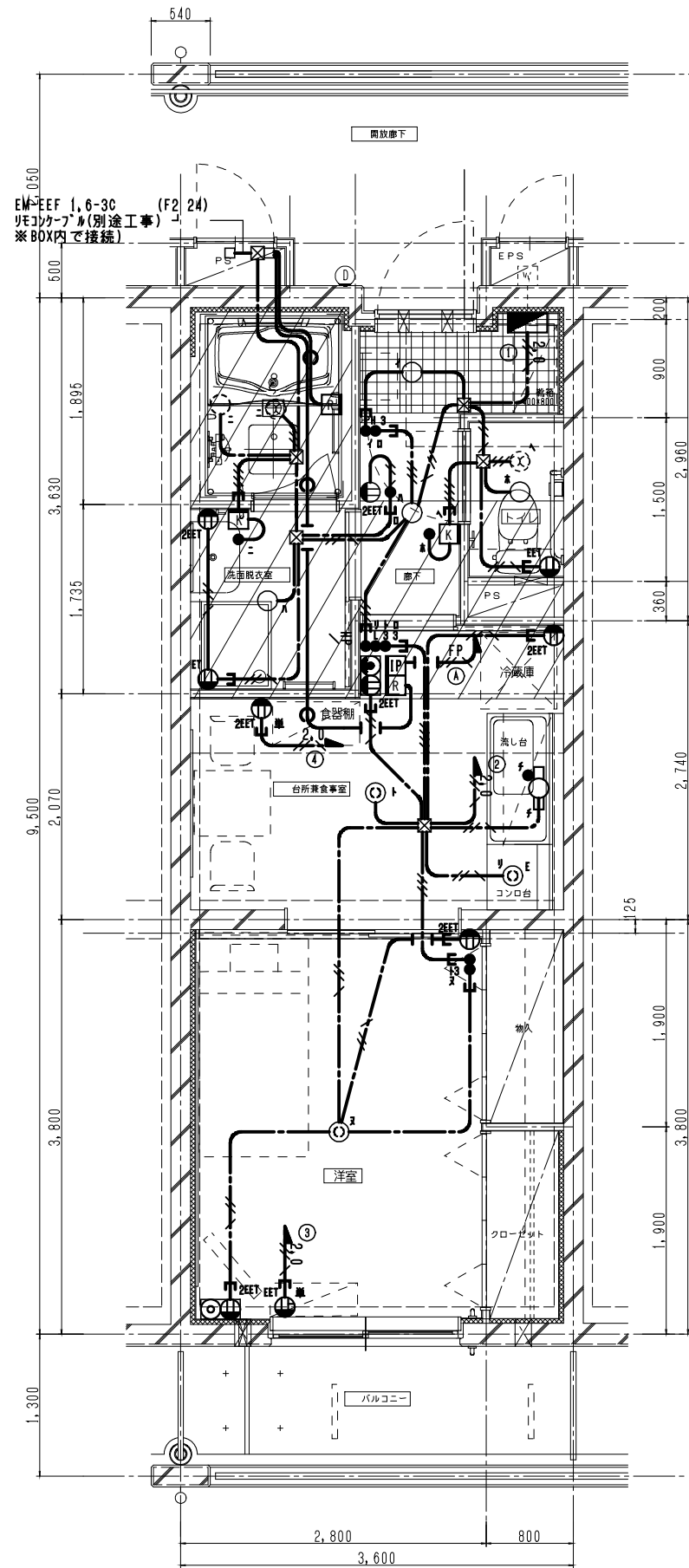
1DKタイプ(妻)平面詳細図 33.96㎡  
＜壁構造＞

- 凡例
- 一般サッシを示す
  - ◎ 建築基準法第112条1項による特定防火設備  
(建設省告示第1369号に基づく構造による)
  - ▨ SL-160の範囲を示す

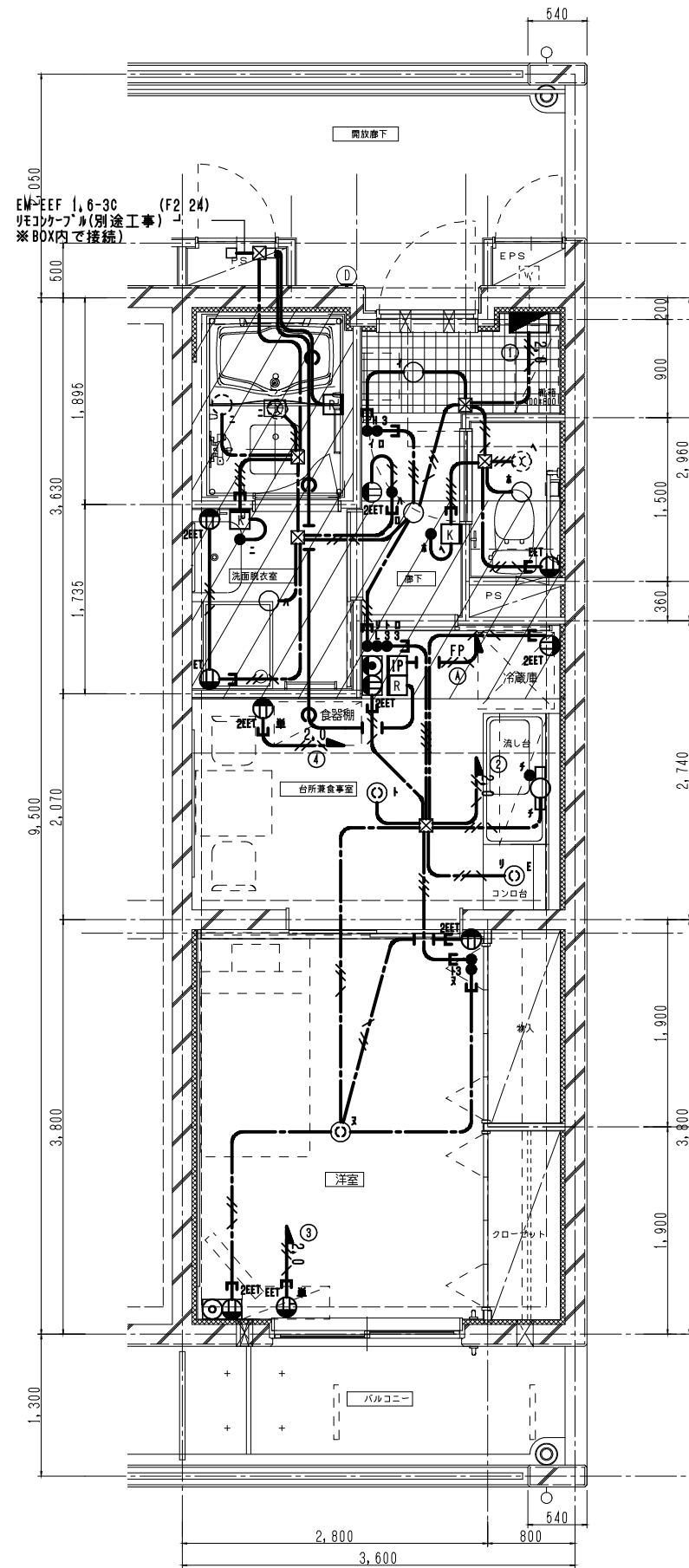
※コックアウト隅部は面取=20のこと  
※内装材「ト」出隅部補強コーナーのこと

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県県営住宅標準プラン集	図面番号	01-A-01
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(壁式)平面図		



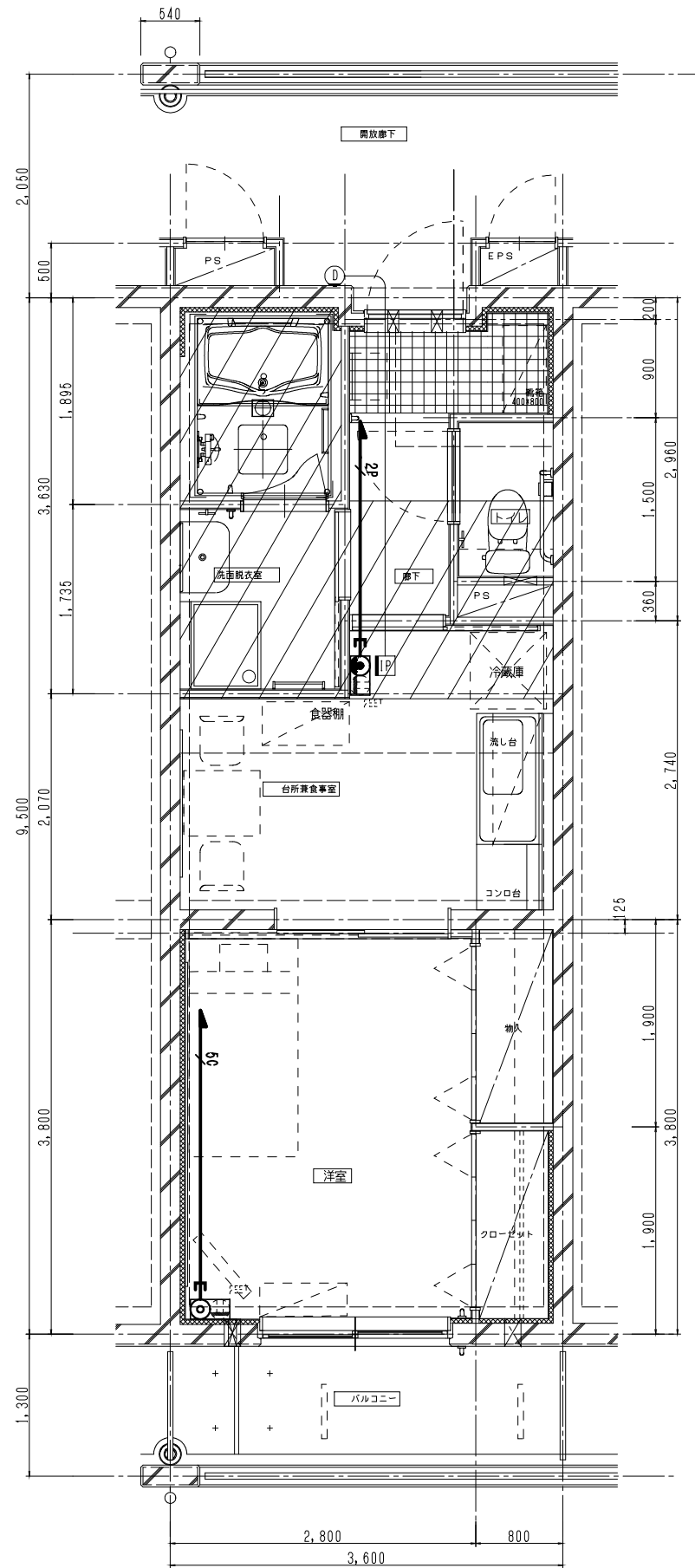


1DKタイプ平面詳細図 33.96㎡  
 <壁構造>

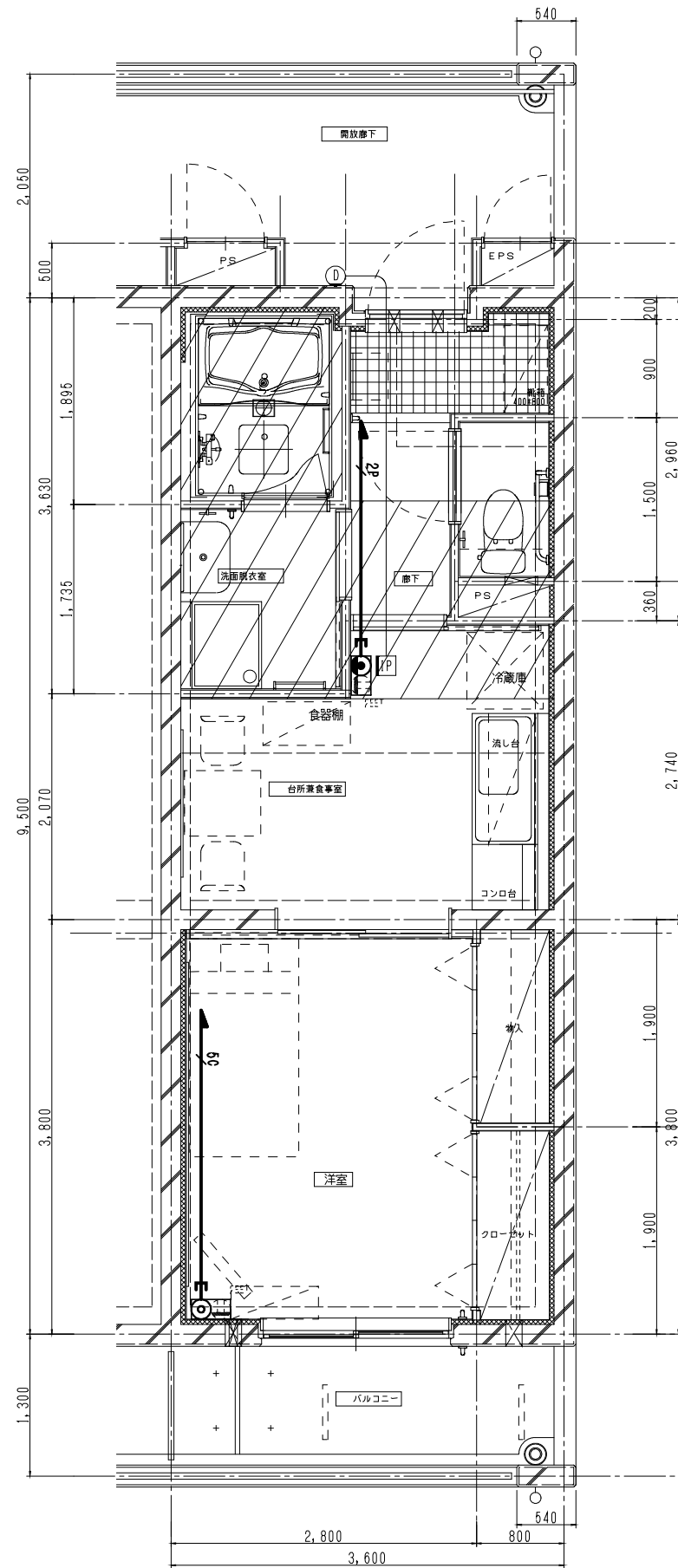


1DKタイプ(妻)平面詳細図 33.96㎡  
 <壁構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県県営住宅標準プラン集	図面番号 01-E-01
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(壁式)平面図(電灯)	



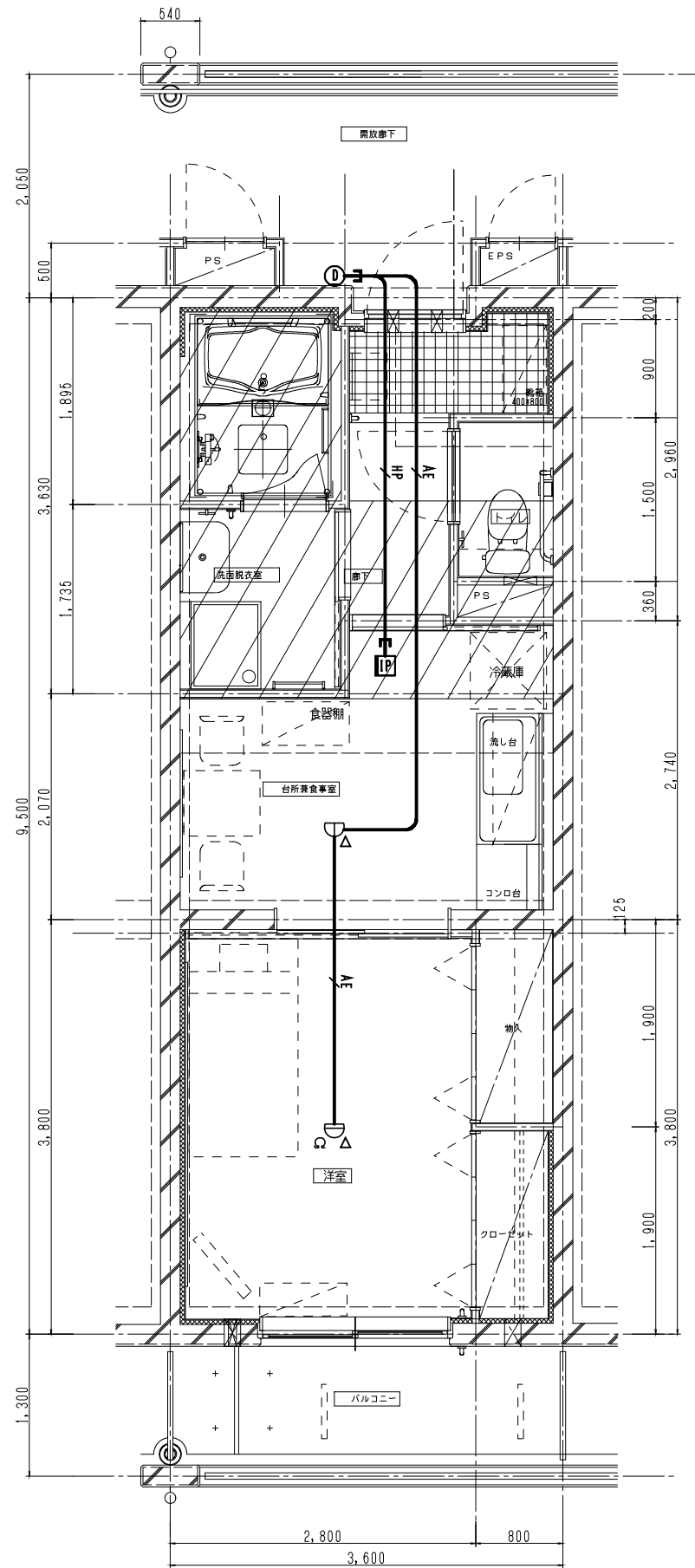
1DKタイプ平面詳細図 33.96㎡  
 <壁構造>



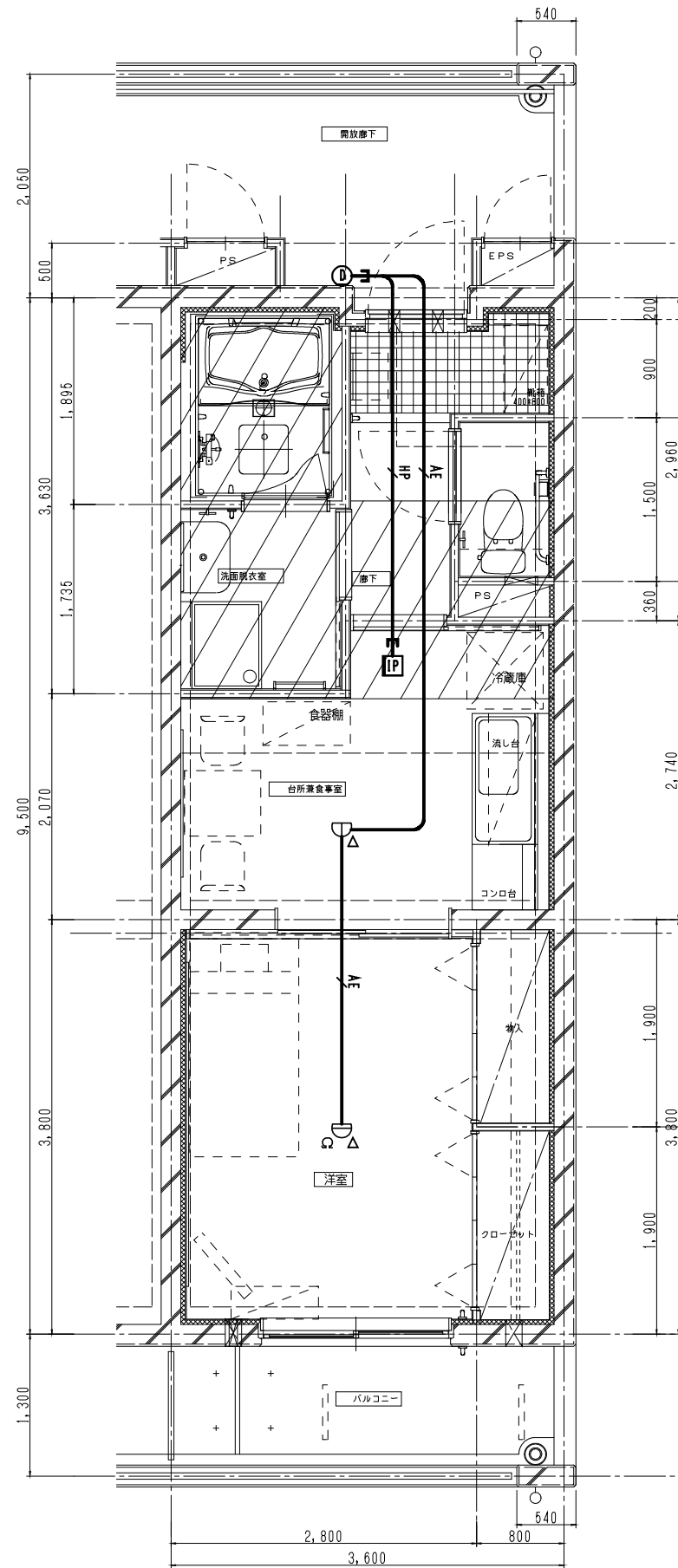
1DKタイプ(妻)平面詳細図 33.96㎡  
 <壁構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 01-E-02
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(壁式)平面図(弱電)	



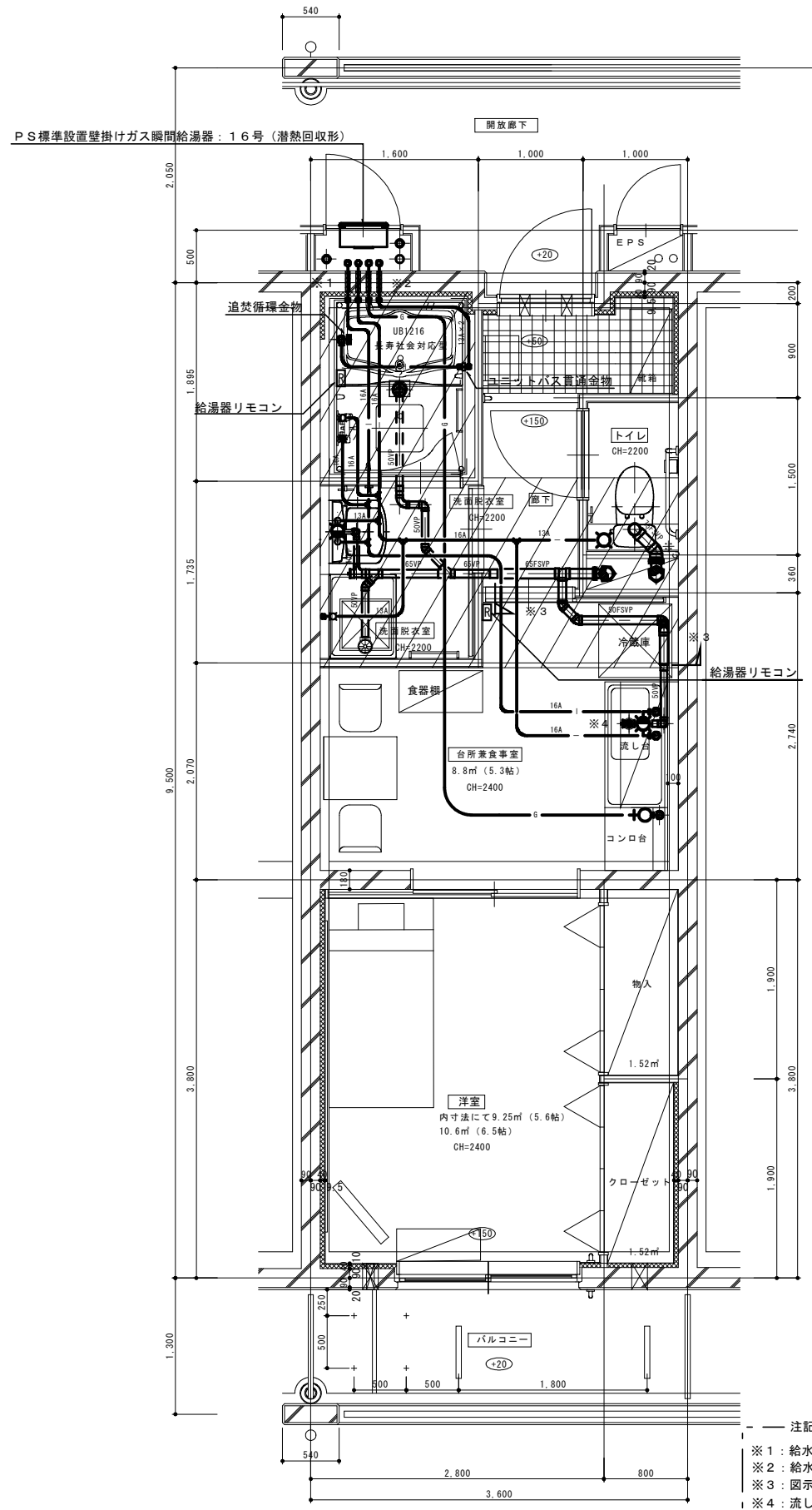


1DKタイプ平面詳細図 33.96㎡  
 <壁構造>



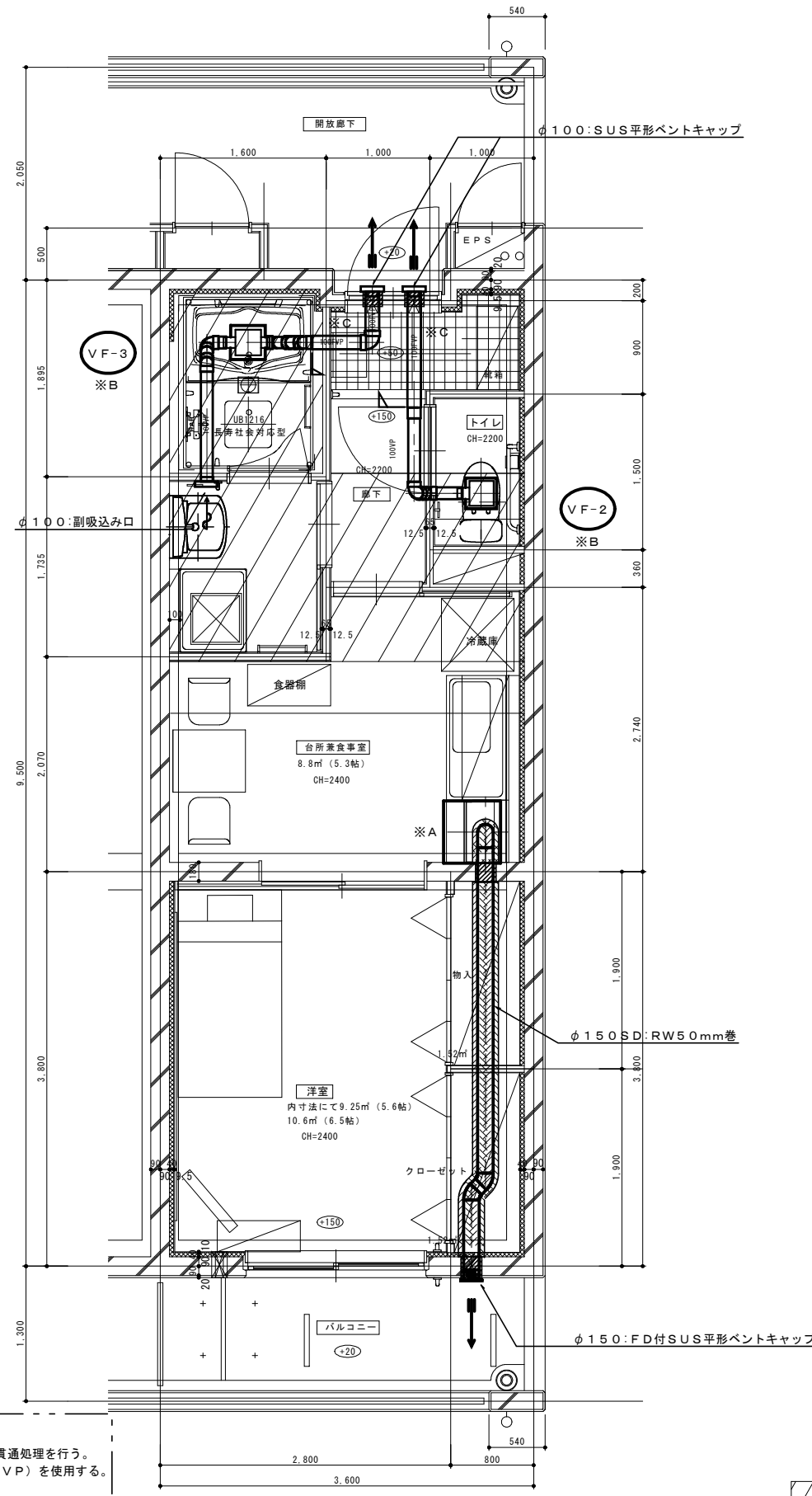
1DKタイプ(妻)平面詳細図 33.96㎡  
 <壁構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 01-E-03
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(壁式)平面図(自火報)	



(衛生設備図)  
1DKタイプ平面詳細図 33.96㎡  
＜壁構造＞

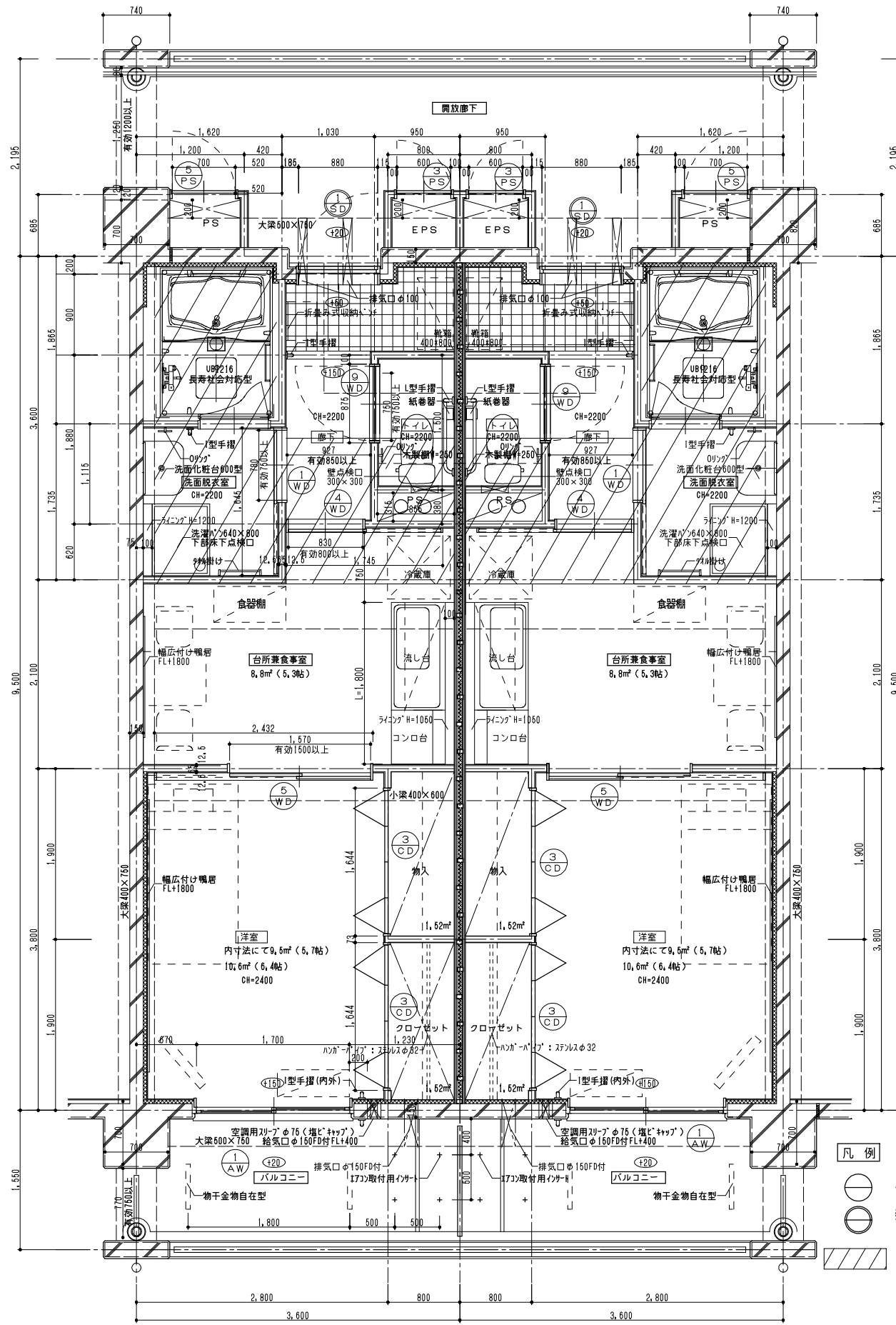
- 注記事項
- ※1: 給水管・給湯管・追焚配管(13A×2)は架橋ポリエチレン配管(先分岐工法)とする。
  - ※2: 給水、給湯、追焚配管防火区画貫通部分は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を行う。
  - ※3: 図示排水管は、立て管より、1.0m以上は建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FSVP)を使用する。
  - ※4: 流し台下排水管端部にはツマミ掃除口を付ける。
  - ※A: VF-1・レンジフードファン用幕板は建築工事。
  - ※B: VF-2・3天井扇は2.4時間換気機能付きとし(コントロールスイッチ共)スイッチ取付は電気工事。
  - ※C: 防火区画貫通ビダクトは1.0m以上耐火二層管とする。



(換気設備図)  
1DKタイプ(妻)平面詳細図 33.96㎡  
＜壁構造＞

SL-150の範囲を示す

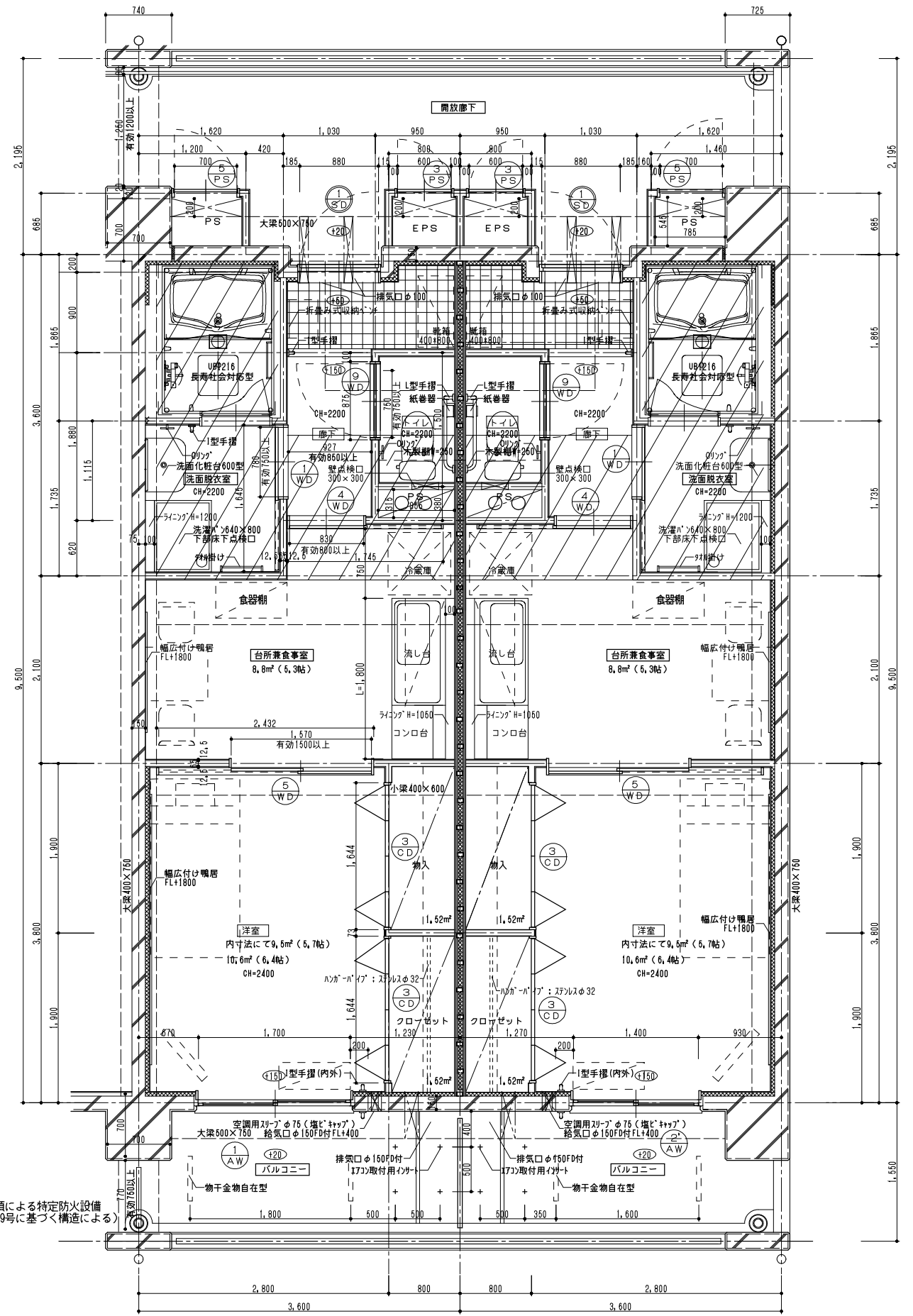
CHECKED	DRAWING	DATE	工事名称	図面番号
		2020.8.21	神奈川県営住宅標準プラン集	
		SCALE	図面名称	01-P-01
		1/30	KK1(壁式)平面図(衛生・換気)	



1DKタイプ平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

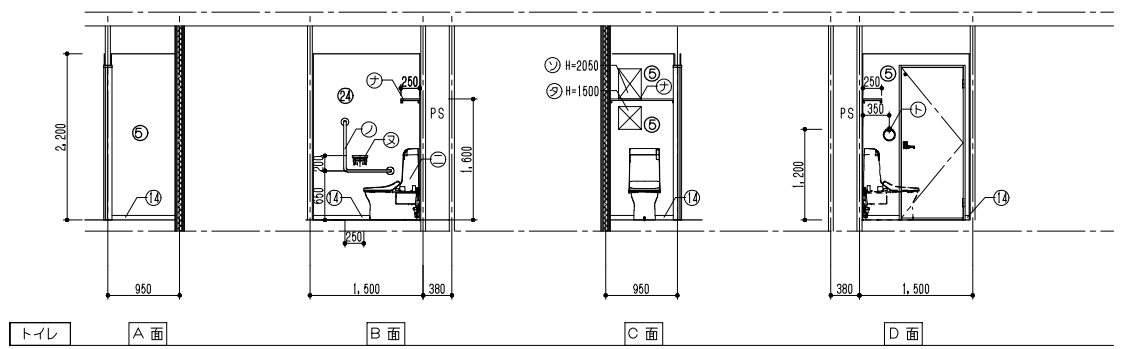
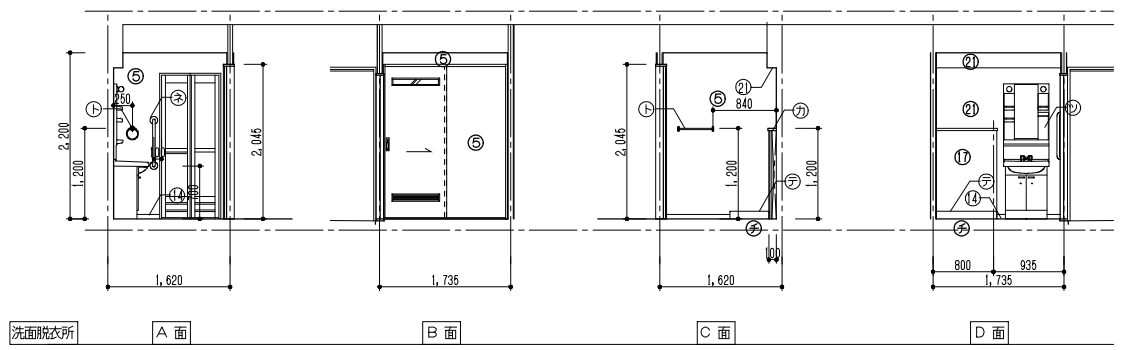
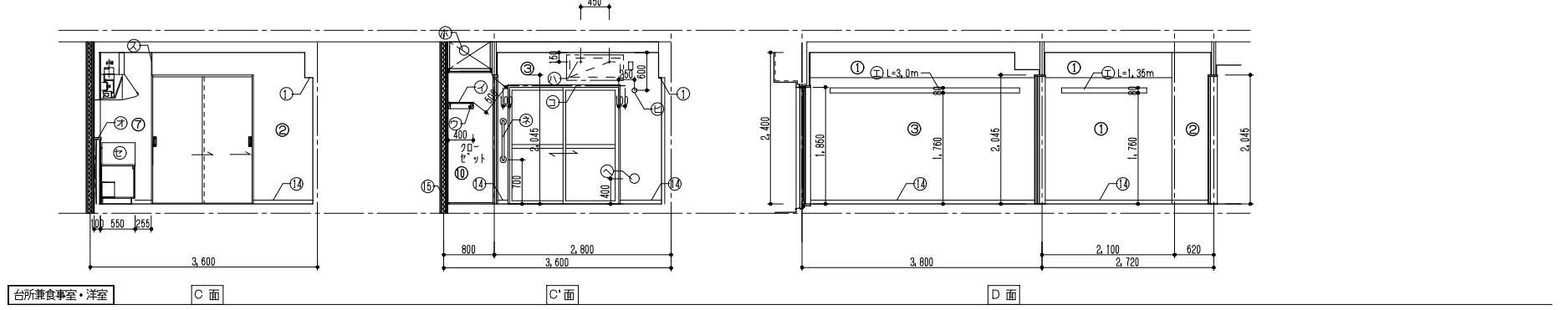
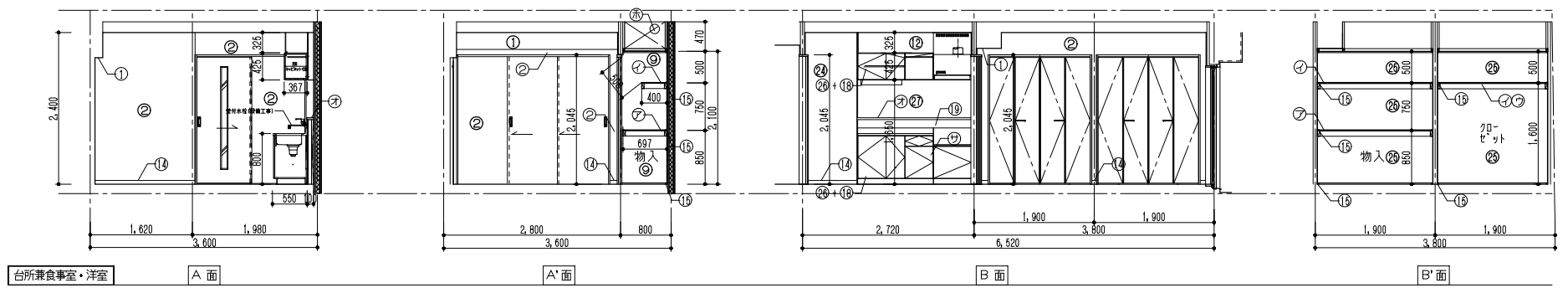
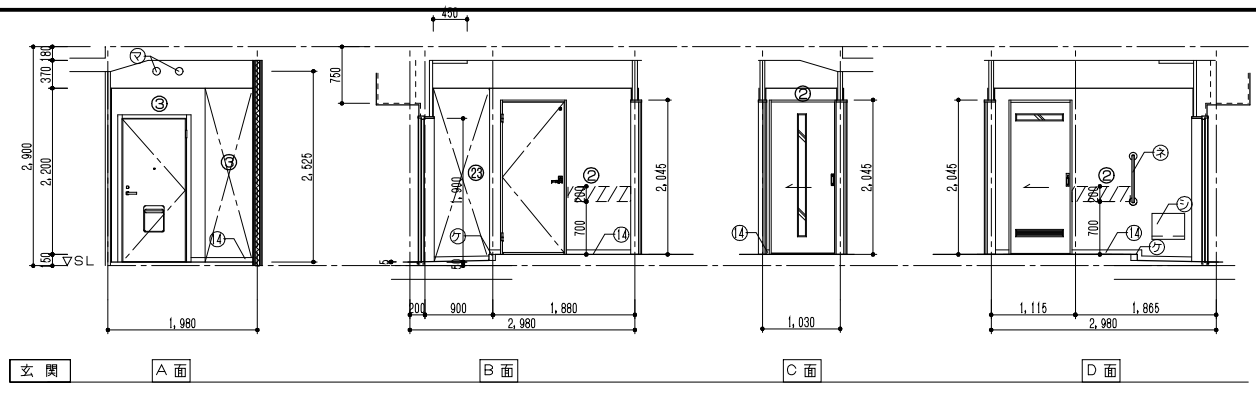
- 凡例
- 一般サッシを示す
  - ◎ 建築基準法第112条1項による特定防火設備 (建設省告示第1369号に基づく構造による)
  - ▨ SL-150の範囲を示す

※コンクリート出隅部は面取W=20のこと  
 ※内装材「+」出隅部補強コンクリートのこと



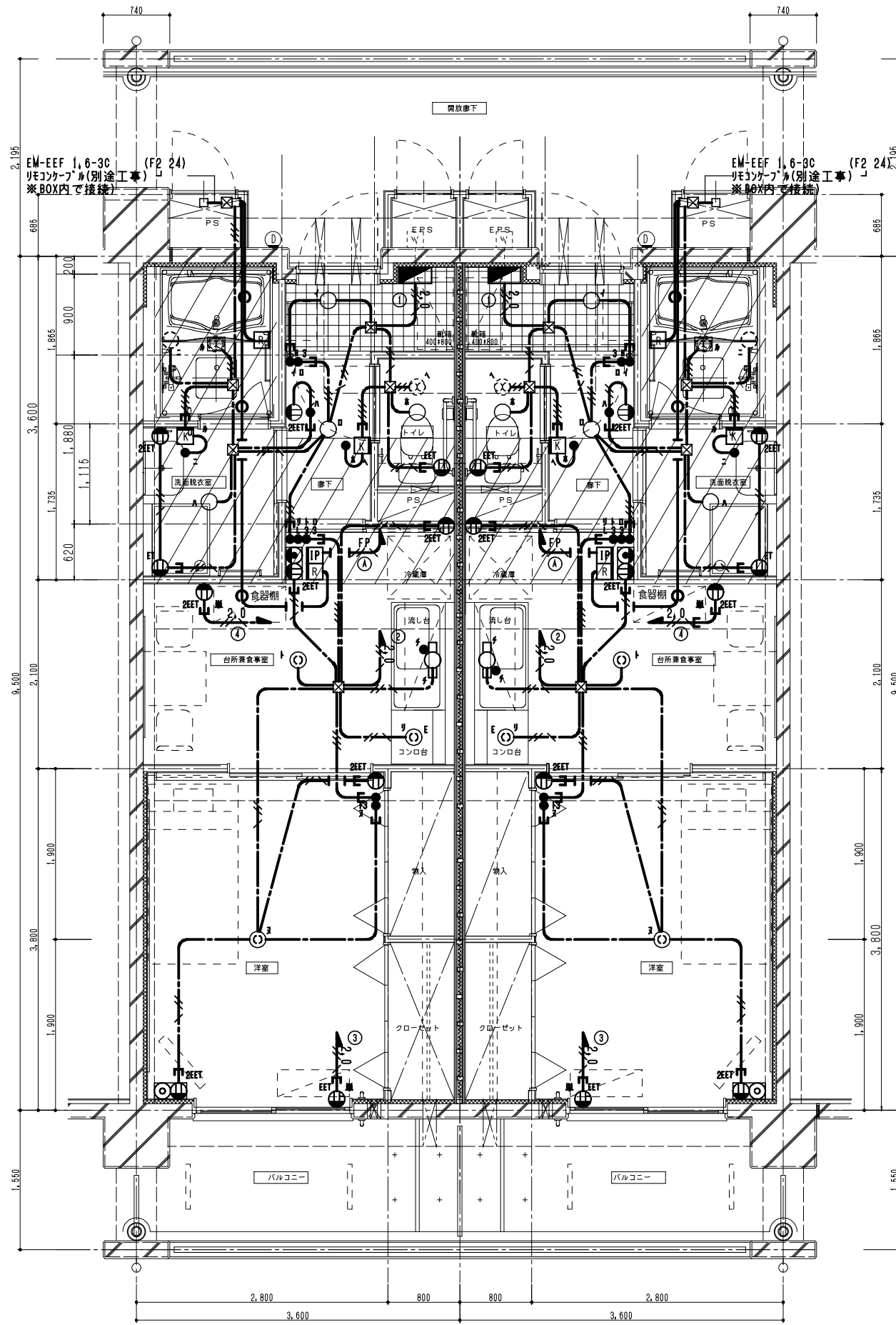
1DKタイプ(妻)平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県県営住宅標準プラン集	図面番号
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(ラーメン)平面図	

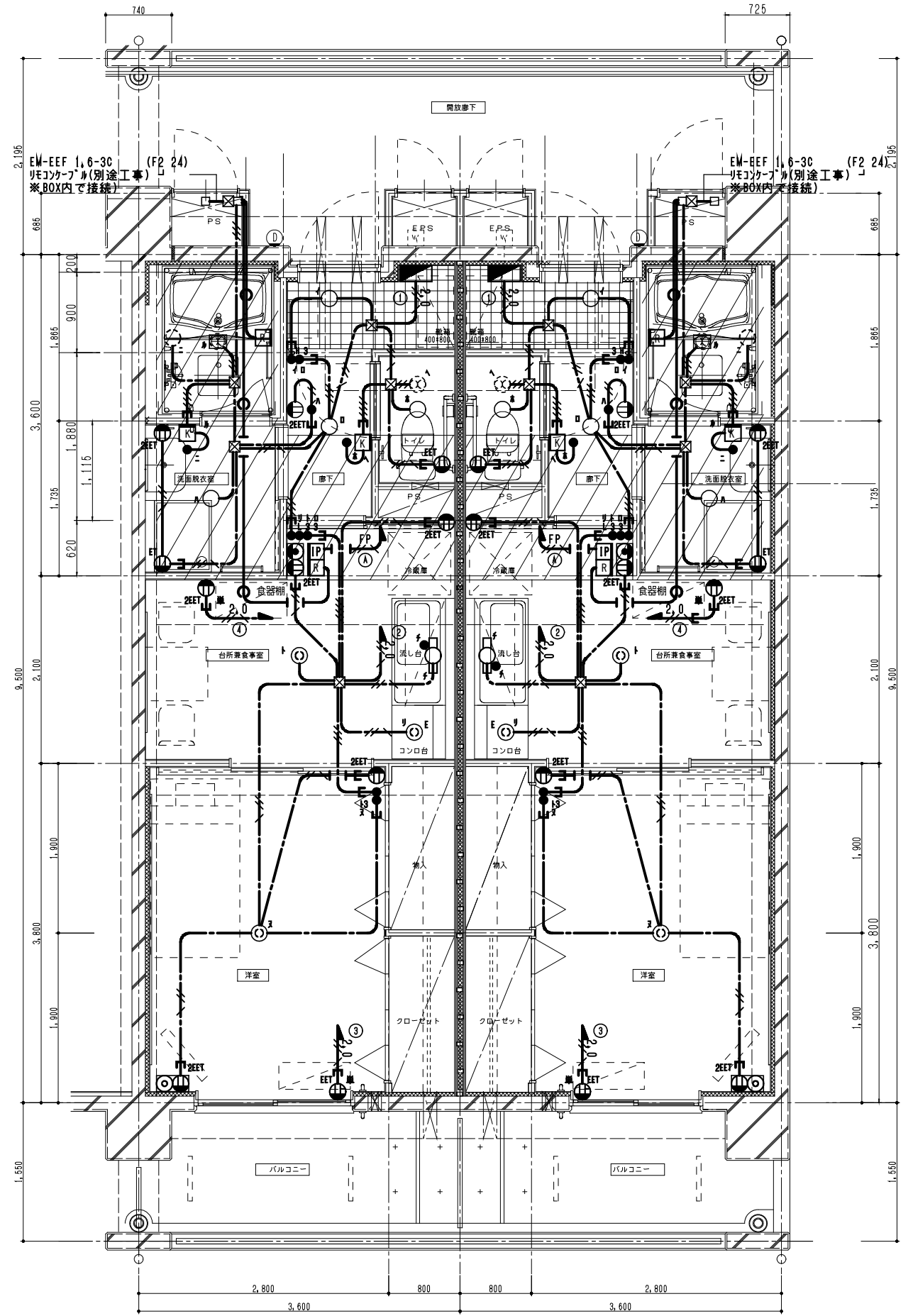


仕上表 凡例	
①	コックリ打放し補修の上ビニール貼
②	LGS(65型)下地 石膏ボード 712.5の上ビニール貼
③	押出法 <sup>※</sup> ワレノカタ <sup>※</sup> 保温板2種裏打石膏 <sup>※</sup> 734.5 ビニール貼
④	押出法 <sup>※</sup> ワレノカタ <sup>※</sup> 保温板2種裏打石膏 <sup>※</sup> 734.5 防湿ビニール貼(防塵・防カ)
⑤	LGS(65型)下地 耐水石膏ボード 712.5の上防湿ビニール貼(防塵・防カ)
⑥	流し部:コックリ打放し補修の上 化粧不燃 <sup>※</sup> 700 <sup>※</sup> 4 下地張り
⑦	不燃壁: LGS(65型)下地 耐水不燃石膏ボード712.5
⑧	コックリ打放し補修の上 ベニヤ合板厚4.0貼(T2)
⑨	LGS(65型)下地 ベニヤ合板厚4.0貼(T2)
⑩	押出法 <sup>※</sup> ワレノカタ <sup>※</sup> 保温板2種裏打ベニヤ合板厚4.0貼(T2) 729
⑪	押出法 <sup>※</sup> ワレノカタ <sup>※</sup> 保温板2種裏打石膏 <sup>※</sup> 734.5化粧不燃 <sup>※</sup> 700 <sup>※</sup> 4
⑫	LGS(65型)下地耐水石膏ボード 712.5の上防湿ビニール貼(防塵・防カ)(帯板)
⑬	LGS(65型)下地石膏 <sup>※</sup> 712.5の上ビニール貼(下がり天井)
⑭	ビニール巾木H=60
⑮	雑巾受け
⑯	6L工法下地 石膏ボード 70.5の上ビニール貼
⑰	LGS(65型)下地耐水石膏ボード 712.5の上防湿ビニール貼(防塵・防カ)
⑱	LGS(65型)下地 耐水不燃石膏ボード712.5
⑲	LGS(65型)下地 耐水不燃石膏ボード712.5化粧不燃 <sup>※</sup> 700 <sup>※</sup> 4
⑳	LGS(65型)下地 石膏ボード712.5の上ビニール貼
㉑	コックリ打放し補修の上 防湿ビニール貼(防塵・防カ)
㉒	コックリ打放し補修の上 化粧不燃 <sup>※</sup> 700 <sup>※</sup> 4
㉓	乾式耐火遮音壁: LGS下地75形 <sup>※</sup> 57 <sup>※</sup> 424 <sup>※</sup> 3 <sup>※</sup> 厚50強化石膏 <sup>※</sup> 712.5(2枚張)の上ビニール貼
㉔	乾式耐火遮音壁: LGS下地75形 <sup>※</sup> 57 <sup>※</sup> 424 <sup>※</sup> 3 <sup>※</sup> 厚50強化石膏 <sup>※</sup> 712.5(2枚張)の上防湿ビニール貼(防塵・防カ)
㉕	乾式耐火遮音壁: LGS下地75形 <sup>※</sup> 57 <sup>※</sup> 424 <sup>※</sup> 3 <sup>※</sup> 厚50強化石膏 <sup>※</sup> 712.5(2枚張)の上ベニヤ合板厚4.0貼(T2)
㉖	乾式耐火遮音壁: LGS下地75形 <sup>※</sup> 57 <sup>※</sup> 424 <sup>※</sup> 3 <sup>※</sup> 厚50強化石膏 <sup>※</sup> 712.5(2枚張)
㉗	乾式耐火遮音壁: LGS下地75形 <sup>※</sup> 57 <sup>※</sup> 424 <sup>※</sup> 3 <sup>※</sup> 厚50強化石膏 <sup>※</sup> 712.5(2枚張)化粧不燃 <sup>※</sup> 700 <sup>※</sup> 4
㉘	中段棚(合板厚5.5)
㉙	柱棚(合板厚5.5)
㉚	ノコギリ: 27x32
㉛	幅広付鴨居H=80(ハンガー対応品) 27 <sup>※</sup> (県産材)
㉜	不燃 <sup>※</sup> 27 <sup>※</sup> 4 <sup>※</sup> 厚20 巾=110
㉝	27 <sup>※</sup> 4 <sup>※</sup> 厚20 巾=110
㉞	ノコギリ: ヒト集成材厚30 UC塗装 本棚: 27 <sup>※</sup> 集成材厚20 OSCL塗装(県産材)
㉟	-
㊱	上櫃19 <sup>※</sup> 厚層材 50x100 OSCL塗装
㊲	カナル溝
㊳	流し台・シンク・戸棚・レンジ <sup>†</sup> (設備工事)L=1800タイプ
㊴	折畳み式収納 <sup>†</sup>
㊵	増し見切、ワレノカタ <sup>※</sup> 増部分納まりのみ7x見切
㊶	防熱板350x550
㊷	-
㊸	壁点検口300x300(一般階のみ)
㊹	床下点検口450x450
㊺	洗面台(設備工事)
㊻	防水 <sup>†</sup> (設備工事)
㊼	列組 <sup>†</sup> L=450、27 <sup>†</sup>
㊽	便所 <sup>†</sup> : 27 <sup>†</sup> 集成材厚20 OSCL塗装(県産材)
㊾	棚掛便器(設備工事)
㊿	紙巻器(設備工事)
1	安全手摺(1型) SUS製樹脂被覆製34φL=600
2	安全手摺(L型) SUS製樹脂被覆製34φL=600x600
3	17 <sup>†</sup> 取付用ノコギリ(下地補強合板900x400x9)
4	設備機器用パイプφ75(内: 増 <sup>†</sup> 製 <sup>†</sup> 外: 7x <sup>†</sup> 製 <sup>†</sup> )
5	給気口φ100(SUS製防虫網付)
6	給気口φ150 F付(SUS製防虫網付)
7	空調用パイプφ115
8	空調用パイプφ100
9	空調用パイプφ150(内: 増 <sup>†</sup> 製 <sup>†</sup> 、外: SUS製 <sup>†</sup> )
10	空調用パイプφ100(内: 増 <sup>†</sup> 製 <sup>†</sup> 、外: SUS製 <sup>†</sup> )
11	換気口φ100(SUS製防虫網付)
12	換気口φ150(SUS製防虫網付)
13	将来手摺取付用壁下地補強

CHECKED	DRAWING	DATE	工事名称	図面番号
		2020.8.21	神奈川県県営住宅標準プラン集	02-A-02
		SCALE	図面名称	
		(A1)1/50 (A3)1/100	KK1(ラーメン)展開図	

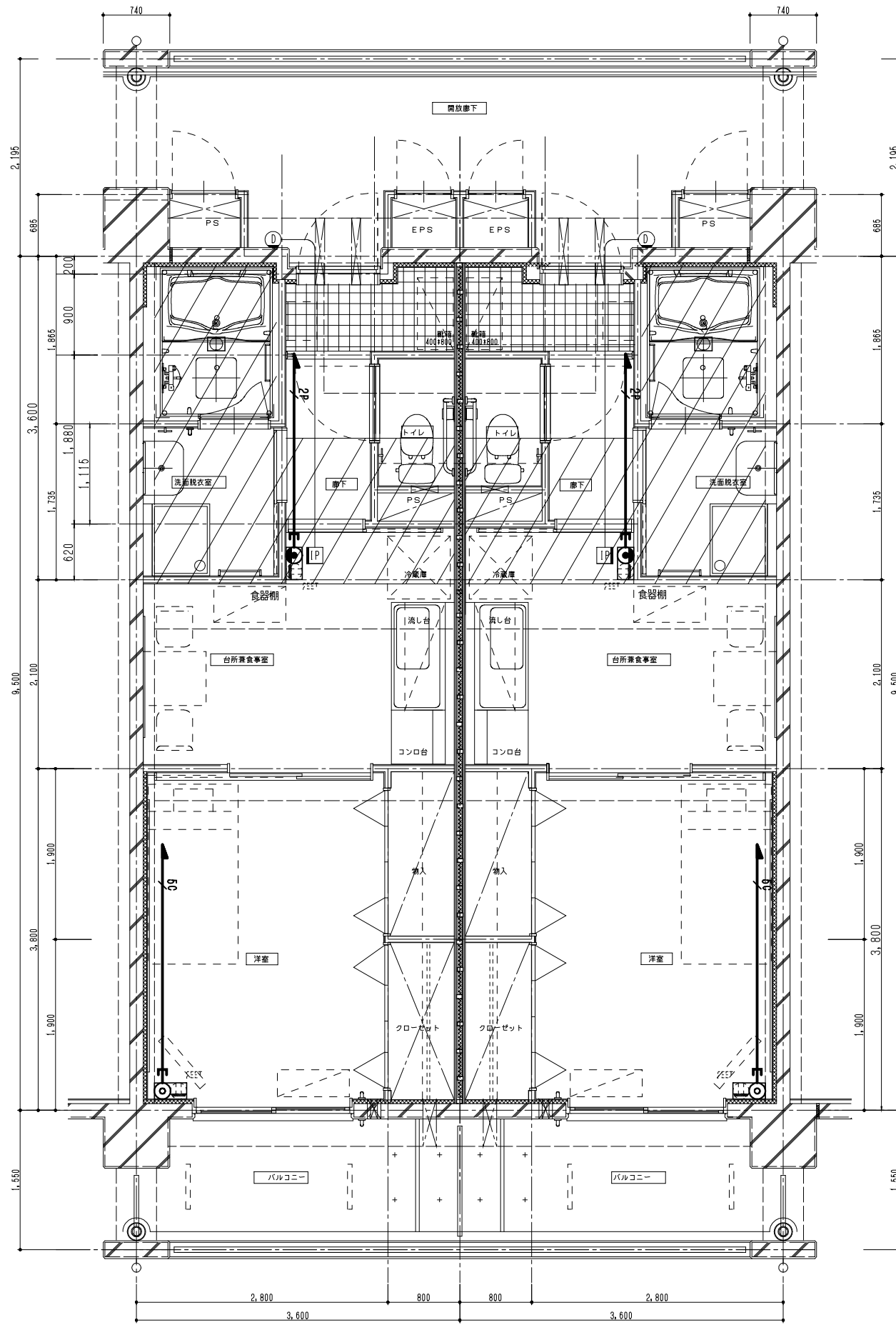


1DKタイプ平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

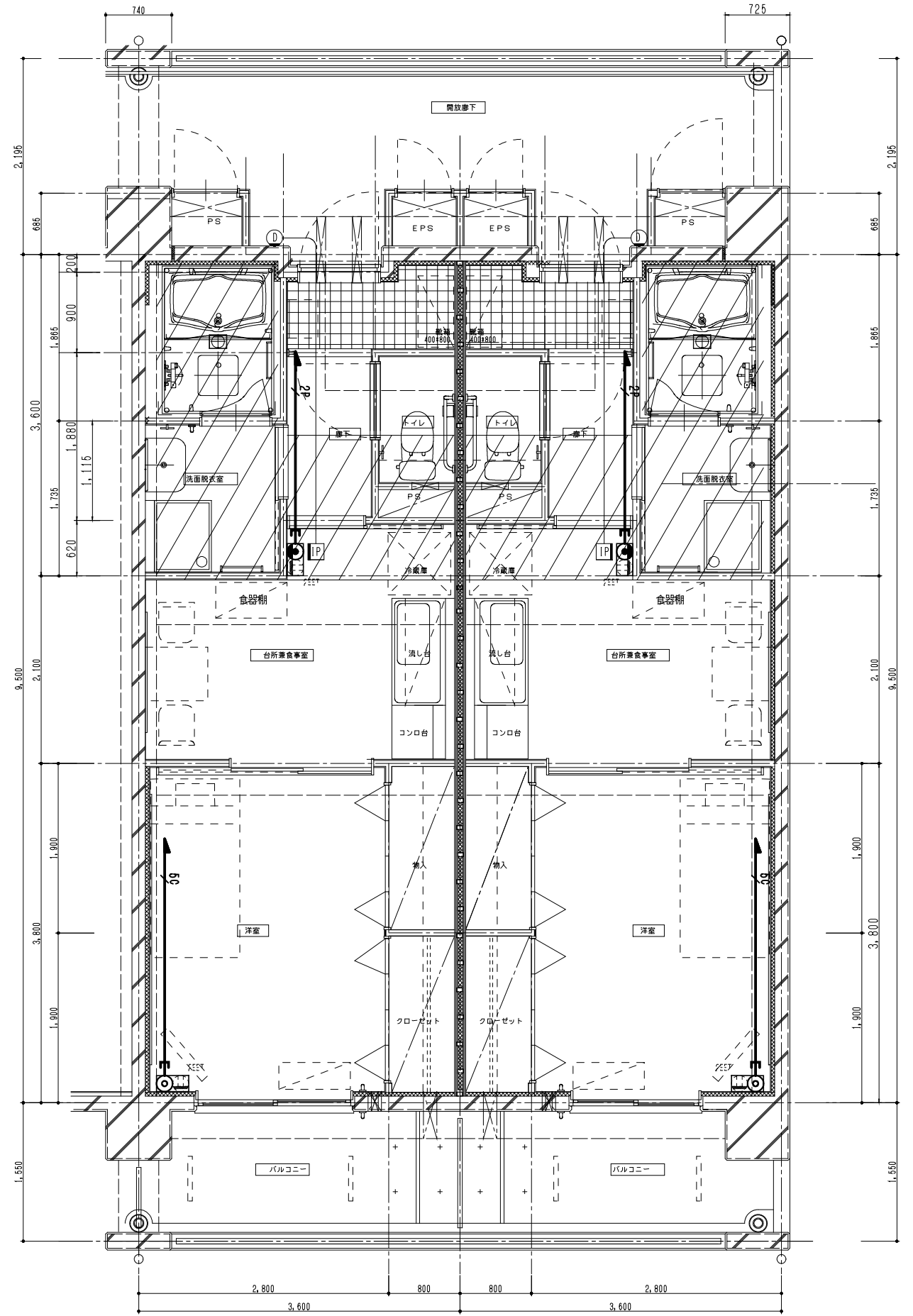


1DKタイプ(妻)平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県県営住宅標準プラン集	図面番号 02-E-01
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(ラーメン)平面図(電灯)	

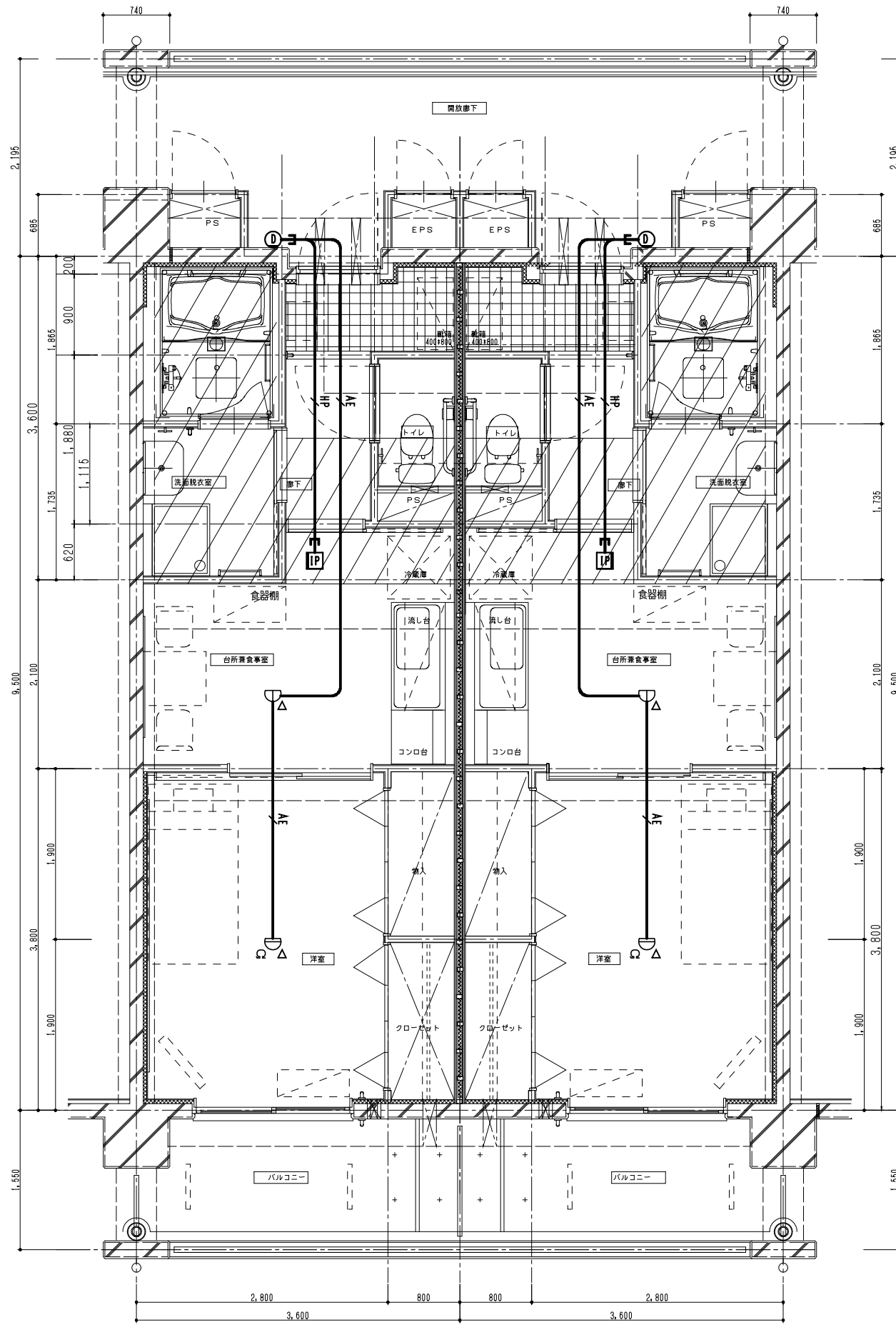


1DKタイプ平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

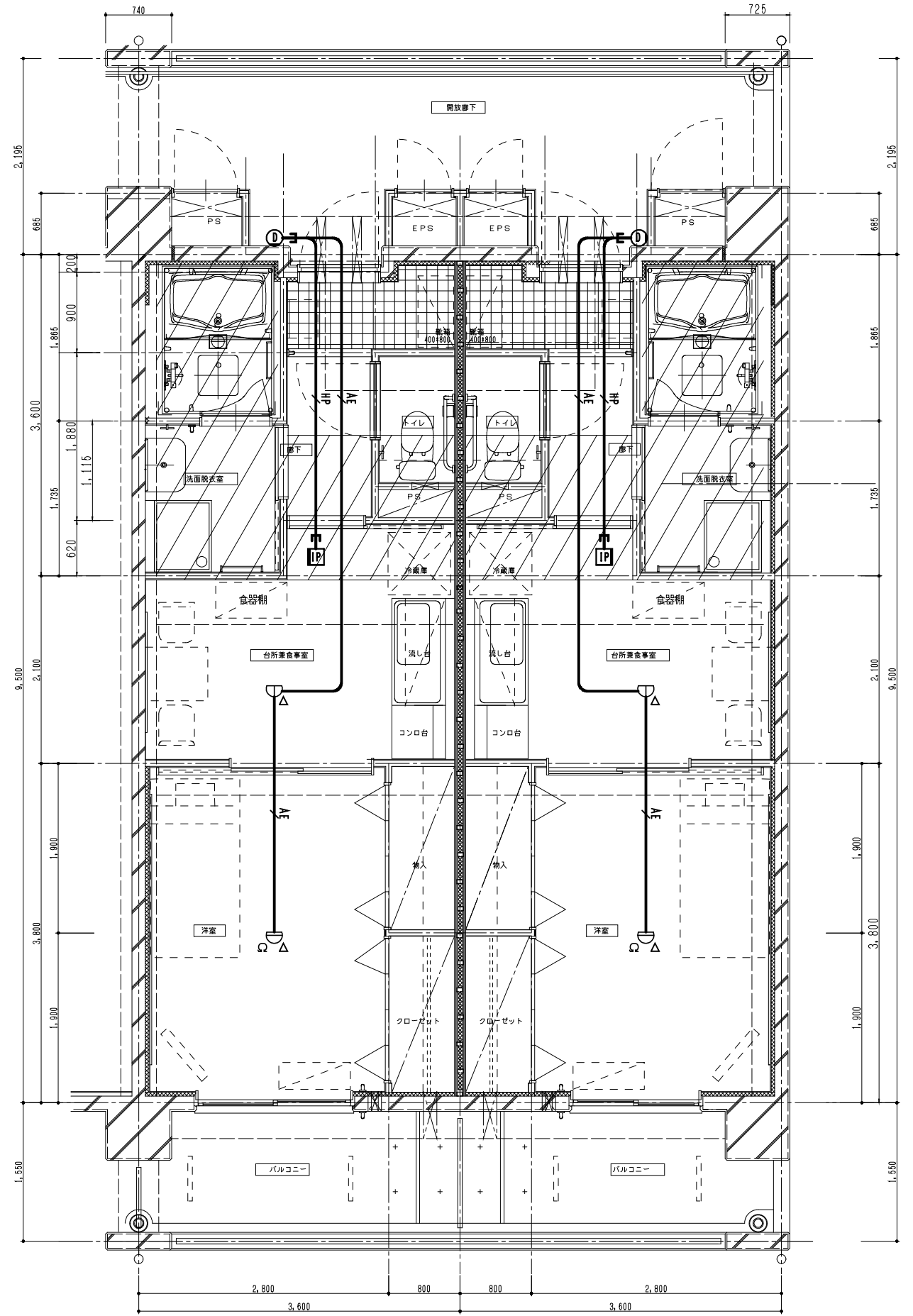


1DKタイプ(妻)平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 02-E-02
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(ラーメン)平面図(弱電)	



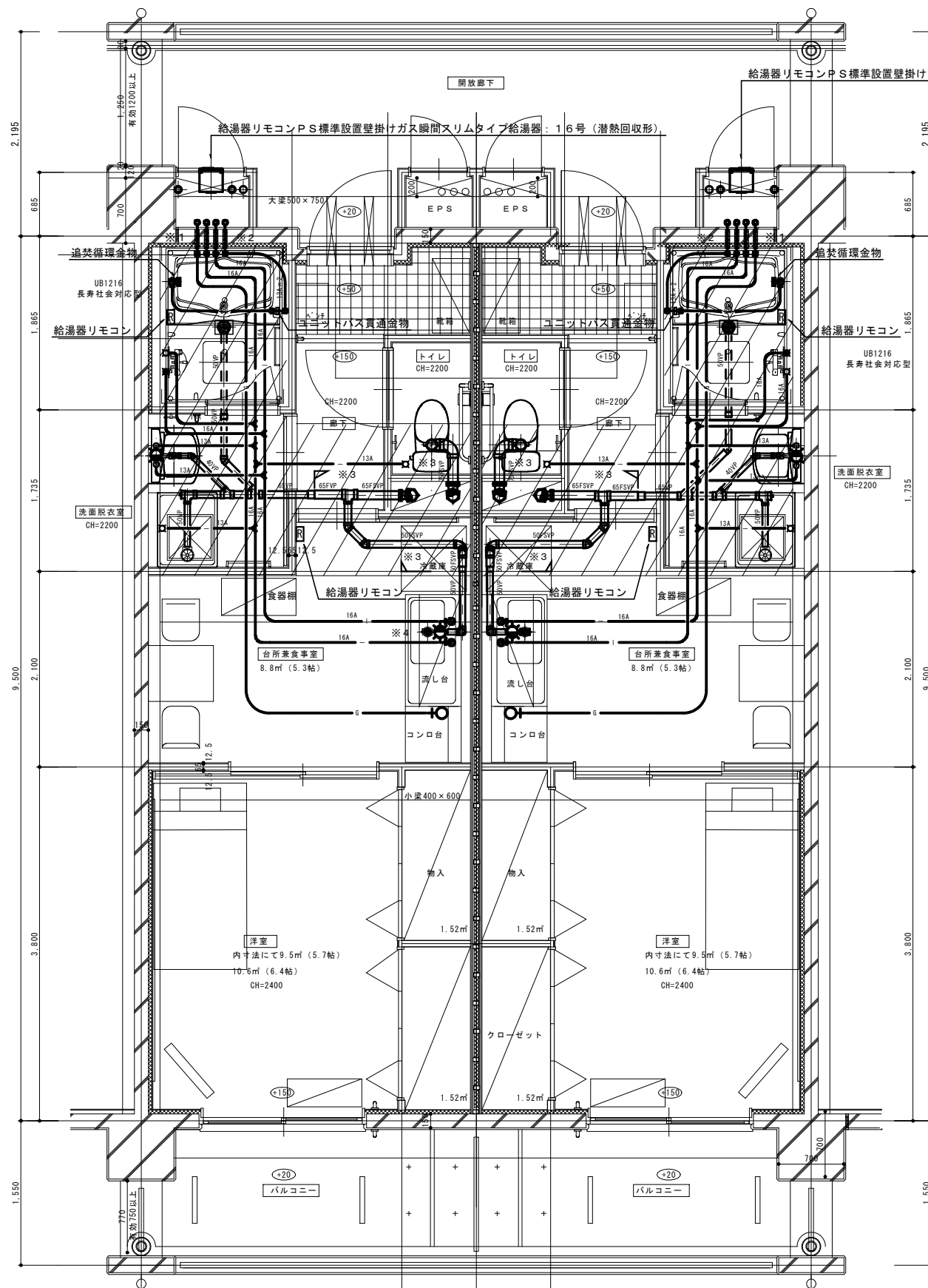
1DKタイプ平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>



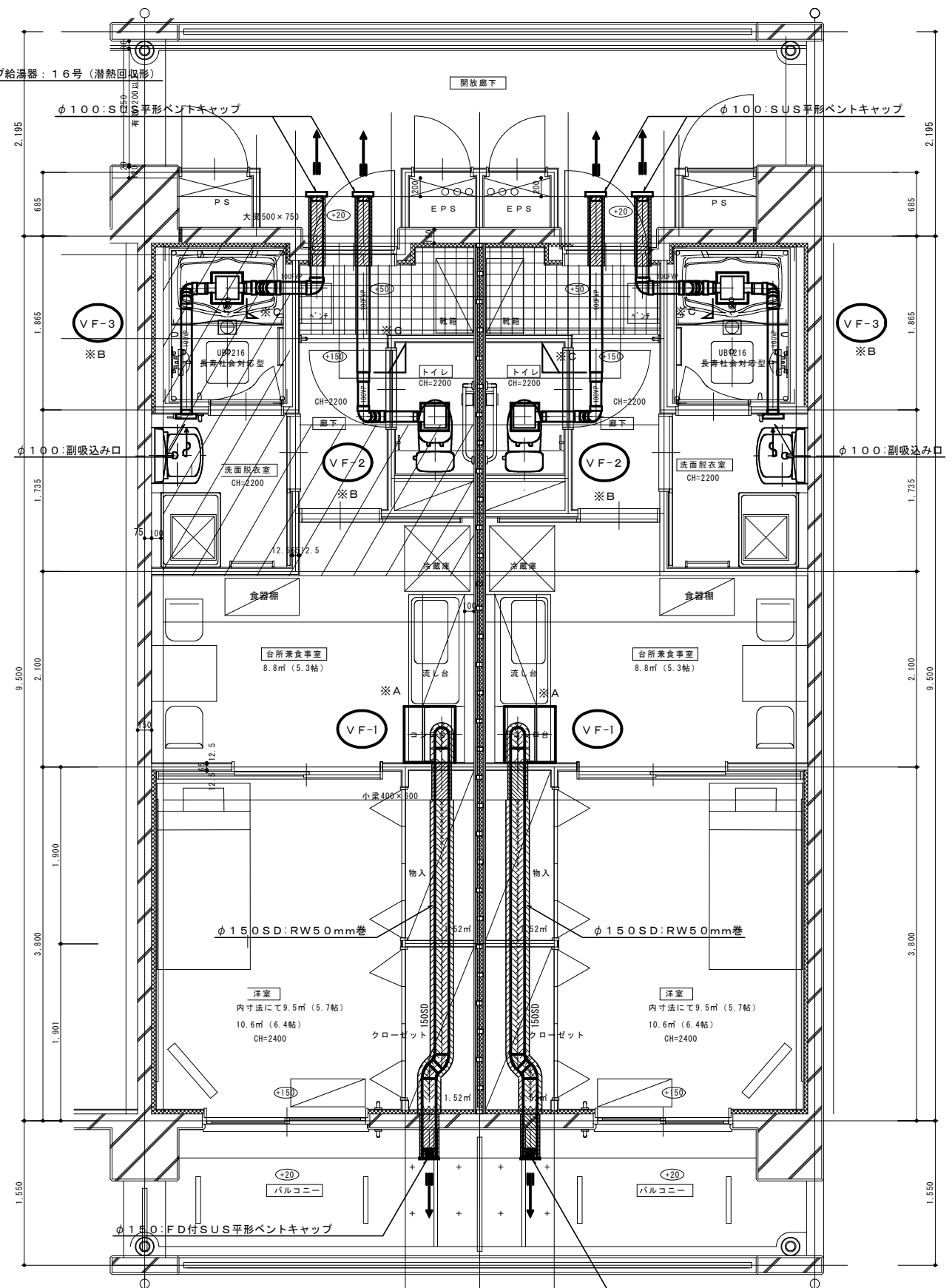
1DKタイプ(妻)平面詳細図 34.20㎡  
 <ラーメン構造>

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号 02-E-03
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(ラーメン)平面図(自火報)	





(衛生設備図)  
1DKタイプ平面詳細図 34.20㎡ <ラーメン構造>



(換気設備図)  
1DKタイプ(妻)平面詳細図 34.20㎡ <ラーメン構造>

- 注記事項
- ※1: 給水管・給湯・追焚配管(13A×2)は架橋ポリエチレン配管(先分岐工法)とする。
  - ※2: 給水、給湯、追焚配管防火区画貫通部分は国土交通大臣認定工法による防火区画貫通処理を行う。
  - ※3: 図示排水管は、立て管より、1.0m以上は建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FSVP)を使用する。
  - ※4: 流し台下排水管端部にはツマミ掃除口を付ける。
  - ※A: VF-1・レンジフードファン用幕板は建築工事。
  - ※B: VF-2・3天井扇は24時間換気機能付きとし(コントロールスイッチ共)スイッチ取付は電気工事。
  - ※C: 防火区画貫通塩ビダクトは1.0m以上耐火二層管とする。

SL-150の範囲を示す

CHECKED	DRAWING	DATE	2020.8.21	工事名称	神奈川県営住宅標準プラン集	図面番号	02-P-01
		SCALE	1/30	図面名称	KK1(ラーメン)平面図(衛生・換気)		